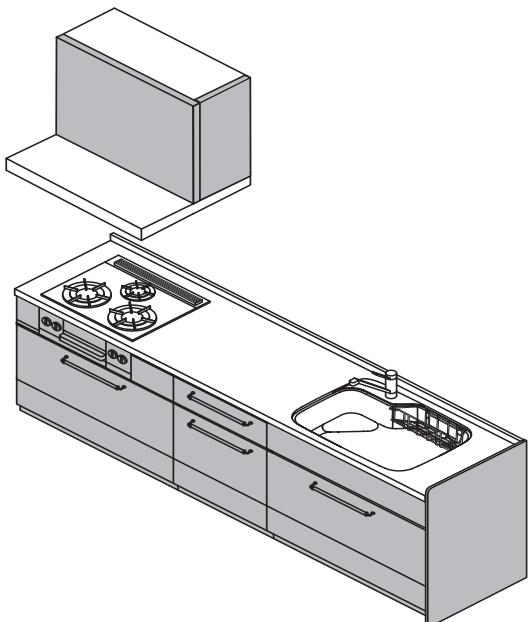


システムキッチン 取扱説明書 保証書付

STEDIA

ステディア



このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。
ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

もくじ	3
ご使用の前に	4
安全上の注意	8
キッチン全体の使い方	24
調理アイテムの使い方	27
収納アイテムの使い方	
- キャビネット	50
- 吊戸棚	72
- キッチン周辺収納	78
- キッチン対面収納	86
その他部材	91
アクセサリーパーツのご案内	96
こんなときは	102
保証書	103



※左のコードは、下記の番号を意味しています。
商品に関する情報にはアクセスできません。

W103412000

2507B-104-03

STEDIAの特徴

1
ご使用の前に

STEDIAは、使いやすさと収納力を兼ね備えたシステムキッチンです。料理する、片付ける、お掃除する…それぞれの場面でお客様のキッチンライフが笑顔で包まれる様々な特徴があります。

清潔で丈夫なステンレスキャビネット

ステンレスはさびにくく、カビがつきにくい衛生的な素材です。また、熱や衝撃にも強いので、水や火を使うキッチンのキャビネットには最適です。

参照 3.1. キッチン全体の使い方 P.24～26

使用頻度に合わせて立体的に収納できる 「ツールポケット＋スライドボックス」

よく使うものを取り出しやすく手前に立てて収納できる「ツールポケット」と取り出しやすい位置にものを重ねず収納できる「スライドボックス」で、キッチン作業を効率的に行うことができます。

参照 5.1. キャビネットの収納例 P.50～51

足元のスペースを有効に使える「フロアコンテナ」

クリナップが開発した、自慢の足元収納スペースです。

置き場所に困りがちなストック品や、季節使いの調理器具をまとめてしまっておけます。

参照 5.1. キャビネットの収納例 P.50～51

汚れに強いコーティング「美コート」

美コートワークトップとステンレスシンクには、しつこい汚れも簡単に落とせるセラミック系特殊コーティングの「美コート」を施しています。日々のお手入れをサポートして、簡単にきれいを保つことができます。

参照 4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.27～39

耐久性と美しさをあわせ持つ「セラミックワークトップ」

ガラス、天然水晶で構成され、変色・熱・傷・汚れに強い素材です。

スペイン・コセンティーノ社の高品質素材「DEKTON®」を採用し、洗練されたキッチンを演出します。

参照 4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.27～39

もくじ

● 本書について

- ・キッチンには様々な形状のものがあるため、お客様がお使いの商品と異なる場合があります。
- ・本書では、使用上支障のない範囲で略図を使用しています。
- ・シンクやキャビネットなどのアイテムごとに構成しています。各アイテムに関するページには、「使用上の注意」「お手入れのしかた」などの情報を記載しています。
- ・「Q&A」にはお客様からよくあるお問い合わせをまとめています。疑問点、不明点がある場合にご覧ください。
- ・本書に記載の「DEKTON®」はスペイン・コセンティーノ社の登録商標です。

1. ご使用の前に

1.1. 各アイテムのなまえ	4
1.2. お手入れスケジュール	6
1.3. 定期的な点検	7

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意	8
2.2. 重量に関する規定	21

3. キッチン全体の使い方

3.1. キッチン全体の使い方	24
---------------------------	----

4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ(カウンター類を含む)・シンク	27
4.2. 排水口周り	40
4.3. かってにクリントラップ	44

5. 収納アイテムの使い方 - キャビネット

5.1. キャビネットの収納例	50
5.2. 包丁差し	52
5.3. スライドボックス	58
5.4. シンクキャビネット(コンセント付)	60
5.5. コーナーキャビネット(ワゴンタイプ)	62
5.6. ボトル収納スライドキャビネット	63
5.7. 網カゴスライドキャビネット	64
5.8. 開き扉・引出し・棚板・点検口	65

6. 収納アイテムの使い方 - 吊戸棚

6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた	72
6.2. ムーブタウン吊戸棚、スライドパントリー(ムーブダウントイプ)	73
6.3. ハンドムーブ	74
6.4. アイエリアボックス	77

7. 収納アイテムの使い方 - キッチン周辺収納

7.1. スライドパントリー	78
7.2. ステップコンテナ	79
7.3. リサイクルゴミワゴン	81
7.4. 家電収納庫	82
7.5. 扉付トール家電収納庫	83
7.6. カフェスタイル収納 吊戸棚	84

8. 収納アイテムの使い方 - キッチン対面収納

8.1. デュアルトップ対面 ハイタイプ上台	86
8.2. デュアルトップ対面 デスクタイプ	87
8.3. ディスプレイ引戸タイプ	88
8.4. 天然木シェルフ	90

9. その他部材

9.1. ブッシュラッチ・扉開放防止部品・コーナーアングル	91
9.2. フロントスクリーン	92
9.3. 照明器具	92
9.4. 壁パネル	93

10. アクセサリーパーツのご案内

10.1. シンクアクセサリーパーツ	96
10.2. 引出しオプションパーツ	98
10.3. 便利アイテム	100

11. こんなときは

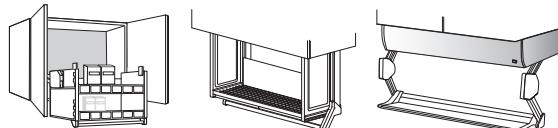
11.1. Q & A	102
-----------------------	-----

保証書

1.1. 各アイテムのなまえ

収納アイテム

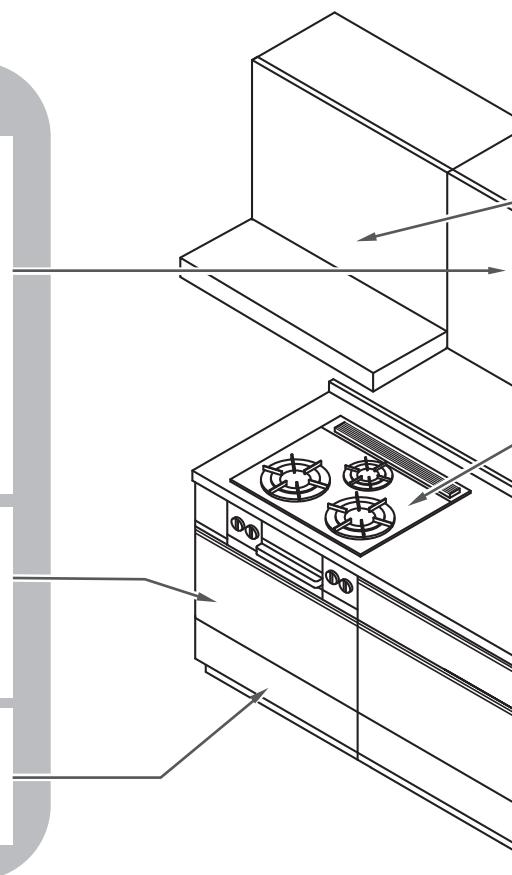
吊戸棚



ムードダウン ハンドムーブ アイエリア
ボックス

参照

- ・安全上の注意：吊戸棚 P.16
- ・重量に関する規定：ムードダウン吊戸棚、
ハンドムーブ、アイエリアボックス P.22
- ・使い方：収納アイテムの使い方一吊戸棚 P.72～77



キャビネット

参照

- ・安全上の注意：キャビネット P.10～15
- ・重量に関する規定：キャビネット、棚板 P.21
- ・収納例：キャビネットの収納例 P.50～51
- ・使い方：キャビネット P.50～P.71

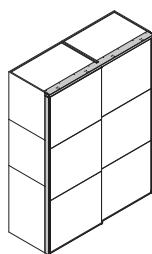
フロアコンテナ

参照

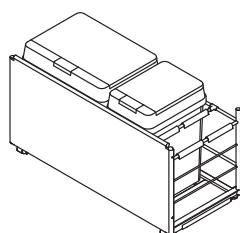
- ・安全上の注意：キャビネット P.15
- ・収納例：キャビネットの収納例 P.50～51

各アイテムの名称と参照先は、図のとおりです。

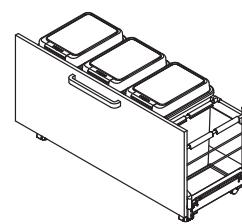
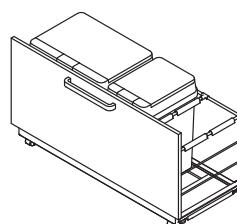
キッチン周辺収納



スライドパントリー



リサイクルゴミワゴン

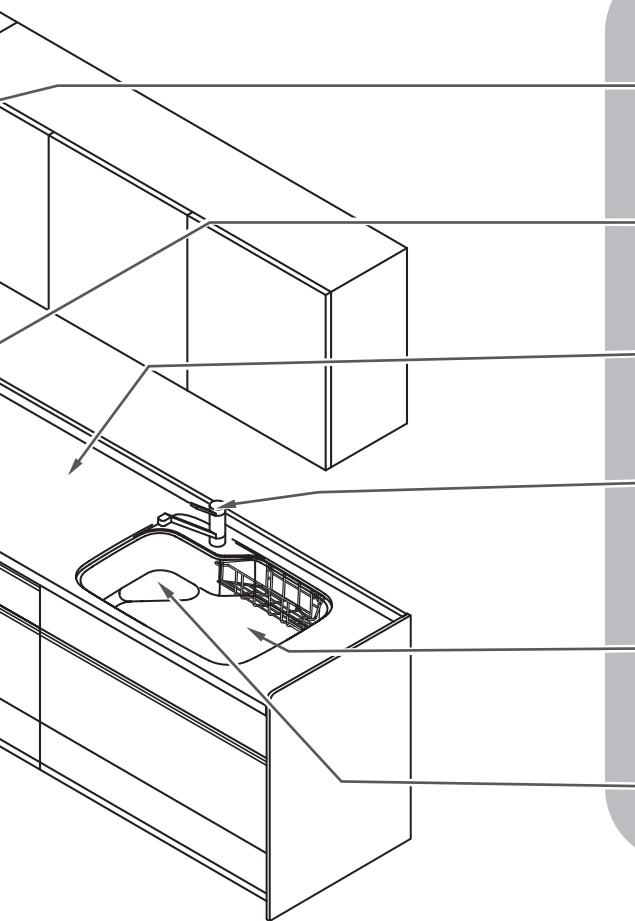


参照

- ・安全上の注意：キッチン周辺収納 P.17～18
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.23
- ・使い方：スライドパントリー P.78

参照

- ・安全上の注意：キャビネット P.14
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.23
- ・使い方：リサイクルゴミワゴン P.81



調理アイテム

レンジフード

参照

- ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

調理機器

参照

- ・安全上の注意：調理機器・組込機器類 P.11
- ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください

ワークトップ

参照

- ・使い方：ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.27～39

水栓

参照

- ・安全上の注意：水栓 P.12
- ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください

シンク

参照

- ・安全上の注意：シンク P.12
- ・使い方：ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.27～39

排水口

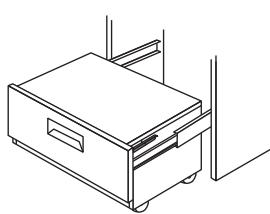
参照

- ・使い方：排水口周り P.40～43

取扱い方法・お手入れに関する動画
は、こちらの2次元コードから
ご覧ください。



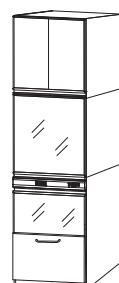
※取扱い方法、お手入れの動画がない商品・部位もございます。
※利用いただく際に発生する通信料などは、お客様のご負担
となりますので、予めご了承ください。



ステップコンテナ



家電収納庫



扉付トール家電収納庫

参照

- ・安全上の注意：キッチン周辺収納 P.17
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.23
- ・使い方：ステップコンテナ P.79～80

参照

- ・安全上の注意：扉付家電収納庫 P.17
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.21、23
- ・使い方：家電収納庫 P.82

参照

- ・安全上の注意：扉付トール家電収納庫 P.17
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.21、23
- ・使い方：扉付トール家電収納庫 P.83

1.2. お手入れスケジュール

お手入れスケジュールのすすめ

- 毎日使うキッチンは、こまめなお手入れが欠かせません。次のスケジュールを参考に、お客様の生活に合わせたお手入れ計画を立ててください。
- 調理機器、レンジフード、水栓、浄水器などの関連機器商品について詳しい内容は、別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

年間お手入れスケジュール例

期 間	お手入れ内容
毎日	<ul style="list-style-type: none"> ワークトップ（カウンター類を含む）：水滴などの軽い汚れを拭き取る。 シンク：スポンジに中性洗剤をつけて洗う。 排水口：浅型カゴにたまつたゴミを捨てる。 引出し前板・開き扉：水滴や油汚れを拭き取る。 調理機器のトッププレート：煮こぼれや水滴などの軽い汚れを拭き取る。 調理機器のグリル：使用後、油汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。 レンジフード：手の届く範囲の汚れを拭き取る。
週一度 または 汚れてきたら	<ul style="list-style-type: none"> ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク：メラミンフォームやスポンジに中性洗剤をつけて洗う。 排水パイプ（ホース）：防臭ワンまたは防臭パイプを取り出す。洗い桶に1～2杯（5～10ℓ）のぬるま湯をため、食器用洗剤を混ぜて薄めた後、勢いよく流す。 水栓：水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ガスコンロのゴトク：こびりつき汚れを洗う。 引出し前板・開き扉・取っ手：汚れを中性洗剤で拭き取った後、乾拭き。 壁パネル：油はねなどの汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
月一度	<ul style="list-style-type: none"> 排水トラップ本体、防臭ワンまたは防臭パイプ：洗剤をつけたスポンジや洗浄ブラシでこすり落とし、水で洗剤を洗い流す。 ※かってにクリントラップの場合は、汚れてきたら、もしくは、臭いやつまりを感じたら、お手入れをしてください。 排水パイプ（ホース）：排水プレート～防臭ワンまたは防臭パイプを取り外して排水パイプ用洗浄剤を、排水パイプ（ホース）に注ぎ、洗浄する。洗浄後は、十分に水を流す。 レンジフード：フィルターなどを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
半年～年一度	<ul style="list-style-type: none"> レンジフード：ファンを取り外して洗う。 ファンを取り外さないものもあるので、詳しい内容は専用取扱説明書をご覧ください。 浄水器：カートリッジ交換を忘れずに行う。 交換時期については専用取扱説明書をご覧ください。

MEMO

洗剤の使い方によっては手荒れの原因になります。ゴム手袋をはめるなど、気をつけてご利用ください。

1. ご使用の前に

1.3. 定期的な点検

気づいたらすぐに

次のような場合、気づいたときにすぐに対処するようにしてください。

- ・ワークトップ（カウンター類を含む）やシンクに水あかの付着やもらいサビがあった場合、すぐに対処してください。

参照 ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク P.27～37、Q & A P.99

- ・ガスコンロのバーナーキャップに目詰まりがある場合、すぐに対処してください。
- ・水の出が悪くなった場合、水栓のストレーナー（ろ過用の金具）をチェックしてください。

参照 ガスコンロ、水栓について詳しい内容は別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

- ・汚れを見つけたら、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなります。
- ・床にこぼれた水はこまめに拭くようにしてください。

定期的な点検のすすめ

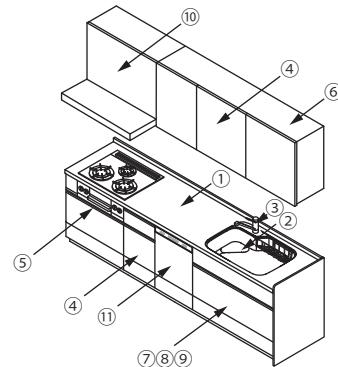
商品は長期間お使いいただくことで、経年劣化してきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。

水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。

水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締めてから、速やかにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

また、使用時に、部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかにクリナップカスタマーセンターに修理を依頼してください。そのまま放置していると思わぬ事故の恐れがあります。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙



点検箇所	点検の種類	点検方法	症状	想定される被害
①ワークトップ・シンク	水漏れ点検	ワークトップ、シンクに穴開きやひび割れがないか確認してください。	穴開きやひび割れ	水漏れによる家財等の破損、破損部接触によるケガ
②排水器具	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れによる家財等の破損
③水栓金具	水漏れ点検	水栓金具を操作して、本体やレバーにガタつきがないか確認してください。	本体やレバーのガタつき	水漏れによる家財等の破損
	安全点検	レバーを操作して温度調節が適正にできるか確認してください。	温度調節ができない	熱湯によるやけど
	安全点検	水栓金具本体やシャワーヘッド、レバーなどのめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内の配管、接続部、シャワーホースの水漏れ	水漏れによる家財等の破損
④扉	安全点検	扉を開閉して、変形やガタつき、異音がないか確認してください。	変形やガタつき、異音	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	扉の裏面にひび割れやはがれがないか確認してください。	ひび割れや表面のはがれ	破損部接触によるケガ
⑤取っ手	安全点検	取っ手のめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
⑥吊戸棚	安全点検	吊戸棚が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	本体の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	棚板が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	棚板の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑦キャビネット	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内で水が漏れている	水漏れによる家財等の破損
⑧引出し	安全点検	引出しが変形していないか、ガタつきがないか確認してください。	変形やガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑨包丁差し	安全点検	包丁差しにガタつきがないか確認してください。	ガタつき	包丁差しおよび包丁自体の落下によるケガ
⑩レンジフード	安全点検	レンジフードの幕板、整流板、フィルターなどにガタつきがないか確認してください。	幕板、整流板、フィルターのガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑪食器洗い乾燥機	水漏れ点検	食器洗い乾燥機周りに水漏れがないか確認してください。	水漏れ	水漏れによる家財等の破損

点検の結果、不備があった場合は、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。



注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。



この行為は禁止されています。

禁止



この行為を必ず実行してください。

必ず実行



特定の条件で特定の場所に触ると、傷害が起こる可能性があります。

接触禁止



製品をぬれた手で扱うと感電する恐れがあります。

ぬれ手禁止



この行為は、注意が必要です。



手をはまれないよう注意



引出しや扉などで手をはさむことで、傷害が起こる可能性があります。

発火注意

特定の条件で発火の恐れがあります。



キッチン全体



調理機器の使用後および外出時には、スイッチを切る。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



調理機器の上や周りには、燃えるものを置かない。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



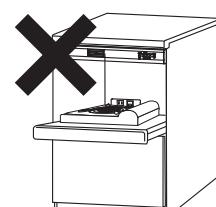
調理機器を使っているときは、その場を離れない。

高温になりすぎて、火災の原因になります。



キャビネット内や家電収納庫などのスライド台に電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器などの加熱調理機器を置いて使用しない。

キャビネットが加熱され、火災の原因になります。



キッチンに組み込まれている機器、市販の調理機器などは、商品に付属の取扱説明書および商品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。



必ず実行

吊戸棚本体がグラついたり、壁との間にすき間が空いているときは使用を中止する。

吊戸棚が落ちたり、収納物が落下してケガをする恐れがあります。クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照

アフターサービスのご用命 裏表紙



必ず実行

扉が傾いていたり、ガタついているときは、丁番のねじを締め直す。

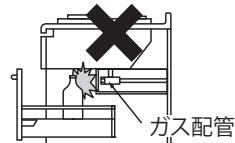
扉が落ちたり、収納物が落下してケガをする恐れがあります。また、ねじがゆるんでいないことを定期的に確認してください。

参照

5.8. 開き扉・引出し・棚板・点検口 P.65~71



発火注意

コンロ下の引出しにものを収納する場合には、ガス配管部およびガス配管ガードを避けて収納する。ガス配管ガードの下の収納物は高さ20cmのものまでとする。

無理に収納すると、破損やガス漏れ、火災の原因になります。



注意

マグネット製品を使用する際は電子機器類の影響に注意する。

誤作動をまぬく恐れがあります。また、心臓用ペースメーカーをお使いの方は、必ず30cm以上離してご使用ください。

コンセント全般



発火注意

製品を分解・改造・修理をしない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



発火注意

電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わない。

発熱により、火災の原因になります。



発火注意

たこ足配線をしない。

発熱により、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でコンセントや電気製品を触らない。コンセントや電気製品に水をかけない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



発火注意

電源コードを引っ張るなど、コンセントに無理な力をかけて使用しない。

破損による、感電・火災の原因になります。



発火注意

コンセントに水・洗剤・スプレーをかけない。

破損による、感電・火災の原因になります。



発火注意

表面被覆が傷ついた電源コードを使用しない。

破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。



発火注意

電源コードを無理に曲げたまま使用しない。

破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。



必ず実行

コンセント、電源プラグについた水や汚れは、必ず乾いた布できれいに拭き取ってから使用する。

破損による、感電・火災の原因になります。

2.1. 安全上の注意

警告



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

液体がすき間からコンセントユニット内に浸入することによる、感電・火災の恐れがあります。



禁止

先端の曲がった電源プラグは使用しない。

破損による、感電・漏電・火災の恐れがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持ってまっすぐに引き抜く。

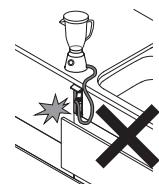
破損による、感電・漏電・火災の恐れがあります。



発火注意

電源コードが垂れたまま、引出しや扉などを開けない。

破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。



キャビネット

●シンクキャビネット（コンセント付）



禁止

アース接続が必要な電気機器は使用しない。

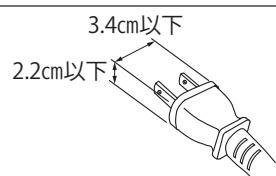
漏電により、感電の原因になります。



禁止

コンセント差込口の根元まで差すことのできない電源プラグを使用しない。

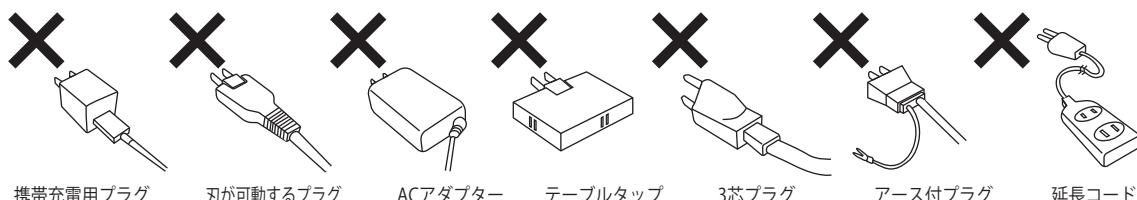
液体がすき間からコンセントユニット内に浸入することによる、感電・火災の恐れがあります。



禁止

規定のプラグコード以外を使用しない。

破損や定格消費電力を超えることによる、感電、火災の原因になります。



携帯充電用プラグ 刃が可動するプラグ ACアダプター テープルタップ 3芯プラグ アース付プラグ 延長コード



禁止

コンセント差込口カバーが割れ・外れ・開けすぎた状態で、使用しない。

液体がコンセントユニット内に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。

コンセント差込口カバーが破損した場合は、使用を中止し、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。



禁止

コンセントユニットにガタつきや破損がある状態で、使用しない。

液体がコンセントユニット内に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。

コンセントユニットにガタつきや破損がある場合やコンセント差込口カバーが破損した場合は、使用を中止し、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参 照 アフターサービスのご用命 裏表紙

! 注意

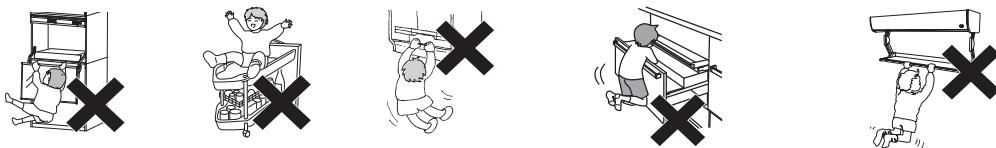
キッチン全体



取っ手、扉、引出し、化粧板、棚、ラック、ワゴンなどにぶら下がったり、体重をかけたりしない。

破損し、ケガをする恐れがあります。

〈スイングダウン扉〉 〈ワゴン〉 〈吊戸棚〉 〈引出し・扉(取っ手)〉 〈アイエリアボックス〉



引出しの取り外し、取り付け、調整またはキャビネット内のお手入れをする場合は、引出しレールや部品などに十分注意して行う。

手や指などにケガをする恐れがあります。



スライド台には熱い鍋や重いもの、包丁などを載せない。

鍋や包丁などが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。



床面に油などが飛び散ったらすぐに拭き取る。

足を滑らせ、ケガをする恐れがあります。特に、対面キッチンのコンロ側が通路になっているキッチンやダイニング側に注意してください。



ワークトップやキャビネット、扉、パネルなどに加工や改造をしない。

故障や破損の原因になります。



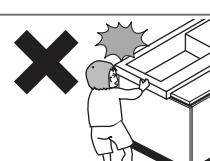
プッシュオープンの扉に寄りかかったり、蹴ったりしない。

意図せず扉が開き、ケガをする恐れがあります。



カウンターの角部に頭や体をぶつけないように注意する。

特に小さなお子様の場合、ケガをする恐れがあります。



調理機器・組込機器類



調理中や調理直後は、調理機器周辺に手を触れない。

やけどの恐れがあります。

2.1. 安全上の注意

⚠ 注意

シンク



禁止

シンクにまな板を渡した状態で、カボチャなどの硬いものや切りにくいものを切らない。まな板をサポートプレートの上に置いてものを切らない。
まな板やサポートプレートがシンクから外れて、ケガをする恐れがあります。ワークトップ上で作業をしてください。



禁止

てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さない。

排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。また、排水管のつまりの原因になります。

水栓



必ず実行

混合水栓を使用する場合は、必ず水を先に出す。

湯を先に出すと、水栓および熱湯で、やけどをする恐れがあります。特に、お子様は注意してください。

コンセント全般



禁止

電源コードがぬれたり、加熱機器に電源コードが掛けたまま、使用しない。
断線・ショートによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。



禁止

調理家電を使用時に、電源コードなどで遊ばないように注意する。

電源コードを引っ張り、調理家電や物が落下し、ケガ・やけどをする恐れがあります。



必ず実行

ときどき電源プラグを抜いて拭き取り、ほこりがたまらないようにする。

ほこりがたまると発火の恐れがあります。特に湿気の多い場所のコンセントに注意してください。

キャビネット

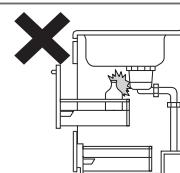
●シンクキャビネット



必ず実行

シンク下の引出しに収納する場合は、排水器具と接触しないように、収納物の高さに注意する。

接触すると、排水器具が破損する恐れがあります。



禁止

トラップガードの位置を移動させたり、取り外したりしない。トラップガードの上に収納物を載せない。

収納物と排水器具が接触し、漏水の恐れがあります。



必ず実行

ツールポケット用包丁差しの固定パーツがロック方向に回転しているか確認する。

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。





包丁差しを固定しているねじは外さない。

包丁の落下につながり、思わぬケガをする恐れがあります。



包丁差しの固定ねじがゆるんでガタつきが発生したときは、ねじを締め直す。

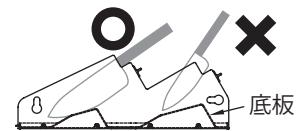
包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。



包丁差込口に、確実に包丁を差し込む。

扉を開けたときに包丁が外れ、ケガをする恐れがあります。

特に、右図のような斜めに包丁を入れるタイプの場合は、段差に柄の部分が掛かるように収納してください。



包丁を無理に引っ張らない。

勢いよく包丁が抜け、ケガをする恐れがあります。包丁が抜けないときは一度正しい収納位置に戻し、ロックが外れていることを確認してからまっすぐに引き抜いてください。



ロック付斜め包丁差しを取り付けるときはピンが正しくはまっていることを確認する。

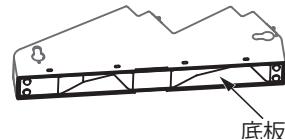
包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。

参照 5.2. 包丁差し P.52 ~ 57



ロック付斜め包丁差しは必ず底板を取り付けて使用する。

包丁差しの底板がしっかりと取り付けていることを確認してください。包丁の刃が露出し、ケガをする恐れがあります。



参照 5.2. 包丁差し P.52 ~ 57



包丁を差したまま包丁差しや引出しのお手入れを行わない。

包丁の刃に触れ、ケガをする恐れがあります。お手入れは包丁を取り出してから行ってください。



ロック付包丁差しの前面カバーロック部は必ずロック状態で使用する。

前面カバーが外れて包丁がむき出しになる恐れがあります。



ロック付包丁差しの前面カバーロック部つまみや溝につめを引っ掛け回さない。

つめがはがれたり、ケガをする恐れがあります。

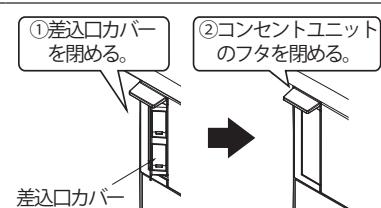


●シンクキャビネット（コンセント付）



調理家電を使用していないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、差込口カバーを閉めて、コンセントユニットのフタも閉める。

液体がこぼれてコンセントユニット内部に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。



2.1. 安全上の注意

!**注意**

●コンロキャビネット



スライドボックスに収納する場合は、排水器具に当たらないように、収納物の高さ、奥行きに注意する。

収納物が排水器具に当たると、排水器具が破損し、水漏れする恐れがあります。



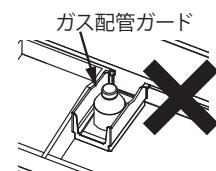
ガス配管ガードは絶対に外さない。

ガス配管と収納物がぶつかってガス漏れする恐れがあります。



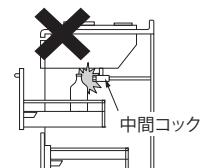
ガス配管ガードの中に入れない。

ガス配管と収納物がぶつかってガス漏れする恐れがあります。



コンロ下の引出しに収納する場合は、ガス栓（中間コック）と接触しないように、収納物の高さに注意する。

接触すると、ガス栓が閉じたり破損したりする恐れがあります。



●コーナーキャビネット（ワゴンタイプ）、リサイクルゴミワゴン



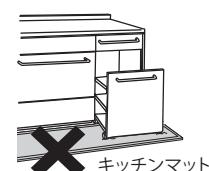
ワゴンを勢いよく動かさない。

ワゴンが転倒してケガをする恐れがあります。特に、床下収納庫など床に段差のある部分を移動する場合は、手でしっかり支えながら移動してください。



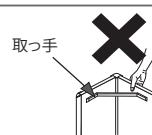
ワゴン周辺にキッチンマットや毛足の長いじゅうたんを敷いて使用しない。

ワゴンに毛がからまり、転倒してケガをする恐れがあります。



ワゴンをキャビネットから出し入れする場合は、必ず取っ手部分を持つ。

扉部分などを持って出し入れすると、手や指をはさむ恐れがあります。



ワゴンに、沸騰したやかんや鍋などを直接載せない。

やけどやワゴンの変形、破損の原因になります。



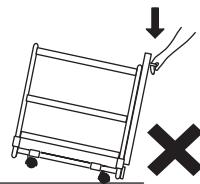
ワゴンを、床下収納庫など床に段差のある部分で移動する場合は、特に、手でしっかり支えながら移動する。

転倒する恐れがあります。



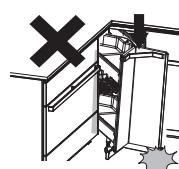
ワゴンで遊んだり、寄りかかったりしない。

ワゴンが転倒して、ケガをする恐れがあります。



ワゴンの収納量が少ない場合に、取っ手を握りながら下方向に力を加えない。

後方のキャスターが持ち上がり、ケガをしたり、床を傷つける恐れがあります。
水平方向に力を加え、ゆっくり操作してください。



● フロアコンテナ



フロアコンテナを引き出したまま作業しない。また、足場代わりにしない。

足をぶつけたり、転倒によるケガや、フロアコンテナが破損する恐れがあります。



フロアコンテナを引き出す場合は、足元に注意して引き出す。また、他の作業者やお子様など、周囲の人にも注意する。

足の指をはさむ恐れがあります。



引出しを開けたまま、フロアコンテナを引き出さない。

指をはさんだり、引出しやフロアコンテナが破損する恐れがあります。

● 開き扉、引出し、棚板



開き扉開閉時は、丁番には手を触れない。

丁番に指をはさむ恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。



引出しの開閉時は、ワークトップや引出しの扉上部に手を掛けない。

ワークトップと扉の間に指をはさむ恐れがあります。



扉を調整する場合は、ねじをゆるめすぎない。

ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。



扉を大きく開けすぎない。

丁番が破損したり、扉が外れて、ケガをする恐れがあります。



棚受けダボは確実に奥まで差し込む。

棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意



吊戸棚

●ムーブダウン吊戸棚、ハンドムーブ、アイエリアボックス共通



禁止

操作部以外に手を掛けたり、機構部や本体のすき間に手を入れない。
手をはさむ恐れがあります。



禁止

収納物がはみ出したまま昇降させない。

収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットが破損する恐れがあります。



禁止

割れやすいもの、不安定なもの、包丁・薬品・熱せられた調理道具などの危険なものを収納しない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、ムーブダウン吊戸棚の場合は高さガイドバーより高いものを収納しないでください。



禁止

勢いよく昇降しない。

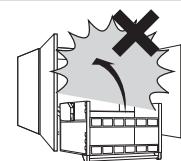
収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



必ず実行

バネ切り替えレバーは、重量に対して適切にセットする。

収納ラックが勢いよく戻ったり急降下したりして、収納物の落下や、収納ラックの変形・落下により、ケガをする恐れがあります。



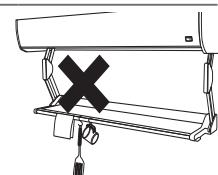
参考 6.2. ムーブダウン吊戸棚、スライドパントリー（ムーブダウンタイプ） P.73
6.3. ハンドムーブ P.74



禁止

操作レバーにものを引っ掛けない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



必ず実行

棚は降ろし切った状態で使用する。

収納物が落下し、破片でケガをする恐れがあります。



禁止

調理作業時などに、収納ラックを降ろしたまま放置しない。

頭などをぶつける恐れがあります。

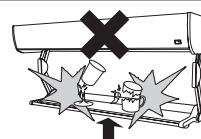
●アイエリアボックス



禁止

水切り棚上にものを置いたまま閉めない。

収納物が破損し、破片でケガをする恐れがあります。



キッチン周辺収納

●ステップコンテナ



必ず実行

ロック音が鳴るまで完全に引き出し、押しても戻らないことを確認後、足元に注意して静かに乗り降りする。また、引き抜いて単独で使用しない。

つまずいたり、滑ったりして、ケガをする恐れがあります。



禁止

ステップコンテナを引き出したまま作業しない。

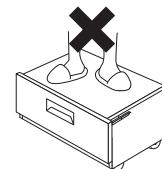
つまずいて転倒したり、足をぶつけたりしてケガをする恐れがあります。使用後は、必ずキャビネットに収納してください。



禁止

スリッパや履き物を履いたまま乗らない。また、ストッキングなどの滑りやすい靴下を履いて乗るときには十分注意する。

つまずいたり、滑ったりして、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

ステップコンテナの乗り降りは足元に十分ご注意のうえ、静かに行う。また、飛んだり、跳ねたりしない。

商品が破損したり、転倒してケガをする恐れがあります。



禁止

お子様や、お体の不自由な方は使用しない。

また、お子様を遊ばせたりしない。

転倒するとケガや、思わぬ事故の原因になります。



必ず実行

ステップコンテナのふちではなく、中央付近に乗って使用する。

ステップコンテナがガタつき、転倒してケガをする恐れがあります。

●扉付家電収納庫・扉付トール家電収納庫（下台）



手をはさまれないよう注意

スイングダウン扉を降ろす際は、機構部に手を入れない。

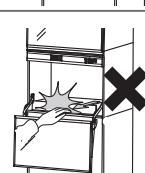
手をはさみ、ケガをする恐れがあります。



手をはさまれないよう注意

スイングダウン扉に手を掛けたままスライド台を引き出さない。また、スライド台の下側を持って引き出さない。

手をはさみ、ケガをする恐れがあります。



●扉付トール家電収納庫（中台）



接触禁止

オープンレンジ使用後は、取っ手以外の扉周辺部に触れない。

オープンレンジからの熱で熱くなり、やけどの恐れがあります。

2.1. 安全上の注意



●スライドパントリー



禁止

扉の周りに人がいないことを確認し、取っ手を持ってゆっくりと開閉する。また、機構部を手や足で触らない。

扉と扉の間に手をはさんだり、機構部で手や足をはさんでケガをする恐れがあります。



禁止

炊飯器やガスコンロなどのガス機器、電気コンロや電熱器などの熱源の露出した器具、卓上IH調理器、オープントースター、電子レンジ、電気圧力鍋、ホットプレート、魚焼き器、ポット、コーヒーメーカーなどの蒸気が発生する器具を使用しない。

蒸気によるキャビネットの膨れ、熱による結露、変色、変形、火災の恐れがあります。



禁止

扉を閉めたまま、調理家電を利用しない。

火災の恐れがあります。

対面型キッチン



禁止

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、鍋やフライパンなどの柄に手引っ掛けないようにする。

鍋やフライパンなどが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。



必ず実行

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、ワークトップから床面に油などの飛び散りが想定される。床面に油などが飛び散ったら、すぐに拭き取る。

足を滑らせて、転んでケガをする恐れがあります。



禁止

デュアルトップ対面ハイタイプ上台（コンロ側）、デスクタイプの収納部に水やぬれたものを置かない。

コンセントが水でぬれて、感電や漏電、火災の原因になります。



禁止

デュアルトップ対面ハイタイプ上台フラップダウン扉の上や、デュアルトップ対面のカウンターに体重をかけない。

金具が破損する恐れがあります。



禁止

サイド化粧板に体重をかけない。突っ張り棒など負荷をかけるものは使用しない。

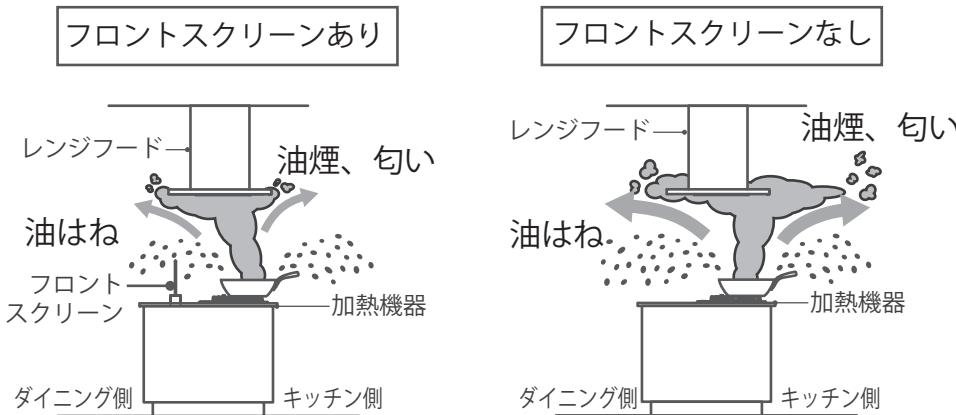
サイド化粧板がはずれてケガをする恐れがあります。



注意

「フロントスクリーンなし」の場合、ワークトップや周囲の床、壁が汚れやすくなったり、油煙や匂いがキッチンまたはリビングに広がりやすくなるので注意する。

調理中の油はねなどにより、ワークトップや周囲の床、壁が汚れやすくなります。また、レンジフードが室内の空気の流れ（窓、エアコン、人の動きによる風など）の影響を受けやすくなるため、油煙を吸い込みにくくになり、油煙や匂いがキッチンまたはリビングへ広がる場合があります。



● フロントスクリーン、防熱板



禁止

ガラスに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

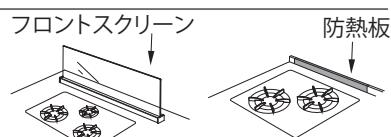
傷がつくとガラスが割れてケガをする恐れがあります。特に端部への衝撃にはご注意ください。また、ガラスにできた傷が大きくなり破損することがあります。



接触禁止

調理中や調理直後はフロントスクリーンや防熱板に手を触れない。

調理機器からの熱などで熱くなり、やけどの恐れがあります。



禁止

フロントスクリーンのガラスやフレームに寄りかからない。

ガラスが割れてケガをする恐れがあります。また、フレームが変形する恐れがあります。



禁止

万一、ガラスが破損（ひび、欠けなど）したときは、そのままの状態にしない。

破損部でケガをしたり、ガラスにできた傷が大きくなり全損につながる恐れがあります。ガラス破損時は、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照

アフターサービスのご用命 裏表紙

2.1. 安全上の注意



その他部材

2

安全上の注意

● 照明器具



必ず実行

照明が取付器具に確実に取り付けられているか確認する。

照明が脱落して破損し、ケガをする恐れがあります。



禁止

点灯中や消灯直後(約5分間)は照明の表面が高温になっているので、素手で触らない。

お手入れをする場合は照明のスイッチを切り、十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

● マグネット製品



注意

マグネット製品を使用する際は電子機器類の影響に注意する。

誤作動をまねく恐れがあります。また、心臓用ペースメーカーをお使いの方は、必ず30cm以上離してご使用ください。

洗剤



必ず実行

キッチンで使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。



禁止

固体または粉末の塩素系洗浄剤(ヌメリ取り剤など)を使用したり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる恐れがあります。



禁止

キッチンでは成分表示のない洗剤類、台所以外の用途である洗剤類は使用しない。

キッチン本体が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。

2.2. 重量に関する規定



収納アイテムに、収納物を無理につめ込まない。

禁止

引出しや棚板の変形の原因になります。

● キャビネット、棚板



必ず実行

キッチンの引出し、吊戸棚や各キャビネットへの収納は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

重量が限度を上回ったりかたよったりすると、棚板や引出しの破損につながったり、載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

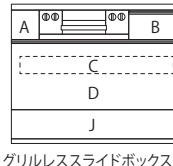
部位	耐荷重
A コンロ横引出し	— 2 kg
B 引出し	— 20 kg
C スライドボックス本体 (シンクキャビネット・ベースキャビネット・コンロキャビネット)	— 8 kg
D スライドボックス付 コンロキャビネット引出し	— 30 kg
E 引出し	— ※1 40 kg
F 引出し	間口 30cm / 45cm 20 kg 間口 60cm～ ※1 40 kg
G 引出し	間口 30cm 20 kg 間口 45cm ※1 40 kg
H スライドボックス付 ベースキャビネット引出し	間口 30cm / 45cm 10 kg 間口 60cm～ 30 kg
I スライドボックス付 シンクキャビネット引出し	— 10 kg
J フロアコンテナ	— 20 kg
スライドキャビネット	網カゴ 10 kg ボトル収納 20 kg
周辺収納キャビネット引出し	— ※2 20 kg
カフェスタイル収納 吊戸棚 オープンタイプ	底板・天板 各1枚 10 kg <small>仕切り板が入っている場合でも、底板一枚です。ただし、キャビネットが分割している場合は、底板は一枚ずつになります。</small>
天然木シェルフ 棚板	1枚 20 kg
棚板	1枚 20 kg
底板	1枚 20 kg

※ 1 奥行き 60cmのキッチンの場合、耐荷重は 20kgです。

※ 2 奥行き 65cmの片面カッップボード・片面フロアキャビネット 3段引出しタイプの3段目の場合、耐荷重は 40kgです。

MEMO 20 kg = 直径 26 cmの大皿 25 枚以内が目安です。

■ コンロキャビネット スライドボックス付



スライドボックスなし



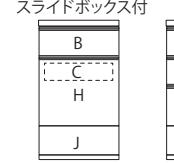
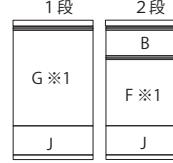
グリルレススライドボックス付



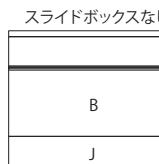
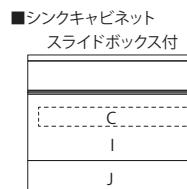
グリルレススライドボックスなし



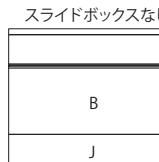
■ ベースキャビネット



3段



■ シンクキャビネット



2.2. 重量に関する規定

●ムーブダウン吊戸棚、ハンドムーブ、アイエリアボックス

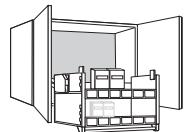


必ず実行

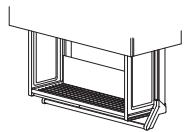
昇降ラック付吊戸棚の収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上の収納をすると、変形や落下の原因となり、ケガをする恐れがあります。

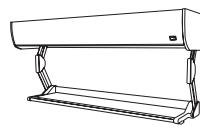
部位	耐荷重	
ムーブダウン吊戸棚	15 kg	
ハンドムーブ	8 kg	
アイエリアボックス	水切りカウンタータイプの一時置き 調味料棚タイプ	10 kg 3 kg



ムーブダウン吊戸棚



ハンドムーブ



アイエリアボックス

●コーナーキャビネット（ワゴンタイプ）



必ず実行

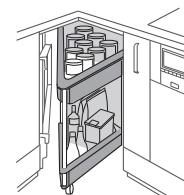
収納量は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

特に、ワゴンの場合、下記の限度以上に収納したり、上段に重いものを載せてかたよったりすると、転倒する恐れがあります。

部位	耐荷重	
コーナーワゴン	上段、下段それぞれ 中段の網棚	10 kg 5 kg
デルタトレー	上段、下段それぞれ	10 kg



コーナーワゴン



デルタトレー

⚠ 注意

キッチン周辺収納

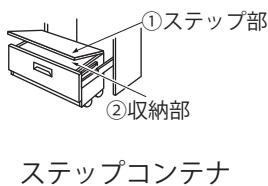


必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

限度以上収納すると、変形・落下・破損や、ケガの原因になります。

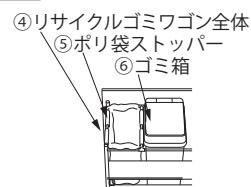
部位	耐荷重
ステップコンテナ	①ステップ部 100 kg
	②収納部 20 kg
家電収納庫、扉付トール家電収納庫(下台)	③スライド台 15 kg
リサイクルゴミワゴン	④リサイクルゴミワゴン全体 20 kg
	⑤ポリ袋ストッパー 5 kg
	⑥ゴミ箱 5 kg



ステップコンテナ



家電収納庫
扉付トール家電収納庫(下台)



リサイクルゴミワゴン

対面型キッチン、その他部材



必ず実行

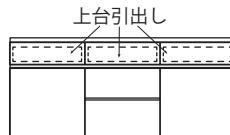
収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上収納すると、変形する恐れがあります。

部位	耐荷重
デュアルトップ対面/ハイタイプ上台	両面引出し 5 kg
フラット対面・デュアルトップ対面ロータイプ ディスプレイ引戸タイプ	上台引出し 10 kg



デュアルトップ対面ハイタイプ
両面引出し



ディスプレイ引戸タイプ
上台引出し

3.1. キッチン全体の使い方

● 使用上の注意

● ステンレス部品（ステンレスワークトップ（カウンター類を含む）、ステンレス扉、引出し底板など）



禁止

ぬれた包丁・塩・しょうゆ、または鉄製のタワシやステンレス以外の金属（缶詰など）を放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。



禁止

ステンレス部品には、塩素系の洗剤は使用しない。

サビの原因になります。

● 樹脂部品（人工大理石ワークトップ（カウンター類を含む）、プラスチック製品など）



禁止

樹脂部品に洗浄力の強い洗剤成分、または油成分などを付着したまま放置しない。

しみ・変色、ひびや破損の原因になります。必ずすぐに拭き取ってください。



禁止

樹脂部品に油脂類、シンナー、酸性の洗剤、塩素系やアルカリ性の洗剤などは使用しない。

ひびや破損の原因になります。

● 天然木部品（天然木ワークトップ（カウンター類を含む）、天然木シェルフ、天然木扉など）



禁止

ストーブやファンヒーターなどの熱風が直接当たらないようにする。

反り、割れ、変色、白化などの発生、表面のつやが変わる原因になります。



注意

強い日差しが直接当たらないようする。

反りや割れ、変色などが発生する原因になります。



禁止

クレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。また、お手入れ時にメラミンフォームを使用する際は強くこすらない。

傷がつく恐れや、表面のつやが変わる恐れがあります。

参考 お手入れのしかた P.30 ~ 31



禁止

家具用ワックス、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、カビ取り剤などを使用しない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。また、ワックスをかけると表面がワックスの皮膜になるため、抗ウイルス、抗菌性能などの塗装本来の性能が発揮されなくなります。



禁止

水をかけたまま放置しない。また、ぬれ布巾などを置きっぱなしにしない。

表面のふくれ、変色の原因になります。必ずすぐに拭き取ってください。

●開き扉・引出し・引戸・化粧板・棚板・取っ手・キャビネット



禁止

家具用ワックス、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、カビ取り剤などを使用しない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。



禁止

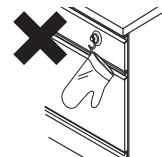
水をかけたまま放置しない。

表面のふくれの原因になります。必ずすぐに拭き取ってください。



禁止

開き扉・引出し前板・引戸扉やパネル類などにテープや吸盤などを長期間取り付けたままにしない。



変色やはがれ、ふくれなどの恐れがあります。



禁止

開き扉・引出し前板・引戸扉やパネル類などをメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。



禁止

引出しを開けたまま、他の引出しを開けない。

引出しが自重で下がったり、左右のブレによって、扉どうしが干渉し、破損の恐れがあります。



禁止

間口の大きい引出しほ、取っ手の端部を持って開閉しない。

扉がガタつき、引き出しにくくなる恐れがあります。またパネル類に干渉し、破損の恐れがあります。



必ず実行

キャビネット内に洗剤などを保管する場合は、必ず密閉し、液垂れしないようにする。

サビの原因になります。



禁止

扉にもたれ掛かったり、扉を前後に強く押さない。

扉がたわんだり、部品が破損する恐れがあります。



禁止

勢いよく扉を閉めない。

異音の発生や部品の破損の恐れがあります。



禁止

引出しを手前に引き出した状態で無理な力を掛けない。

破損の原因となります。



注意

室内の温度や調理機器の使用時間・方法などによってコンロキャビネットおよび、隣接するキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意する。

温度変化によって劣化しやすい調味料や食材の保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料に記載の保存方法に従ってください。

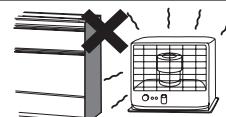
●その他



禁止

ストーブ・暖房器具などを近づけない。

キャビネットや扉などの反りや変形の恐れがあります。



3.1. キッチン全体の使い方



注意

ワークトップ、カウンター上に炊飯器などの蒸気を発生する機器を置いて使う場合、吊戸棚・アイエリアボックスに直接蒸気がかかるないように留意する。

結露により水滴がつき、キャビネットの塗装がはがれたり、ふくらんだりする恐れがあります。水滴がついたら、すぐに乾いた布で拭き取ってください。



禁止

調理機器のグリル扉を開けたまま使わない。

機器上部の変色やワークトップの焦げや破損、隣接する部材の変形などの恐れがあります。



注意

食器洗い乾燥機の洗浄時・乾燥時の熱によってキッチンカウンターや隣接するキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意する。

温度変化によって劣化しやすい調味料や食材の保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料に記載の保存方法に従ってください。



お手入れのしかた

キャビネット・ステンレス部品・樹脂部品・扉・引出し・引戸・棚板・取っ手

通常のお手入れ

- ・綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

- ・汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

注意

- ・ステンレス扉の場合は、汚れや指紋をつきにくくするためにコーティングが施されています。お手入れ、汚れ落としは、傷をつけないよう注意してください。
- ・開き扉・引出し前板・引戸扉やパネル、樹脂部品などはメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

シースルー扉のお手入れ

シースルー扉の半透明板は、プラスチックです。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

注意

- ・シースルー扉には、ガラスクリーナーを使わないでください。表面が白く変色・変質したり、傷がつく恐れがあります。
- ・メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなる原因になります。

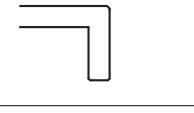
4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

STEDIA のワークトップやシンク、カウンター類にはさまざまな種類の素材があります。

それぞれの素材の特徴や使用上の注意、お手入れのしかたをお読みになり、素材に合った使い方をしてください。

●各素材の特徴

素材名	対象部材	特徴	ワークトップ前縁（断面）
ステンレス	ワークトップ シンク カウンター類	汚れに強く丈夫な素材です。 美コートワークトップやステンレスシンクには美コート（セラミック系特殊コーティング）を施しています（※1）。美コートは油汚れが落としやすく、日々のお手入れで簡単にきれいを保つことができます。シンクの底面や美コートワークトップの調理面（※2）には、特殊エンボス加工を施しています。特殊エンボス加工により、食器や調理器具の接する面を小さくし、こすれキズがつきにくく、目立ちにくくします。	
人工大理石	アクリストン・ フォルテックス 以外	耐熱性を備え、柔らかな質感のポリエスチル系人工大理石です。 優しい印象や上品な印象を与えるものなど、3色のカラーバリエーションがあります。	
	アクリストン	美しい色合いを長く保てるアクリル系人工大理石です。 砂目調や石目調など、豊富な柄と色のバリエーションがあります。	
	フォルテックス	汚れに強いアクリル系人工大理石です。 一般的な人工大理石と比べて硬く、汚れがしみ込みにくい素材です。 ワークトップ表面とシンク底面には、岩肌調の凹凸を施しています。	
天然木	ワークトップ カウンター類	キッチン専用として耐水性を向上した表面を持つ天然木素材です。 表面にウレタン塗装を施しています。 天然木特有の味わいとして色のバラツキ・斑・節などをそのまま生かしています。同じ樹種のものでも製品1点ずつ色柄、木目の入り方、継ぎ目の位置が異なります。また、使用環境により徐々に色合いが変化します。天然木の特性としてご理解ください。	
セラミック	ワークトップ カウンター類	ガラス、天然水晶で構成され、変色・熱・傷・汚れに強い素材です。 スペイン・コセンティーノ社の高品質素材「DEKTON®」を採用し、洗練されたキッチンを演出します。	
メラミン	カウンター類	カウンターとして使用できる耐久性の高い化粧板です。 砂目調や石目調など、豊富な柄と色のバリエーションがあります。	

※1 以下の部分には美コートが施されていません。

[ワークトップとシンクのつなぎ目] [L型ワークトップのつなぎ目]

※2 特殊エンボス加工が施されたワークトップは、サテンエンボスとバイプレーションエンボスです。
また、以下の部分には特殊エンボス加工が施されていないため、傷の目立ち方が異なります。

[ワークトップ前縁部分とバックガード部分] [L型ワークトップのつなぎ目部分] [シンク側面]

※3 インセット仕様の場合ワークトップ前縁形状が異なる場合があります。

※4 対面型ワークトップの場合は、水返しは無しでフォルテックス、セラミックと同形状となります。

※5 天然木ワークトップ・カウンターの表面は塗装仕上げとなっております。微細な凹凸部、ざらつきなどが部分的に発生する場合があります。また、調理道具や食器の擦れにより徐々に表面のツヤ感が変わったり、塗装のヤセが起こる場合があります。

※6 天然木ワークトップ・カウンターは経年の木の収縮により、表面に波打ちが起こる場合があります。

4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

 使用上の注意

●ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク共通



ワークトップをまな板代わりに使用しない。

傷がつく恐れがあります。



強い衝撃を与えない。ワークトップに乗らない。

破損の原因になります。



ワークトップの上に熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かない。

変色・変形・割れ・ふくれ（ステンレスワークトップの場合、裏面接着剤のはがれの原因）などの恐れがあります。置く場合は鍋敷き（厚さ1cm以上）などを使用してください。



ワークトップの上で低温調理をする際は、鍋敷き（厚さ1cm以上）を使用する。

変色・変形・ふくれ（ステンレスワークトップの場合、裏面接着剤のはがれ）の原因になります。



ワークトップの継ぎ目には、熱いものや重いものを長時間放置しない。

反り・ゆがみ・ひび割れ・表面の波打ちの原因になります。



ワークトップやシンクの上に水滴や汚れを残したままにしない。

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。

特に濃色のワークトップやシンクは水あかや汚れが目立ちますので、こまめにお手入れをしてください。

参考 お手入れのしかた P.30～33



食器や調理器具の置き方に注意し、引きずらない。

表面に傷がつく恐れがあります。鍋を置く場合は、鍋敷きをご利用下さい。

特に濃色のワークトップや天然木ワークトップの場合は、傷が目立つので注意してください。

ヘアライン仕上げの場合は、加工の目方向と垂直方向に傷がつくと目立ちます。



硬く鋭利なもの・砂・貝殻などを押し付けたり落としたりしない。

傷がつく恐れがあり、汚れが取りづらくなります。

天然木ワークトップの場合は、表面の塗膜を貫通するような深い傷は水分がしみこみやすく変色やふくれ、反りや割れが発生する恐れがあります。深い傷がついた場合は修理をご依頼ください。



熱湯を長時間流したり、頻繁に流さない。また、熱い油鍋をシンクの中に直接置かない。

変色・変形の恐れがあります。熱湯を流す場合は、水栓から水を流しながら行ってください。



シンクに多量の氷や、冷水を入れない。

シンクの裏面や、その周辺が結露して、収納物や引出しをぬらす恐れがあります。

●人工大理石ワークトップ・カウンター・シンク、メラミンカウンター



還元水素水生成器・食器洗い乾燥機など、ゴム脚・樹脂脚がついているものやゴム製品を長期間設置しない。

接地面が変色してくることがあります。直接ワークトップに触れないよう、置き台などで工夫してください。

●人工大理石ワークトップ・カウンター・シンク、メラミンカウンター



色の濃い食品（キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど）や汚れや色の濃いふきん類の染料、またはアルカリ性洗剤・洗浄剤が付着した場合は、すぐに洗う。

長時間放置すると落としにくくなります。



金属製の食器類や調理器具（フライパン、鍋など）をシンク底面にこすりつけたり、引きずったりしない。

フルテックスワークトップやシンクのチャコール色／グレー色は、傷がついて白くなる場合があります。ホワイト色／ベージュ色は、金属の跡（メタルマーク）がつく場合があります。程度により補修できない場合があります。



研磨剤粒子つきスポンジやクリームクレンザーを使用しない。

フルテックスワークトップやシンクのチャコール色／グレー色は、磨くと傷がついて白くなります。程度により補修できない場合があります。

●天然木ワークトップ



色の濃い食品（キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど）や汚れや色の濃いふきん類の染料、または酸性、アルカリ性洗剤・洗浄剤が付着した場合は、すぐに洗う。

長時間放置すると落としにくくなります。

●セラミックワークトップ（カウンター類を含む）



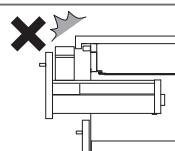
ワークトップ端部に、強い衝撃を与えない。

破損（割れ、欠けなど）の原因になります。破損した場合、補修はできません。



ワークトップ前縁に、収納物がぶつからないようにする。

引出しを開閉する際、ワークトップ前縁に収納物がぶつかると、破損（割れ、欠けなど）の原因になります。破損した場合、補修はできません。



ワークトップ前縁に体を押し付けたまま移動しない。

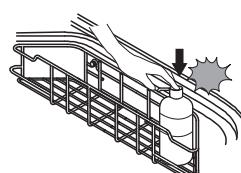
摩擦により、衣服が白くなったり、破れ、ほつれの原因になります。

●クリンラック（SA/SYシンク用）



クリンラック（SA/SYシンク用）の端にポンプ式などの洗剤を置いて強く押さないよう留意する。

クリンラックが傾いて収納物が倒れる恐れがあります。



4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

お手入れのしかた

お手入れ方法と洗浄具・洗剤



必ず実行

下表および P.32 ~ 35 を参照し、適切なお手入れを行う。

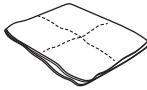
ワークトップやシンクの材質によって、お手入れの方法が異なります。

以下の表を参照し、お使いのキッチンに合わせて、適切なお手入れを行ってください。

MEMO お客様がお使いのシンクとワークトップの種類を確認し、表中の「お使いの商品」の欄にチェックマークを入れておくと便利です。

4

●シンク

ワークトップ・シンクのお手入れ方法		
通常のお手入れ		
洗浄具類 (参考事例)	ふきん・柔らかい布 	スポンジ 『ウレタンスポンジ下面』 (ウレタン部) 『ネット付スポンジ』
洗剤類 (参考事例)	—	食器用中性洗剤
シンク	ステンレス (美コートなし)	
	ステンレス (美コート付)	
	アクリストン	
	フルテックス	
	人工大理石	
	アクリストン・ フルテックス 以外	
毎日のお手入れ		 使用推奨
<p>①洗剤をつけたスポンジで洗う。 ②水で洗剤を洗い流す。 ③乾いた布で乾拭きする。</p>		 使用推奨
<p>①洗剤をつけたメラミン フォームで洗う。 ②水で洗剤を洗い流す。 ③乾いた布で乾拭きする。</p>		 〈フルテックス濃色の場合〉 注意 軽く拭き取ってください。 メラミンフォームで強く拭き取るとつやが変わる恐れがあります。

注意

- ・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。
- ・シンクを部分的にお手入れすると、拭き取った部分が変色したように見える場合がありますが、変色ではありません。シンク全体をお手入れするようにしてください。
- ・クリームクレンザー や サンドペーパー、スポンジ（研磨粒子付）を使用する場合は、シンクの目立たない部分で傷が付かないか確認してください。

参照

1.2. お手入れスケジュール P.6

アフターサービスのご用命 裏表紙

MEMO

フォルテックスシンクで、表面の凹凸に頂点の傷が目立つ場合は、水を含んだメラミンスポンジで磨くことで、目立ち方を軽減できます。
フォルテックスシンクで、金属製の調理器具等がこすれた際に、黒や銀色の跡（メタルマーク）が残る場合があります。水を含んだメラミンスポンジでこすることで、跡を除去できますが、強くこするとつやが変わる恐れがあります。

- ※1 フォルテックスシンクを除く人工大理石シンクで、汚れや傷をお手入れした箇所とその周辺に光沢の違いが見られる場合は、クリームクレンザーと水を含んだスポンジで、さらに全体を磨いてください。
- ※2 フォルテックスシンクを除く人工大理石シンクで、下記お手入れを実施したうえで傷や欠けが気になる場合、お買い求めの販売店または、クリナップカスタマーセンターまでご連絡ください。傷・欠けの状況によっては、補修ができない場合もあります。

ワークトップ・シンクのお手入れ方法

落ちにくい汚れや水あか、傷のお手入れ

メラミンフォーム

『激落ちくん』
(レック株式会社)

サンドペーパー240番

『ウレタンスポンジ上面』
(研磨粒子付不織布部)

金属タワシ



クリームクレンザー（研磨材20%以下）



粉末クレンザー



- ①汚れがついた部分を磨く。
- ②通常のお手入れ同様に仕上げる。

使用可



注意
傷や表面のつやの変化、もらいサビの
恐れがあります。
使用不可



注意
傷や表面のつやの変化、傷や摩耗によるコーティングの性能劣化、
もらいサビの恐れがあります。
使用不可



- ①汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。
(傷が取りきれない場合)
- ②通常のお手入れ同様に仕上げる。 ※1 ※2

使用可

注意

シンク底面以外（シンク側面など）には使用しないでください。
つやがなくなり、傷がつく恐れがあります。



注意
傷がつき、汚れが取りづらくなる
恐れがあります。
使用不可



注意
傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。
使用不可



- ①汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。
(傷が取りきれない場合)
240番のサンドペーパーで磨いた後、400番のサンドペーパーで円を描くように磨く。
- ②通常のお手入れ同様に仕上げる。

使用可



注意
シンク底面以外（シンク側面など）には使用しないでください。つやが
なくなり、傷がつく恐れがあります。



注意
傷がつき、汚れが取りづらくなる
恐れがあります。
使用不可

※1 ※2

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

お手入れのしかた

注意

- ・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。
- ・ワークトップを部分的にお手入れすると、拭き取った部分が変色したように見える場合がありますが、変色ではありません。ワークトップ全体をお手入れするようにしてください。
- ・クリームクレンザーやサンドペーパー、スポンジ（研磨粒子付）を使用する場合は、ワークトップの目立たない部分で傷が付かないか確認してください。
- ・ステンレスフロアカウンターのサイドキャップのお手入れにはメラミンフォームやクレンザー類を使用しないでください。傷がつく恐れがあります。

参考

1.2. お手入れスケジュール P.5

アフターサービスのご用命 裏表紙

4

●ワークトップ

		ワークトップ・シンクのお手入れ方法		
		通常のお手入れ		
洗浄具類 (参考事例)		ふきん・柔らかい布	スポンジ 『ウレタンスponジ下面』 (ウレタン部) 『ネット付スponジ』	メラミンフォーム 『激落ちくん』 (レック株式会社)
洗剤類 (参考事例)		食器用中性洗剤		
ワークトップ カウンター類	ステンレス (美コートなし)	毎日のお手入れ	週1度のお手入れ	汚れてきたら
	ステンレス (美コート付)			
	アクリストン			
	人工大理石			
	フォルテックス			
	アクリストン・ フォルテックス 以外	①水を含んだ布で 拭き取る。 ②乾いた布で乾拭きする。	①洗剤をつけたスponジ で汚れを落とす。 ②水を含んだ布で洗剤を 拭き取る。 ③乾いた布で乾拭きする。	①洗剤をつけたメラミン フォームで汚れを落とす。 ②水を含んだ布で洗剤を 拭き取る。 ③乾いた布で乾拭きする。
	天然木			
	セラミック			
	メラミン			

〈天然木・メラミン
・フォルテックス濃色の場合〉

注意

軽く拭き取ってください。
メラミンフォームで強く拭き取るとつやが変わる恐れがあります。

MEMO フォルテックスワークトップで、表面の凹凸の頂点に傷が目立つ場合は、水を含んだメラミンスポンジで磨くことで、目立ち方を軽減できます。

フォルテックスワークトップで、金属製の調理器具等がこすれた際に、黒や銀色の跡（メタルマーク）が残る場合があります。水を含んだメラミンスポンジでこすることで、跡を除去できますが、強くこするとつやが変わるのはあります。

- ※ 1 フォルテックスワークトップ以外の人工大理石ワークトップで、汚れや傷をお手入れした箇所とその周辺に光沢の違いが見られる場合は、クリームクレンザーと水を含んだスポンジで、さらに全体を磨いてください。
- ※ 2 フォルテックスワークトップ以外の人工大理石ワークトップで、下記お手入れを実施したうえで傷や欠けが気になる場合、お買い求めの販売店または、クリナップカスタマーセンターまでご連絡ください。傷・欠けの状況によっては、修理ができない場合もあります。
- ※ 3 天然木シェルフのお手入れのしかたは、P.90をご確認ください。

ワークトップ・シンクのお手入れ方法

落ちにくい汚れや傷のお手入れ

メラミンフォーム



『激落ちくん』
(レック株式会社)

サンドペーパー240番



スponジ(研磨粒子付)
『ウレタンスponジ上面』
(研磨粒子付不織布部)

金属タワシ



クリームクレンザー(研磨材20%以下)



粉末クレンザー



①汚れがついた部分を磨く。

②通常のお手入れ同様に仕上げる。

使用可

MEMO ヘアライン仕上げの場合は、目方向と平行になるように磨いてください。



注意

傷や表面のつやの変化、もらいサビの
恐れがあります。



①汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。

②通常のお手入れ同様に仕上げる。

使用可

※1 ※2



注意

傷や表面のつやの変化、傷や摩耗によるコーティングの性能劣化、
もらいサビの恐れがあります。



注意

傷がつき、汚れが取りづらくなる
恐れがあります。



①汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。

〈傷が取りきれない場合〉
240番のサンドペーパーで磨いた後、400番のサンドペーパーで
円を描くように磨く。

②通常のお手入れ同様に仕上げる。

使用可

※1 ※2



注意

傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。



①汚れがついた部分を円を描くように磨く。

②通常のお手入れ同様に仕上げる。

使用可



注意

傷がつき、汚れが取りづらくなる
恐れがあります。



注意

傷がつき、汚れが取りづらくなる恐れがあります。

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

注意が必要な洗剤類



必ず実行

**洗剤類を使用する場合は、下表を確認のうえ、注意して使用する。
また、使用不可な洗剤は使用しない。**

ワークトップやシンクには、使用時に注意が必要な洗剤や使用できない洗剤があります。
洗剤類を使用する場合は、以下の表でご確認のうえ、注意してご使用ください。

4

調理アイテムの使い方

ワークトップ・シンク用の洗剤		
洗剤類 (参考事例)	台所用漂白剤(液状)	台所用漂白剤(泡状)
液性・成分	各種 『キッチンハイター(液状)』 (花王株式会社)	各種 『キッチンハイター(泡状)』 (花王株式会社)
シンク	全て	 条件付で使用可
ワークトップ カウンター類	全て	<p>●使用条件</p> <p>必ず実行 洗剤の容器などに表示された使用方法に従い、適正な放置時間や希釈方法で使用してください。 使用後すぐに十分に水洗いしてください。</p>

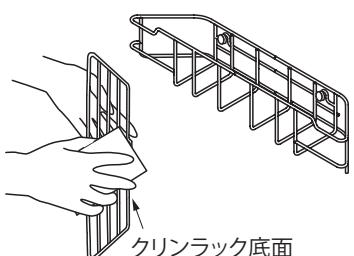
クリンラック (RW シンク用)・クリンラック (SA/SY シンク用)・
クリンラック (AE/AK シンク用)・スリムラック (RW シンク用)・
洗剤バスケット (SK/SV/SB/SD/TG/TU/EG/EU シンク用)・
洗剤バスケット (PM シンク用) のお手入れのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、ラックを外し、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いてください。
汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。

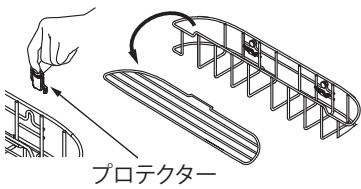
MEMO クリンラック (AE/AK シンク用を除く) は、一番汚れやすい洗剤やスポンジを置いている底面部分だけを外して、お手入れすることができます。
クリンラック (RW シンク用) は、プロテクターを外してお手入れすることができます。

注意 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。

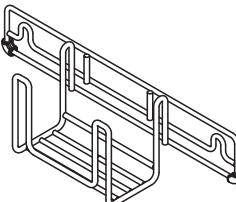
〈クリンラック (SA/SY シンク用)〉



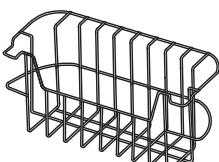
〈クリンラック (RW シンク用)〉



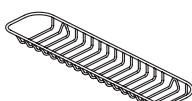
〈スリムラック (RW シンク用)〉



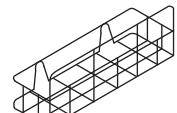
〈洗剤バスケット (SK/SV/SB/SD シンク用)〉



〈クリンラック (AE/AK シンク用)〉



〈洗剤バスケット (PM シンク用)〉



ワークトップ・シンク用以外の洗剤 ※ワークトップ用、シンク用ではないが使用する可能性のある洗剤類

排水パイプ用洗浄剤	排水パイプ用洗浄剤	排水口用洗浄剤	トイレ用洗浄剤など	業務用洗剤
				
塩素系のアルカリ性洗剤	ケイ酸塩 （「オルトケイ酸ナトリウム」と成分表記している洗剤）	固形または粉末の塩素系の洗浄剤 （ヌメリ取り剤など）	酸性の洗浄剤 （塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、研磨材入りの酸性の洗浄剤）	業務用洗剤
 使用不可	 使用不可	 使用不可	 使用不可	
注意 長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。	注意 腐食やサビの恐れがあります。	注意 サビや変色の恐れがあります。	注意 長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。	

まな板ラックのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、まな板ラックを外し、小さなブラシを使ってお手入れしてください。

注意 樹脂部品の溝に、汚れがたまつたまま放置しないでください。ステンレスシンクのサビやヌメリの原因となります。

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

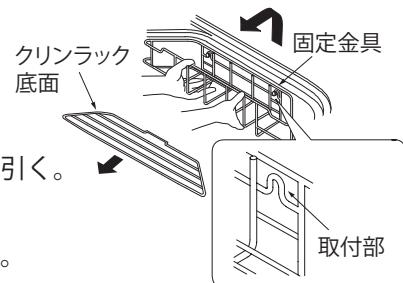
使い方

取り付け、取り外しは、洗剤やスポンジなどの収納物を取り出してから行ってください。

クリンラック（SA/SY シンク用）の脱着

取り外し方

- 底板部分を外す。
- クリンラックの全体を持ち、一度上方へ持ち上げてから、手前に引く。



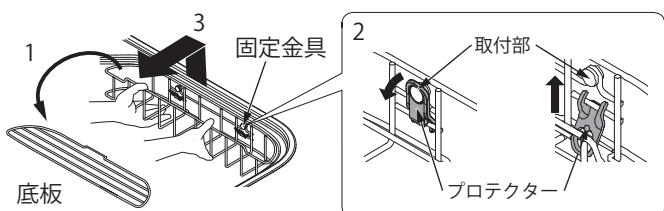
取り付け方

- シンクの固定金具に、クリンラックの取付部を上から引っ掛ける。
- 底板部分を戻す。

クリンラック（RW シンク用）の脱着

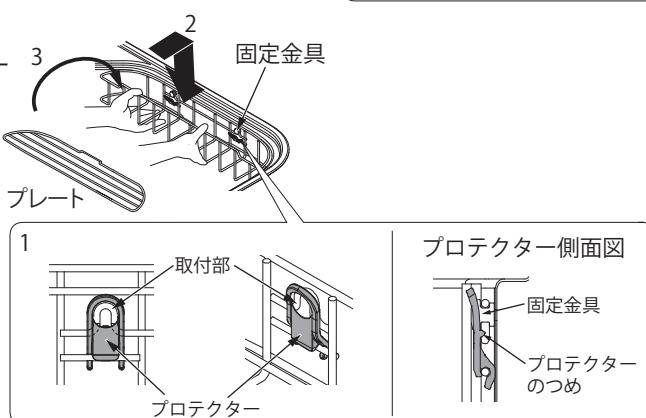
取り外し方

- 底板部分を外す。
- プロテクターを下げる。
- クリンラック全体を持ち、一度上方へ持ち上げてから手前に引く。



取り付け方

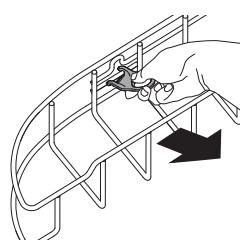
- クリンラックの取付部のU字とプロテクターの穴の円を合わせる。
- 両端の固定金具に取付部を上から引っ掛ける。
- 底板部分を戻す。



注意 プロテクターの後ろにあるつめが固定金具にしっかりと引っ掛かっていることを確認してください。

MEMO

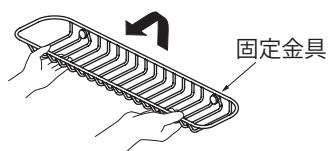
プロテクター本体をお手入れする際は、プロテクターをクリンラックから取り外してください。クリンラックをシンクから取り外した状態で、クリンラックを押さえながら、プロテクターを斜めに引っ張ると外れます。



クリンラック（AE/AK シンク用）の脱着

取り外し方

クリンラックの全体を持ち、一度上方へ持ち上げてから、手前に引く。



取り付け方

シンクの固定金具に、クリンラックの取付部を上から引っ掛ける。

スリムラック (RW シンク用) の使い方

食品トレイやペットボトルの水切り、まな板やスポンジ置きなど様々な使い方ができます。
シンク内の固定金具だけでなく、クリンラックや水切りバスケットにも引っ掛けることができます。

MEMO まな板を置く場合は、必ずスリムラックを固定金具に取り付けた状態で置いてください。

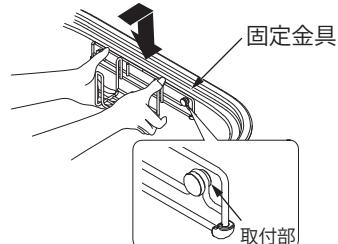
スリムラック (RW シンク用) の脱着

取り外し方

スリムラック全体を持ち、一度上方へ平行に持ち上げてから手前に引く。

取り付け方

シンクの固定金具に、スリムラックの取付部を上から引っ掛ける。



まな板ラック (RW/SA/SY シンク用) の脱着

取り外し方

フックの部分を内側に押してフックを外し、クリンラック・スリムラック (RW シンク用) からまな板ラックを外す。

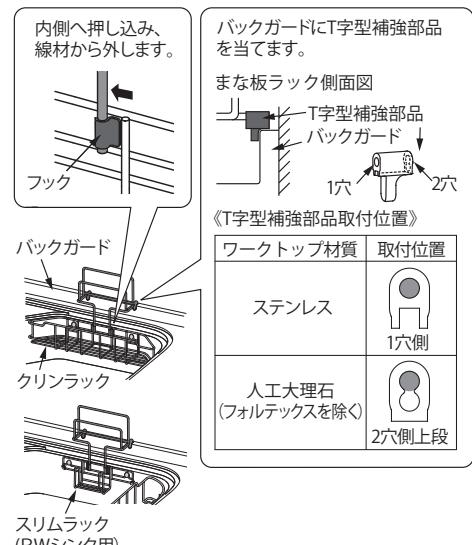
取り付け方

片側のフックをクリンラック・スリムラック (RW シンク用) にはめ、もう片側のフックを内側に押し込みながらクリンラック・スリムラック (RW シンク用) にはめる。

T字型補強部品をシンクのバックガードに当たるように取り付け、まな板ラックを動かしてみて、クリンラック・スリムラック (RW シンク用) から外れないことを確認してください。

MEMO

- ・つねにT字型補強部品がバックガードに当たるようにしてください。
- ・T字型補強部品はワークトップの材質によって取付位置が異なります。取り外した場合は右図を参考に元の位置に取り付けてください。



注意

まな板ラック (RW/SA/SY シンク用) は、天然木ワークトップ、フルテックスワークトップ、セラミックワークトップには取り付けることができません。

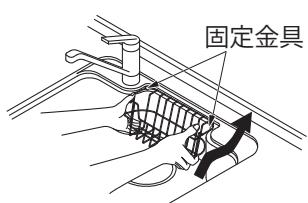
洗剤バスケットの脱着 (SK/SV/SB/SD/TG/TU/EG/EU シンク用)

取り外し方

洗剤バスケットの前面を持ち、奥側へ傾け、固定金具から外した状態で上に持ち上げる。

取り付け方

取り外したときと逆の手順で、固定金具に取り付ける。



4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

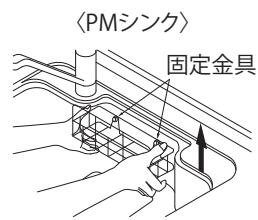
洗剤バスケットの脱着（PM シンク用）

取り外し方

洗剤バスケットの前面を持ち、そのまま上に持ち上げる。

取り付け方

取り外したときと逆の手順で、固定金具に取り付ける。



まな板ラックの脱着（SK/SV/SB/SD シンク用）

取り外し方

- まな板ラックの両端を持ち、ラック全体を左方向に力を加えながらスライドさせ、固定を解除させる。
- 解除されたのを確認し、まな板ラックの両端を持ち、そのまま上へ引き上げる。

取り付け方

取り外したときと逆の手順で、下に力を加えながら右方向にスライドさせ、取付ピンに固定させる。

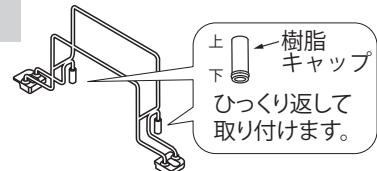
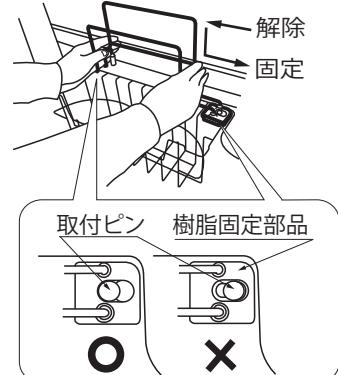
注意

- まな板ラックがしっかりと取り付いていることを確認してください。樹脂固定部品に取付ピンがはめ込まれていないと、まな板を置いたときに、まな板ラックが外れる恐れがあります。
- 樹脂固定部品を分解して洗わないでください。

MEMO

- 以下の組み合わせの場合は、樹脂キャップを上下ひっくり返して取り付けてください。ひっくり返さずに使用すると、水平に取り付かず、まな板の収まりが悪く鳴ります。
 - アクリリストンワークトップと SB/SD シンクとの組み合わせの場合
 - アクリリストンワークトップ以外の人工大理石ワークトップと TG/TU/EG/EU シンクとの組み合わせの場合。
- SK/SV シンク用のまな板ラックと SB/SD シンク用のまな板ラックは形状が異なります。

まな板ラックの両端を持って脱着する。

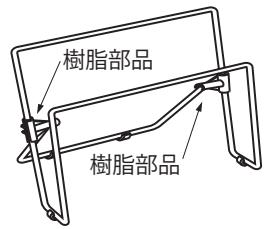


まな板スタンドの使い方

- ・まな板スタンドは、ワクトップ上に広げて立て、まな板を立てることができます。収納する場合は、樹脂部品をワイヤーラックの線材に、上からはめ込んでください。
- ・まな板スタンドに収納できるまな板の厚さは、3.5cm以下です。

参照

アクセサリーパーツのご案内は、下記ページを参照してください。
10.1. シンクアクセサリーパーツ P.96 ~ 97



4. 調理アイテムの使い方

4.2. 排水口周り

● 使用上の注意

● 排水口共通



浅型カゴ、排水目皿は必ず取り付けて使用する。
排水管に調理クズなどが流れ込み、排水管のつまりの原因になります。



浅型カゴ、クリンコーナーにためたゴミは、こまめに捨てる。
半日以上ためると、悪臭が発生する原因になります。

MEMO

水切りネットを使用した場合、ゴミがつまりやすくなる場合がありますので、よりこまめにゴミを捨ててください。
なお、ご使用になる場合は、下表を参考にしてご使用ください。

浅型カゴ	クリンコーナー
<p>小判型用／三角コーナー兼用などのストッキングタイプ ※20×15cm／20×20cmと記載のあるもの（伸張時） が目安</p> <p>拡大イメージ</p> <p>使用時</p>	<p>三角コーナー用のネットタイプ ※25×25cmと記載のあるものが目安</p> <p>拡大イメージ</p> <p>使用時</p>



浅型カゴのお手入れは、必ずシンクから取り外して行う。
設置した状態で強い力を与えると、変形したり、傷がつく恐れがあります。



防臭ワンや防臭パイプは、通常使用時に取り外さない。
排水管からの悪臭が発生します。排水口本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。



洗剤をステンレス部分に長時間放置しない。
変色の恐れがあります。

使い方

排水トラップの使い方

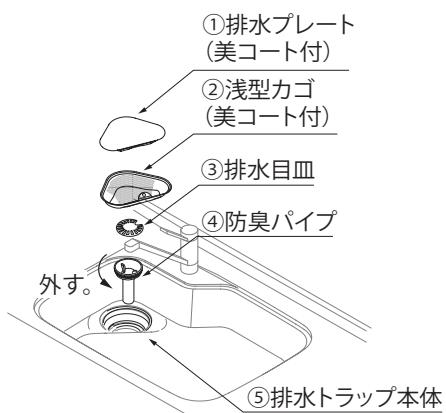
排水トラップは、下図のような構成になっています。

参考

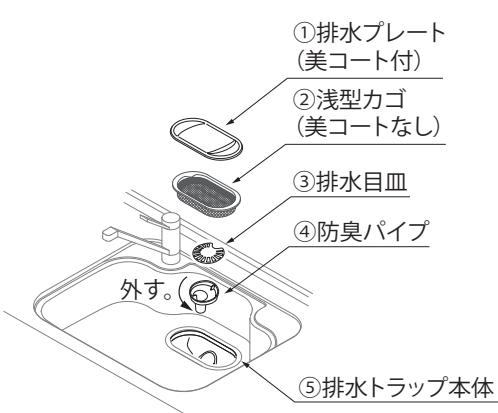
アクセサリーパーツのご案内は、下記ページを参照してください。

10.1. シンクアクセサリーパーツ P.96 ~ 101

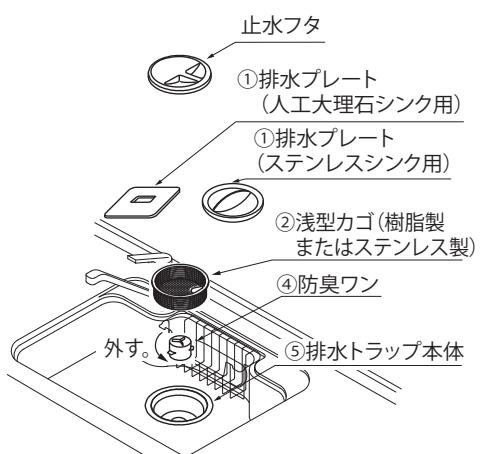
〈 RW/SA/SY/AE/AKシンク 〉



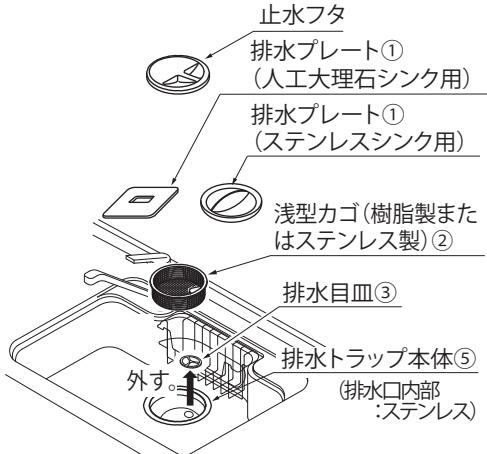
〈 SK/SV/SB/SDシンク 〉



〈 TU/TG/EU/EG/PMシンク 〉 (樹脂トラップ)



〈 TU/TG/EU/EG/PMシンク 〉 (ステンレストラップ)



かってにクリントラップの使い方

参考

4.3. かってにクリントラップ P.44

4. 調理アイテムの使い方

4.2. 排水口周り

お手入れのしかた

部品ごとのお手入れ方法



下表を参考し、適切なお手入れを行う。

必ず実行 排水口周りの、各部品のお手入れは下記の表を参考に行ってください。

4

調理アイテムの使い方

MEMO ④防臭ワンまたは防臭パイプ (P.39 参照) の取り外しは反時計回りに回し、取り付けは時計回りに回してください。

注意

- 排水パイプ用洗浄剤を使用する場合は、必ず使用前に、洗浄剤の使用方法・注意をお読みください。
- 万一、使用不可の洗剤を誤って使用した場合やシンクやワークトップに洗浄剤が付着した場合は、すぐに十分な水できれいに洗い流してください。サビや変色の原因になります。

	排水口周りのお手入れ方法	
	通常のお手入れ	
洗剤類 (参考事例)		食器用洗剤
液性・成分		中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤
①排水プレート (美コート付)	週1度以上のお手入れ	①洗剤をつけたスポンジで洗う。 ②水で洗剤を洗い流す。 MEMO ステンレス部分は美コートが施されています。ステンレス(美コート付)のシンク同様のお手入れを行ってください。(P.30~31参照)
②浅型カゴ (美コート付)	週1度以上のお手入れ	①洗剤をつけたスポンジで洗う。 ②水で洗剤を洗い流す。 MEMO ステンレス部分は美コートが施されています。ステンレス(美コート付)のシンク同様のお手入れを行ってください。(P.30~31参照)
③排水目皿	週1度以上のお手入れ	①洗剤をつけたスポンジで洗う。 ②水で洗剤を洗い流す。
④防臭ワンまたは 防臭パイプ	<かつてにクリントラップの場合> 汚れてきたら 臭いやつまりを感じたら	①洗剤をつけたスポンジや洗浄ブラシでこすり落とす。 ②水で洗剤を洗い流す。 ステンレス トラップ
⑤排水トラップ本体	<上記以外のトラップの場合> 月1度程度のお手入れ 臭いやつまりを感じたら	洗浄ブラシ 洗浄ブラシ 樹脂トラップ 排水口
⑥排水パイプ (ホース)	週1度程度のお手入れ	①防臭ワンまたは防臭パイプを取り外す。 ②洗い桶に1~2杯(5~10ℓ)のぬるま湯をため、食器用洗剤を混ぜる。 ③排水口に向けて勢よく流す。

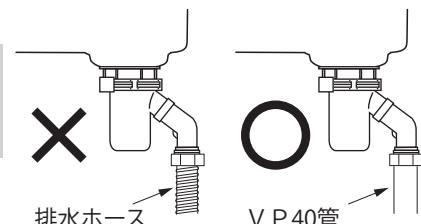
集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点

排水管洗浄業者による排水管の集中洗浄（高圧洗浄）をする場合は、下記点に注意し、洗浄業者と打ち合わせしてください。

- ・洗浄前に排水目皿と防臭wanまたは防臭パイプを取り外し、洗浄後は必ず取り付けてください。
- ・排水口・排水トラップに高い水圧をかけないようにしてください。排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。
- ・集中洗浄（高圧洗浄）機についているホースは樹脂製を推奨します。（かってにクリントラップの場合は、高圧洗浄機のホースはΦ8程度のものを推奨します。）

注意

排水ホースで接続されている場合は、高圧洗浄はできません。フリーパイプや肉厚管（VP管）などで直管配管している場合のみ、高圧洗浄が可能です。



排水口周りのお手入れ方法

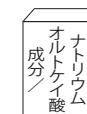
月1度のお手入れ・使ってはいけない洗剤

排水パイプ用洗浄剤



塩素系のアルカリ性洗剤

排水パイプ用洗浄剤



ケイ酸塩
（「オルトケイ酸ナトリウム」と成分表記している洗剤）

排水口用洗浄剤



固形または粉末の塩素系の洗浄剤
（ヌメリ取り剤など）

トイレ用洗浄剤など



酸性の洗浄剤
（塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、研磨材入りの酸性の洗浄剤）

業務用洗剤



業務用洗剤



使用不可

注意

長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。

万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口本体に残らないよう、水できれいに洗い流してください。

月1度程度のお手入れ



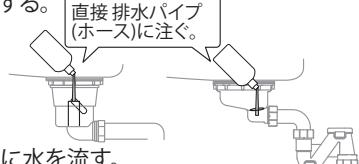
条件付で使用可

●使用条件

- ・月1度程度のお手入れのみ使用する。
- ・排水パイプ（ホース）以外に付着した場合は、すぐに十分な水で洗い流す。

①排水プレート、浅型カゴ、防臭wanまたは防臭パイプを取り外す。

②排水パイプ用洗浄剤を、直接排水パイプ（ホース）へ注ぎ、洗浄する。
直接排水パイプ（ホース）に注ぐ。



③洗浄後、十分に水を流す。



使用不可



使用不可



使用不可



使用不可

注意

長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。

注意

腐食やサビの恐れがあります。

注意

サビや変色の恐れがあります。

注意

長時間接触により、固着や変色の恐れがあります。

万一、誤って使用した場合は、シンクや排水トラップ本体に残らないよう、水できれいに洗い流してください。

4.3. かってにクリントラップ

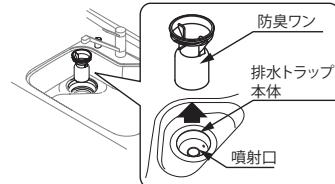
- ・ かってにクリントラップはトラップ内にきれいな水を噴射し、汚れた封水をきれいな水に入れ替えます。
- ・ タイマー運転（8時間に1回）により、定期的な洗浄運転を行うことで、封水内の汚水の腐敗や汚れの固着を防ぎ、トラップ内の手洗い時の手間を軽減します。

使用上の注意



噴射口にシャワーなどを意図的に直接かけない。

配管ホース内が汚染されたり、配管が詰まる恐れがあります。



排水トラップ内に噴射される水を飲まない。

この噴射口から噴射される水は飲料水ではありません。健康を害する恐れがあります。



洗浄運転中は水栓など水の使用を控える。

同時に水を使用すると水圧が下がり、洗浄効果が弱まる恐れがあります。また、水圧が下がりすぎるとエラー発生の原因になる場合があります。



タイマー OFF モードで使用する場合、8 時間に 1 回を目安に洗浄運転を行う。

定期的に洗浄を繰り返すことで汚れの付着を軽減するため、定期的に洗浄しないと洗浄効果が十分に発揮されない可能性があります。また、洗浄運転の間隔が 8 時間以上空くと、洗浄効果が十分に発揮されない可能性があります。汚れ・臭い・つまりなどを感じたら、手洗いでのお手入れを行なう。

参照 お手入れのしかた P.42 ~ 43



汚れ・臭い・つまりなどを感じたら、手洗いでのお手入れを行う。

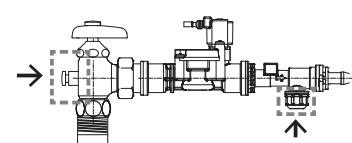
かってにクリントラップは定期的に洗浄を繰り返すことで、排水トラップ内の汚れの付着を抑制するものであり、お手入れが不要になるものではありません。キッチンの使用状況や環境によって、洗浄効果は異なります。固着した汚れや繁殖したカビは、洗浄運転では除去できません。

参照 お手入れのしかた P.42 ~ 43



防臭ワンは、通常使用時に取り外さない。

取り外すと、排水管から悪臭が発生します。また、取り外した状態で洗浄運転が行われると、水がはねて家財等を濡らす恐れがあります。排水口本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。



水抜き栓は、水抜き以外の目的で開けない。

漏水の恐れがあります。



スイッチのめっき部の剥がれはそのまま放置しない。

めっき部の剥がれや傷で、ケガをする恐れがあります。



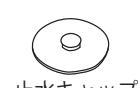
スイッチの吸気口にシャワーなどを直接かけない。

電装部品が故障する恐れがあります。吸気口に水が入った場合、スイッチとシンクのすき間から水が漏れ出てきますが、故障ではありません。



止水キャップを付けたまま、かってにクリントラップの洗浄運転をしない。

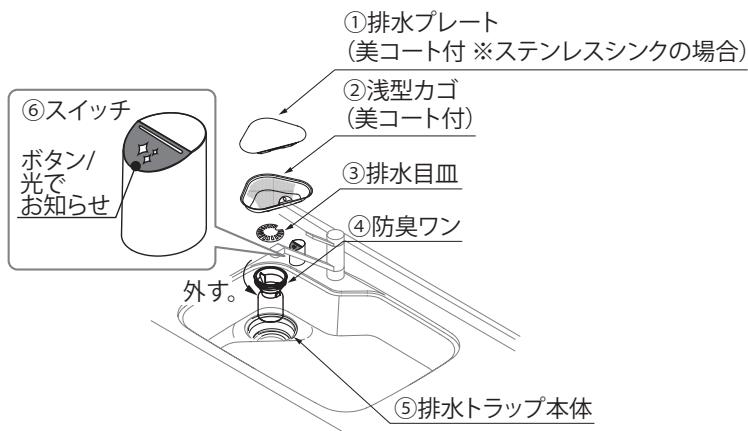
排水トラップ内部に圧力差が生じ、止水キャップが振動したり、漏水したりする恐れがあります。



止水キャップ

使い方

かってにクリントラップは、下図のような構成になっています。



注意

- かってにクリントラップは定期的に洗浄を繰り返すことで、トラップ内の汚れの付着を抑制するものであり、お手入れが不要になるものではありません。キッチンの使用状況や環境条件によっても効果は異なります。
- 水圧が低すぎる場合や、水栓などと一緒に水を使用していた場合、効果が落ちる場合があります。
- 上水道に接続してください。(井戸水、温泉水では使用しないでください。)

電源の入れ方・消し方



- 電源がONになると、タイマーONモードになります。
- 2秒長押しで電源OFFにできます。

注意

長期間不在にする場合は、P.42～43「4.2 排水口周り」を参照して上図①～⑤のお手入れを行った上、電源をオフにしてください。

4.3. かってにクリントラップ[®]

モードの選び方

かってにクリントラップは、2つのモードを搭載しています。

●タイマー ON モード ※初期設定

- ・電源が ON になると、タイマー ON モードになります。
- ・タイマー ON モードが設定されたタイミングから、8時間ごとに自動で洗浄運転を行います。

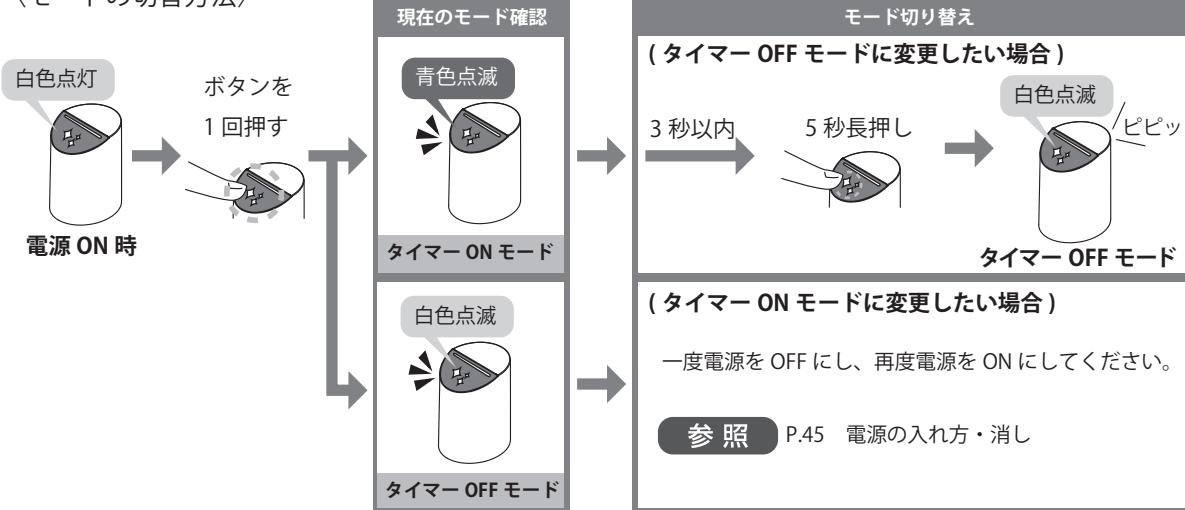
注意 ・タイマー ON モードの場合、夜間に自動運転を行う場合があります。洗浄音が気になる場合は、タイマー OFF モードをご使用ください。

●タイマー OFF モード

- ・お客様がご自分で操作して洗浄運転を行うモードです。タイマーによる自動洗浄運転は行われません。

注意 ・かってにクリントラップはタイマー運転(8時間毎の自動運転)により、定期的に洗浄を繰り返すことで、トラップ内の汚れの付着を抑制するものです。「タイマー OFF モード」を選択した場合でも、8時間に1回を目安に、手動で洗浄運転を行ってください。定期的に洗浄しないと洗浄効果が十分に発揮されない可能性があります。
・電源を OFF にすると再度「タイマー ON モード」が設定されます。「タイマー OFF モード」にする場合は再度モードを切り替えてください。

〈モードの切替方法〉



参考

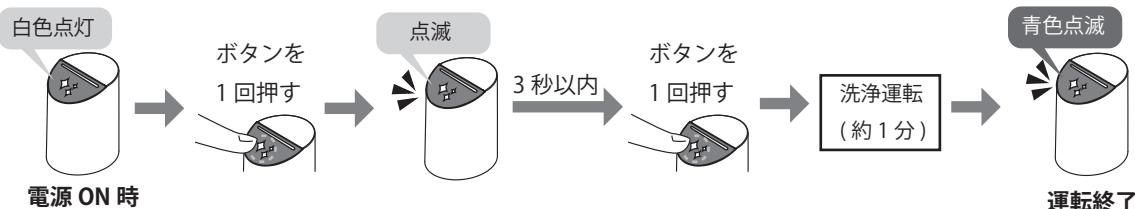
洗浄運転の操作方法は、下記ページを参照してください。

P.47 手動で洗浄運転したいとき

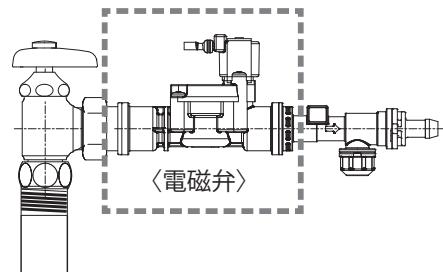
手動で洗浄運転したいとき

- ボタンを操作することで、手動で洗浄運転を行うことができます。
- 油分の多い汚れや色の濃い汚れが付いた食器や調理器具を洗った後などは、直後に洗浄運転を行うことで、排水トラップへの汚れの付着が軽減されます。（汚れの種類や環境条件により、洗浄効果に差が出る可能性があります。）

〈手動運転方法〉



- タイマーONモードを設定中に手動で洗浄運転を行った場合、洗浄運転が終了したタイミングから8時間ごとに自動で洗浄運転を行います。
- 洗浄運転を連続で何度も行うと電磁弁が熱くなることがあります。運転後しばらくは電磁弁を触らないようにしてください。



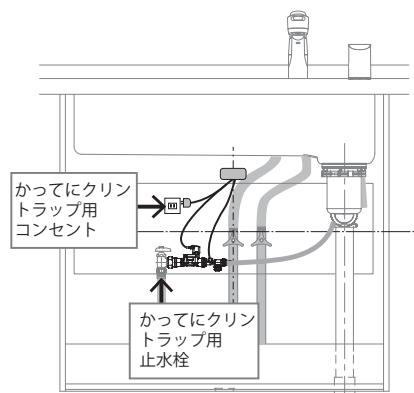
洗浄効果をより高めるために

- 普段の食器洗いを40°C程度のぬるま湯で行うことで、排水トラップ内の汚れの固着が緩和し、洗浄効果が高まります。
- 排水口に40°C程度のぬるま湯を流した後、手動で洗浄運転を行うことで、排水トラップ内の汚れの固着が緩和し、洗浄効果が高まります。

停電時・緊急時の対応

- 停電時は、かってにクリントラップの洗浄運転はできません。復旧後に電源をONにしてご使用ください。
- 水漏れ等緊急時は、キャビネット内部にあるかってにクリントラップ用止水栓を止め、電源プラグを抜いてから、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参考 アフターサービスのご用命 裏表紙



4.3. かってにクリントラップ[®]

エラー表示

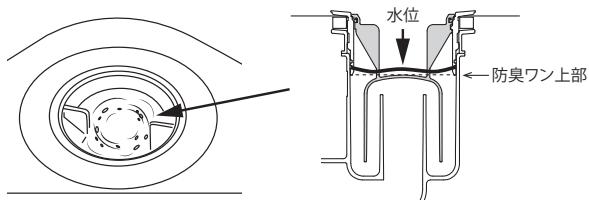
- エラーが発生すると、スイッチが赤く点灯し「ピーピー」というエラー音が鳴ります。光の色や音のパターンを確認し、下表を参照して対応してください。

参考 アフターサービスのご用命 裏表紙

	光	音	状況	対処方法
パターン①	赤く点灯 	ピピッピピッ… (5回)	給水量不足	①水栓など同時に使用している場合は水を止める。 ②止水栓が閉まっていたり、断水していないか確認する。 ③かってにクリントラップ用の止水栓を調節し、適正水圧にする。※1 ④解決しない場合は、止水栓を止め、電源プラグを抜き、クリナップカスタマーセンターまでお問合せください。 ※コンセントを抜くとエラー表示は止まります。
パターン②	赤くゆっくり点滅 	ピーピー… (5回)	給水量オーバー	①止水栓を調節し、適正水圧にする。※1 ②解決しない場合は、止水栓を止め、電源プラグを抜き、クリナップカスタマーセンターまでお問合せください。 ※コンセントを抜くとエラー表示は止まります。
パターン③	赤く早い点滅 	ピーピー… (30秒)	電磁弁閉栓エラー トラップ内に水が流れ続けています。	
パターン④	赤白交互に点滅 	ピピピピピピ… (30秒)	電磁弁（コイル）異常	止水栓を止め、電源プラグを抜き、クリナップカスタマーセンターまでお問合せください。 ※コンセントを抜くとエラー表示は止まります。
パターン⑤	赤青交互に点滅 	ピピピピピピ… (30秒)	ACアダプター異常	

※1 適正水量の目安

洗浄運転時、防臭ワンの上部まで水位が上昇するのが適正水圧の目安です。
止水栓を回して水圧を調整してください。

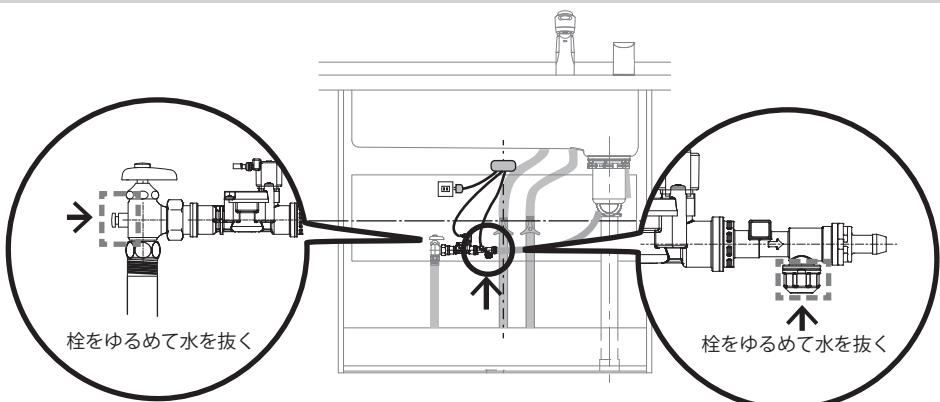


凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、下記に従って、水抜きを行ってください。水抜きを行わないと、凍結して部品が破損し、水漏れの原因になる恐れがあります。また、凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。

注意

- ・凍結が予想される場合は周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。氷点下になる場合は、凍結予防の処置を必ず行ってください。
- ・水抜きを行う場合、電源を OFFにしてから水抜きを行ってください。



お手入れのしかた

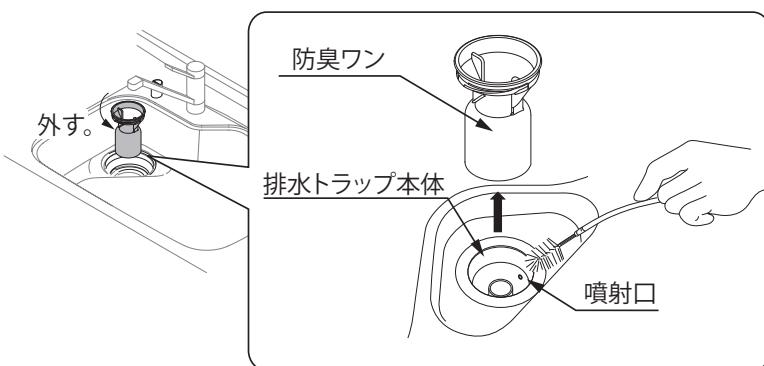
かってにクリントラップの排水口から嫌な臭いやつまりが発生する場合や、汚れてきた場合は、手洗いでのお手入れをしてください。

- ・防臭wanを取り外して、防臭wanと排水トラップ本体をスポンジやブラシで掃除してください。
- ・噴射口がつまらないように、洗浄ブラシなどでお手入れしてください。

参照

排水トラップのお手入れ方法は、下記ページを参照してください。

4.2. 排水管周り P.42 ~ 43



仕様

- ・電源 交流 100V 50/60Hz 共通
- ・消費電力 常時：0.3W、作業時：5.0W
※電源 OFF の状態でも、0.2W の電力を消費しています。
- ・圧力条件 0.1MPa (流動時) ~ 0.75MPa (静止時)
- ・使用水量 約 1.7L (流動時 0.15MPa の場合)

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.1. キャビネットの収納例

本項では収納例をご紹介します。豊富な収納を持つキッチンですので、ご参考の上、お役立てください。なお、キッチンにはさまざまな形状やキャビネット構成があるため、イラストとお客様がご使用の商品とは異なる場合があります。

参 照

収納に役立つアクセサリーパーツは下記ページを参照してください。

10.2. 引出しオプションパーツ P.98 ~ 99

10.3. 便利アイテム P.100 ~ 101

コンロキャビネット

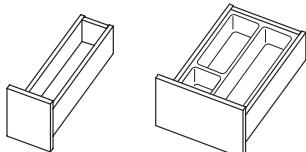
5

収納アイテムの使い方-キャビネット

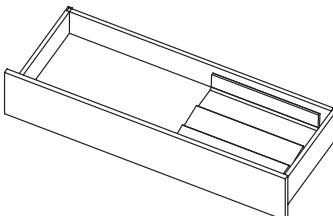
引出し部(1段目)

使用頻度の高い調味料を収納
スパイス類、袋物調味料、小物調味料など

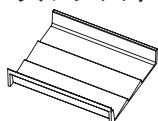
〈ガスコンロ・IH用〉



〈グリルレス用〉



●グリルレストレー

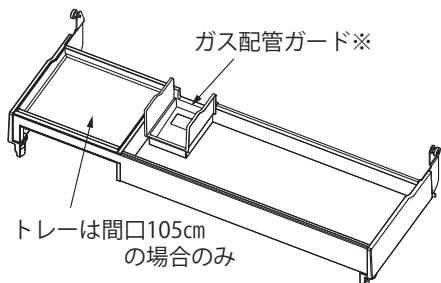


スパイス類、袋物調味料など



スライドボックス

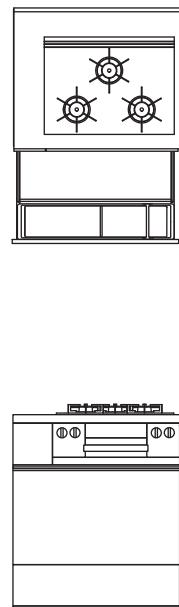
主に火周りで使用する両手鍋などの使用頻度の高い調理道具を、トレーにはミトンや鍋敷きなどを収納



トレーは間口105cmの場合のみ



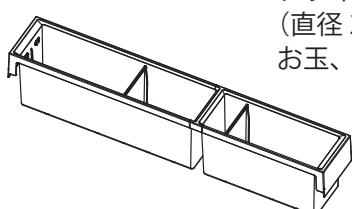
※ガス配管ガードはガス配管に収納物がぶつかるのを防ぐために設置しています。収納物は絶対に入れないでください。



ツールポケット

フライパン、片手鍋などの使用頻度の高い調理道具や、調味料ボトルを使いやすい位置にまとめて収納

フライパン（直径 28cmまで）、片手鍋、鍋フタ（直径 28cmまで）、しょうゆ、みりん、酒、油、お玉、フライ返し、菜箸、トングなど

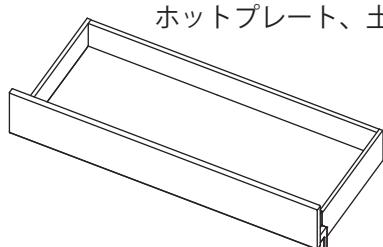


注意 柄などがスライドボックスに当たらないことを確認して収納してください。

フロアコンテナ

使用頻度の低い鍋やフライパン、季節使いの調理器具を収納

鍋、フライパン、カセットコンロ、ホットプレート、土鍋など



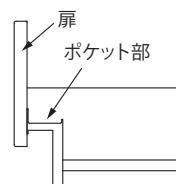
引出し部（2段目）

専用鍋や深鍋、圧力鍋などを収納

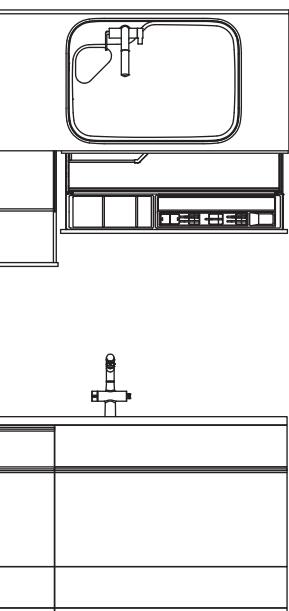


ポケット部

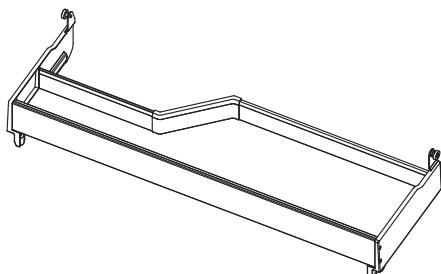
家庭用油凝固剤など



シンクキャビネット

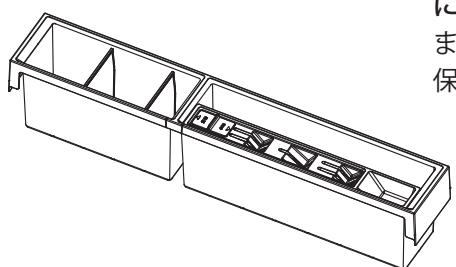


スライドボックス

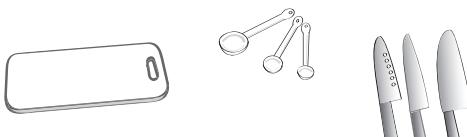


主に水回りで使用する調理道具などの使用頻度の高い収納物を、取り出しやすい場所にまとめて綺麗に収納
ボウル、ざる、スケール、計量カップなど

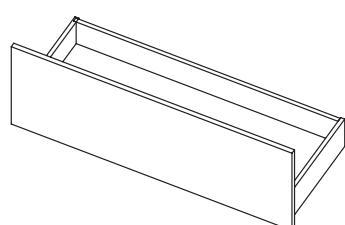
ツールポケット



まな板やラップなどの調理器具を使いやすい位置にまとめて収納
まな板、バット、泡だて器、ラップ、アルミホイル、保存袋、包丁（5本）など



引出し部



水回りでよく使用する道具を収納
ボウル、ざる、計量カップ、はかり、ふるい、トレー、樹脂容器など

フロアコンテナ

使用頻度の低い家電や、
清掃具などの日用ストック品を収納
スポンジ、洗剤、タワシ、漂白剤など

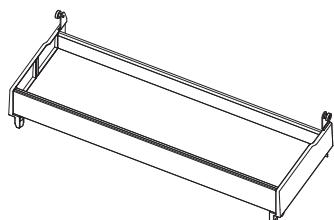
ポケット部

ラップ、ゴミ袋、スポンジ
アルミホイルなどのストック品など

ベースキャビネット

スライドボックス

使用頻度の高い食品をまとめて収納
キャニスター、調味料、食品、乾物など



引出し部

背の高い調味料を収納
水、ワイン、油、パスタケースなど

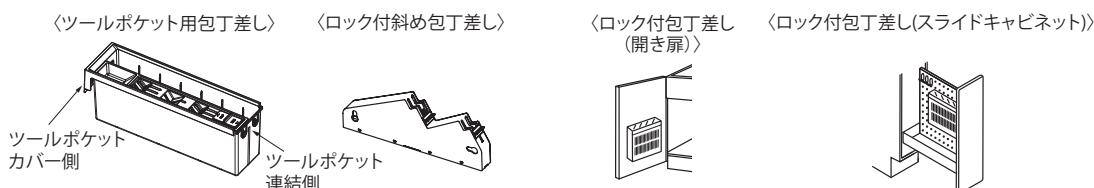
フロアコンテナ

食品の日用ストック品を収納
缶詰、ビール（500ml）、樹脂容器など

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.2. 包丁差し

包丁差し（ロック付）は4種類のタイプがあります。ご使用の包丁差しをご確認の上、お読みください。



使用上の注意



必ず実行

包丁は水気をよく拭き取ってから収納する。

包丁をぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形したり、腐食したりする恐れがあります。



必ず実行

確実に包丁を差し込む。

扉を引き出したときに包丁がガタつき、思わぬケガをする恐れがあります。

使い方

収納できる包丁の本数・大きさ

部位	収納本数	刃の長さ	刃の厚み	刃の幅
ツールポケット用 包丁差し ※1	差込口（大）[前後]	2本	210mm以下	10mm以下 58mm以下
	差込口（小）[前後]	2本	210mm以下	6mm以下 58mm以下
	差込口（小）[中央]	1本	250mm以下	6mm以下 40mm以下
ロック付斜め包丁差し ※2	差込口（大）	2本	210mm以下	8mm以下 55mm以下
	差込口（小）	2本	210mm以下	5mm以下 55mm以下
ロック付包丁差し 開き扉、スライドキャビネット	差込口（大）	1本	215mm以下	6mm以下 60mm以下
	差込口（小）	3本	215mm以下	4mm以下 55mm以下

注意

- 包丁の形状によっては、上記の寸法を満たしていても収納できない場合があります。
- 包丁のサイズ、形式によっては包丁が傾いて収納され、包丁差しの底面を傷つける場合があります。

MEMO

包丁差しによっては差込口が大小2タイプあるものがあります。
刃の厚みがある出刃包丁などは、差込口（大）に収納してください。

※1：ツールポケット用包丁差しでは、差込口により、収納できる包丁が異なります。刃先側の差込口に収納できない場合、柄側の差込口に収納できないかをご確認ください。

※2：斜め包丁差しでは、差込口により収納できる包丁が異なります。柄側の差込口に収納できない場合、刃先側の差込口に収納できないか、ご確認ください。

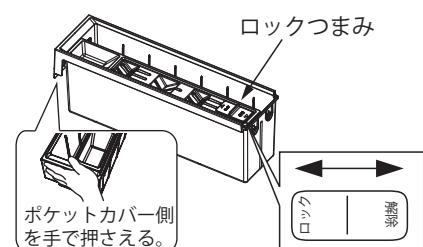
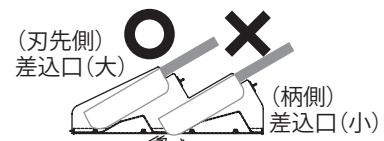
ロックのしかた

●ツールポケット用包丁差し

包丁差しの上面のロックつまみを「ロック」方向へずらすと、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、ロックつまみを下へ押しながら「解除」方向へずらしてください。
(ポケットカバー側を手で押さえると操作がしやすくなります。)



〈ロック付斜め包丁差し〉



●ロック付斜め包丁差し

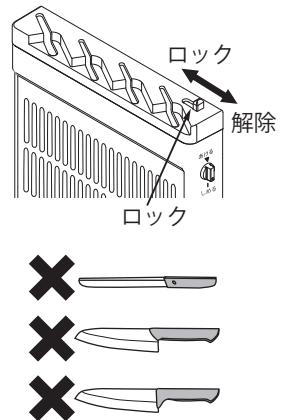
包丁差しの上面のロックつまみを「ロック」方向（上）へずらすと、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、ロックつまみを「解除」方向（下）へずらしてください。

●ロック付包丁差し（開き扉、スライドキャビネット）

包丁差しのロックつまみを押しながら内側へスライドさせると、包丁が抜けないようにロックされます。

注意

- サイズの小さい包丁は、幅の狭い包丁差込口に収納してください。差込口とサイズが合っていないと、ロックが掛からない恐れがあります。
- 刃と柄の部分に段差の少ないものや、柄の形状によっては、ロックが掛からず、引出しを引いた際に包丁が飛び出す恐れがあります。
- ロックをかけるときは“カチッ”というまでロック方向にずらしてください。しっかりとロックが掛からず包丁が抜ける恐れがあります。



包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた

- 包丁差しは、一部または全体を取り外してお手入れすることができます。
- ツールポケット用包丁差し、ロック付斜め包丁差しの場合、包丁差しの左右向きを変えることができます。

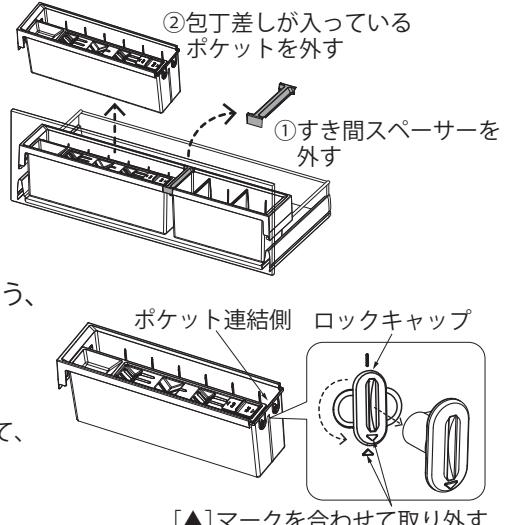
●ツールポケット用包丁差し

取り外し方

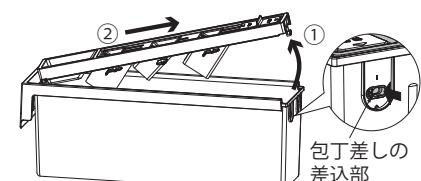
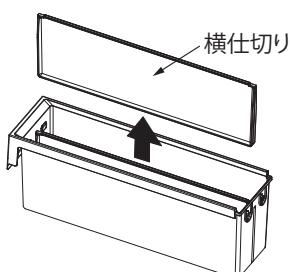
- 包丁差しが入っているポケットを外す。
 - すき間スペーサーを真上に持ち上げて外してください。
 - 包丁差しが入っているポケットを上に持ち上げるように外してください。
- ロックキャップの矢印がポケット側の [I] から [▲] に合うよう、反時計回りにロックキャップを 180 度回して外す。
ポケット連結側にロックキャップが固定してあります。

MEMO

ロックキャップを回すときは、中央の凹形状に合わせて、コインなどを使うと簡単に回すことができます。

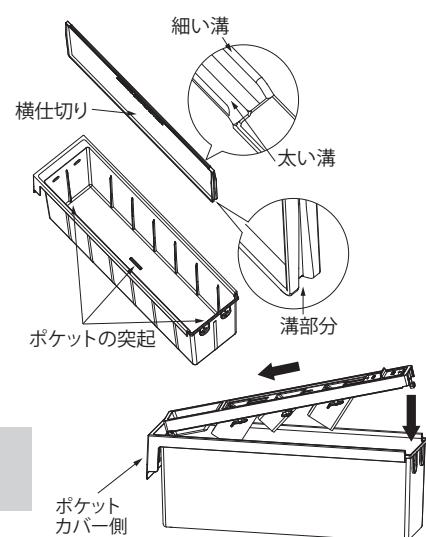


- ロックキャップを外した長穴から、包丁差しの差込部分を押して、
①包丁差しを右図の矢印の方向に持ち上げる。
②斜め横に引き抜く。
- 横仕切りを上に引き抜く。



取り付け方

- 横仕切りを取り付ける。
横仕切りは包丁差しが入る側に太い溝部が向くように取り付けてください。
- 包丁差しを右図のようにポケットカバー側に差し込んでから取り付ける。



注意

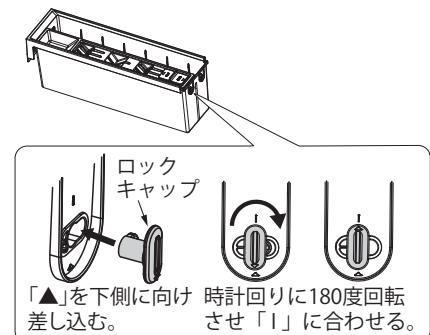
ポケット位置を通常の向きと反転させて取り付ける場合も必ず
ポケットカバー側を先に差し込んでから取り付けてください。

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

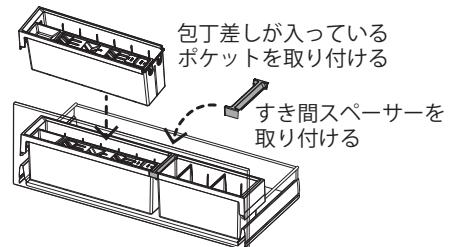
5.2. 包丁差し

包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた (つづき)

- ロックキャップを差し込み、時計回りに180度回して固定する。
このときロックキャップの【▼】をポケット側の【I】に確実に合わせてください。

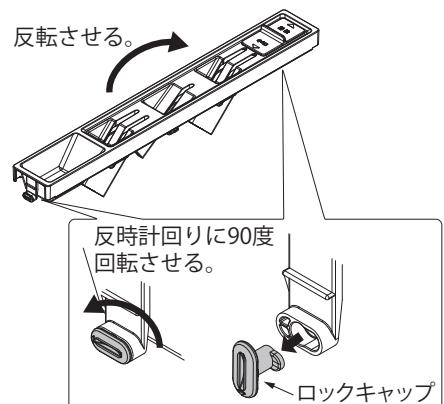


- 包丁差しが入っているポケットを真上から元の位置に取り付けて、横のポケットとの間にすき間スペーサーを取り付ける。

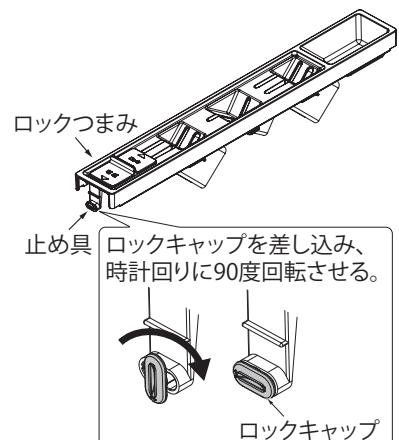


左右入れ替え方

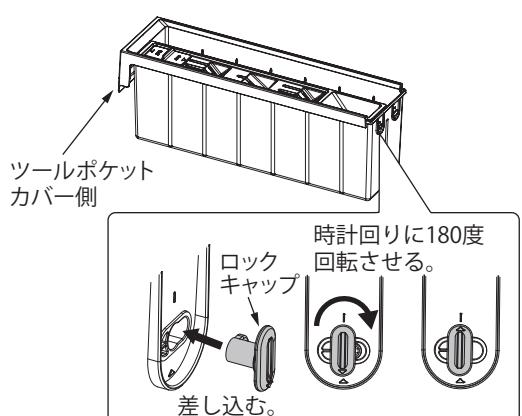
- 脱着した包丁差しの左右の差込部に付いている、ロックキャップを反時計回りに90度回転させ、取り外す。
- 包丁差し上部を反転する。



- 包丁差し上部のロックつまみ側の止め具に、1.で取り外したロックキャップを取り付け、時計回りに90度回転させ、水平向きにする。



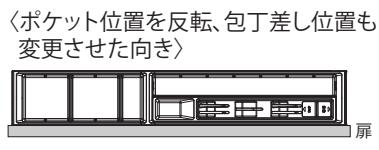
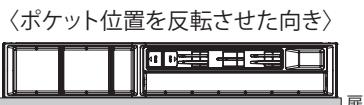
- P.53 取り付け方 の手順に従い、ポケットに取り付ける。
ポケットの外側から差し込むようにしてください。



〈ポケット位置を反転させ、包丁差し位置も変更する場合〉

ツールポケット付キャビネットは通常では、引出しに向かって左側に包丁差し付ポケットが設置されています。使い勝手に応じて、ポケットの位置を反転する場合、包丁差しが奥側になってしまふため、手前側に設置する場合には以下の手順に従ってください。

MEMO 包丁差しが奥側でも使い勝手が問題なければ、変更する必要はありません。



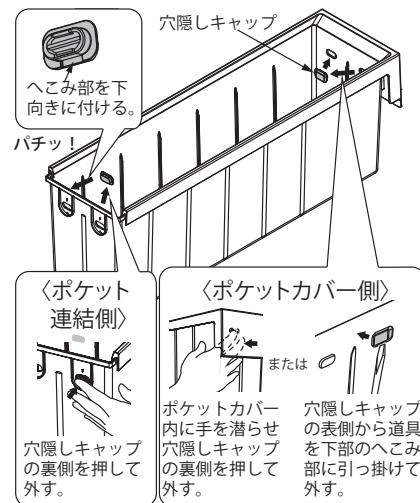
1. ポケットを反転させ、ポケットに取り付いている穴隠しキャップを取り外す。

ポケット外側は、ポケットカバー内に手を潜らせて同様に外す。

- ・穴隠しキャップの裏側を押すと外れます。
- ・見えにくく、外しにくい場合は、穴隠しキャップ表側からθドライバーなどを使用して、穴隠しキャップの下部へこみ部に引っ掛けるようにしてゆっくりと外してください。

2. 1.で外した穴隠しキャップを奥側のポケットの開口穴に“パチッ”と音がするまで押し込む。

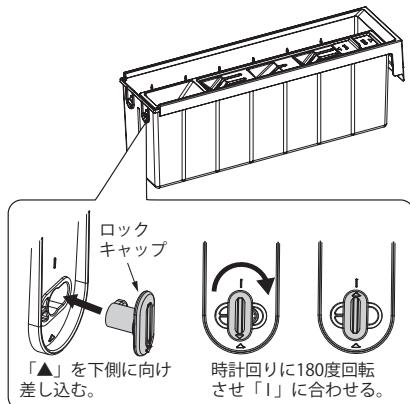
穴隠しキャップのへこみ部を下に向けてください



3. P.53 [取り付け方] の手順に従い、取り付ける。

利き手によっては包丁差しの左右を入れ替えてご使用ください。

参考 [左右入れ替え方] P.54



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.2. 包丁差し

包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた（つづき）

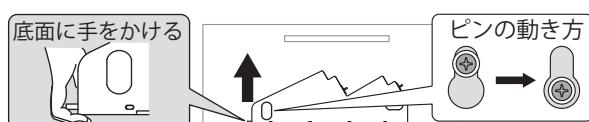
●ロック付斜め包丁差し

包丁差し本体のだるま穴に扉裏面の2つのピンを差し込んで固定しています。

取り外し方

- 刃先側の固定を外す。

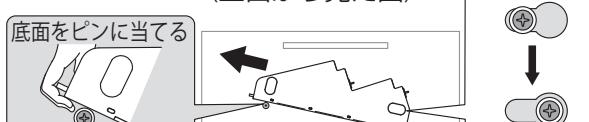
〈正面から見た図〉



- ①本体底面に手をかけ上に引っ張る。

2. 柄側の固定を外す。

〈正面から見た図〉



- ①刃先側を斜めにして、上に引く。

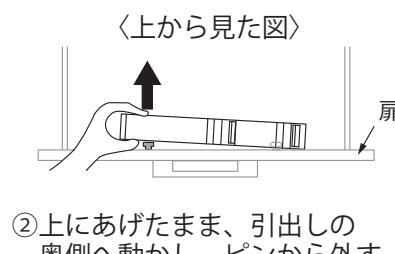
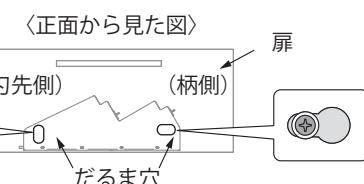
取り付け方

取り外したときの逆の手順で取り付ける。

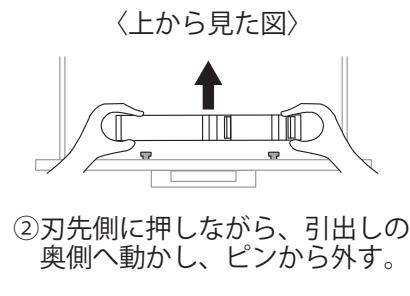
だるま穴の正しい位置にピンがはまると“カチッ”といいます。
“カチッ”というまでしっかりと押し込んでください。

MEMO

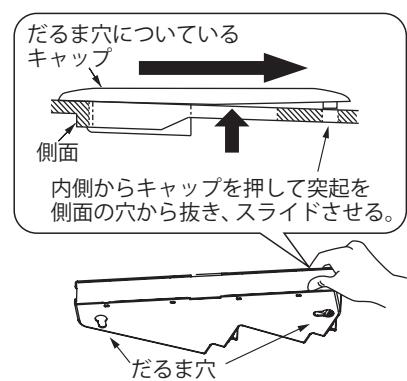
- 本体と扉の間にすき間があると、ピンがはまらない場合があります。本体を扉に押し当てながら取り付けてください。
- 包丁差しの向きを変える場合は、固定していなかった方のだるま穴についているキャップを包丁差しの内側から押しながらスライドさせて外し、反対側に取り付けてください。



- ②上にあげたまま、引出しの奥側へ動かし、ピンから外す。



- ②刃先側に押しながら、引出しの奥側へ動かし、ピンから外す。

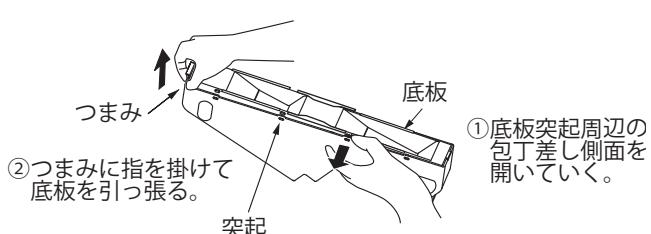


包丁差しの底板脱着のしかた

取り外し方

1. 包丁差しの側面を開いて、底板の突起を包丁差し側面の穴から外す。

2. 底板のつまみ（刃先側）に指をかけ、底板を外す。

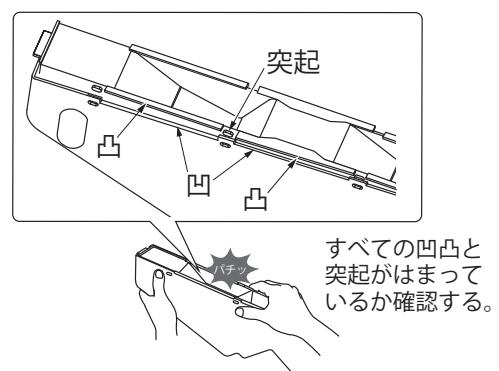


- ①底板突起周辺の包丁差し側面を開いていく。

取り付け方

取り外したときの逆の手順で取り付ける。

- 底板の突起を包丁差しの側面の穴に“パチッ”というまでしっかりと押し込んでください。
全ての突起が、側面の穴にはまっているか確認してください。
- 底板と包丁差し側面の凹凸が全てはまっているか確認してください。



すべての凹凸と突起がはまっているか確認する。

●ロック付包丁差し（開き扉、スライドキャビネット）

前面カバーを取り外す場合は、次の手順で行ってください。

取り外し方

- 前面カバーロック部のつまみの「△」が前面カバー側面の「！」から「▼」に合うように、反時計回りにつまみを 180 度回す。
このとき、印をぴったり合わせないと前面カバーが外れないようになっています。



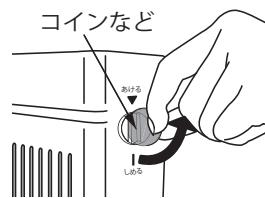
- 前面カバーロック部のつまみに右図のように指を引っ掛け、前面カバーを本体から取り外す。



取り付け方

取り外した時と逆の手順で取り付ける。

MEMO つまみが回しにくい場合は、つまみ横の溝を利用してコインなどでも回すことができます。



注意

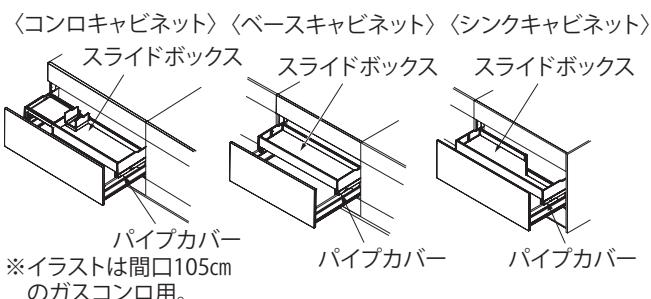
- 包丁差しの前面カバーを取り外す前に、包丁はすべて外してください。ケガをする恐れがあります。
- 本体受けを固定しているねじは外さないでください。包丁の落下につながる恐れがあります。
- ロック部は 180 度以上回せないようになっています。無理に回そうとすると、前面カバーロック部が破損する恐れがあります。
- つまみ横の溝はコインを利用して回すためのものです。つめを引っ掛け外さないでください。ケガをする恐れがあります。
- 使用時は、必ずつまみ部の「△」を「！」に合わせてください。

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.3. スライドボックス

スライドボックスはよく使う調理道具を手元に近い高さで出し入れでき、使用頻度に合わせて2層で効率的に収納できます。

引出しを引くと、スライドボックスも一緒に引き出されるので、開け閉めするわずらわしさを減らします。



使用上の注意



必ず実行

調理道具などは水気をよく拭き取って収納する。

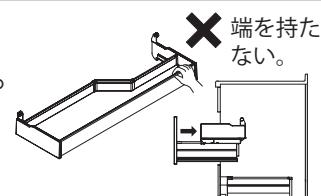
ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



必ず実行

開閉する際は、スライドボックスの取っ手
中央部を持ち、ゆっくりと前後にスライドさせる。

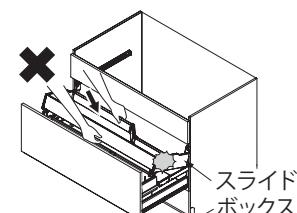
取っ手の端を持って操作したり、斜めに引き出したりすると、
脱輪して破損する恐れがあります。



必ず実行

スライドボックスを脱着するときは、ツールポケットを取り外してから、引出しや扉裏面にぶつからないように注意する。

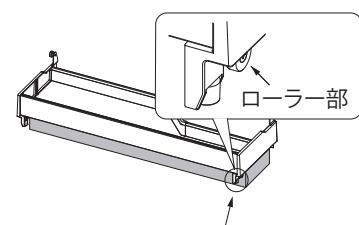
引出しやツールポケットが傷つく恐れがあります。



必ず実行

スライドボックスを床に置く際は、ローラー部分が破損しないよう、かさ上げして床に置く。

スライドボックスのローラー部（下部）をそのまま床に置くと、
変形・破損する恐れがあります。



※かさ上げしてローラー部が床に
触れないようにしてください。

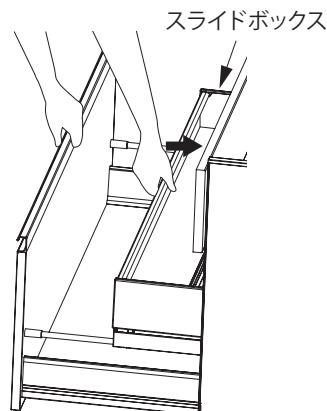
使い方

スライドボックスの使い方

- 引出しを引き出すとスライドボックスも一緒に引き出されます。
- 下段の中身を取り出したいときは、扉を押さえながら、スライドボックスの手掛け部の中央を持って、ゆっくりと後方へスライドさせてください（手前をやや持ち上げながら動かすとスムーズにスライドできます）。
- 引出しを閉めてから再度引き出すと、再びスライドボックスも一緒に引き出されます。

注意

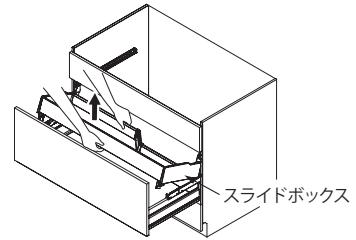
手前を過度に持ち上げて操作すると、スライドボックスがガイドレールから外れる恐れがあります。



スライドボックスの脱着

取り外し方

引出しを全開させて中の収納物を取り出してから、スライドボックスの前板と背板を持ち、斜め上へ持ち上げる。



注意

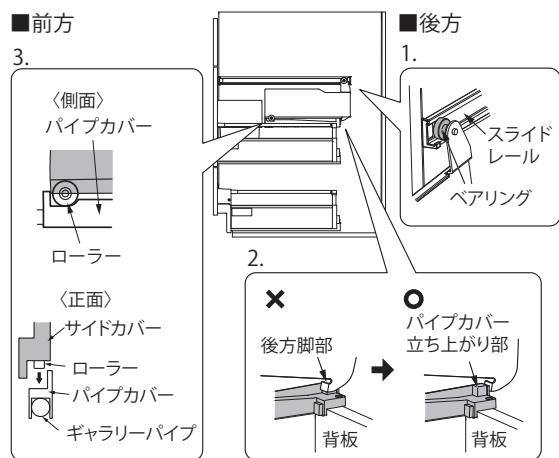
- 必ず引出しを外す前にスライドボックスを外してください。スライドボックスを外す前に引出しを外そうとすると、部品が落下し、ケガをする恐れがあります。
- ガスコンロをご使用の場合、コンロキャビネット用スライドボックスには専用ガス配管ガードがついています。脱着時に他の部品に当たらないよう注意してください。

取り付け方

- 右図のようにベアリングをスライドレールの溝に差し込む。
- サイドカバーの後方脚部がパイプカバーの立ち上がり部より奥になるようにセットする。
- 前方は、パイプカバーの手前側の1段下がっている部分にスライドボックス前側のローラーが載るようにセットする。

注意

取り外す際、パイプカバー立ち上がり部に引っ掛けたり取り出せなくなるため注意してください。

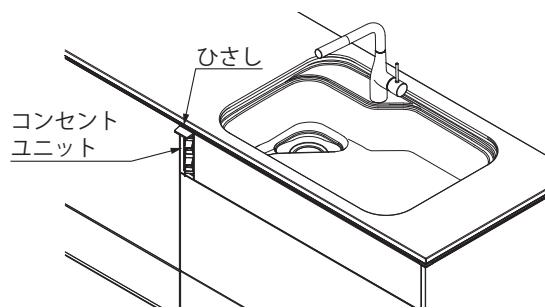


注意

- ローラーが確実に載っているか、確認してください。ズレていると、脱落する恐れがあります。
- 引出しを3~4回開閉して、スライドボックスがガタつかないか確認してください。後方脚部がパイプカバーの立ち上がり部より手前になるように設置すると、正しくセットされず、スライドボックスがガタつく原因になります。

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット 5.4. シンクキャビネット（コンセント付）

キッチン作業面で調理家電を使用できます。
使用時はワンタッチでコンセントを出すことができ、
使用しないときはコンセントを隠すことができます。



● 使用上の注意



コンセント差込口カバーを開けた状態や電源プラグが差し込まれたままで、コンセントユニットのフタを閉めない。

扉やコンセントユニットに傷がついたり、破損により、液体がコンセントユニット内部に浸入し、感電・漏電・火災の恐れがあります。



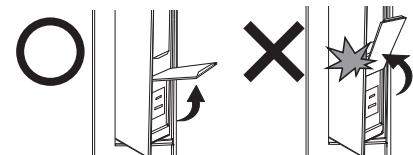
電源コードを抜き差しする際に、コンセントユニットのフタ・差込口カバー・扉などに当たらないように注意する。

扉やコンセントユニットに傷がついたり、電源プラグが当たることで、塗装がはがれる恐れがあります。



差込口カバーを開きすぎたり、力を加えたりしない。

差込口カバーやコンセントユニットが破損する恐れがあります。



● 使い方

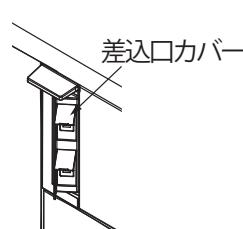
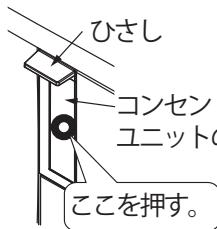
コンセントの使い方

- 下図○部付近を押して、コンセントユニットのフタを開け、差込口カバーを上に上げた状態で、調理器具の電源プラグを持ち、コンセントにまっすぐ差し込みます。（電源プラグを差し込んだ後、差込口カバーは電源プラグに沿うように、自然に下がります。）

〈コンセント
ユニットの
フタ閉時〉

〈コンセントユニット
のフタ開時
(差込口カバー閉時)〉

〈コンセント
差込口カバー
開時〉

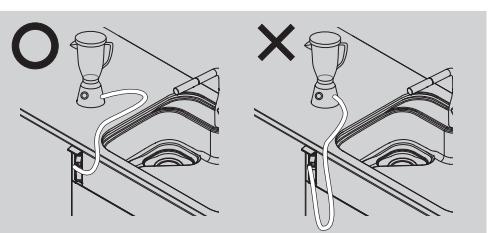


- コンセント使用後は、電源プラグを抜き、差込口カバーを閉じ、上図○部付近を押して、コンセントユニットのフタも閉じてください。
- コンセントは2口合計1500Wの容量の器具が使用できます。



注意

- 電源コードが引出しや扉に掛からないよう、ワクトップの上に載せて使用してください。
電源コードが掛けたまま引出しを開閉すると、コンセントユニットに負荷がかかるだけでなく、電源コードの断線などにつながる恐れがあります。
- 電子レンジ、卓上の食器洗い乾燥機など、規定以外のプラグを使用した機器には使用しないでください。
- 使用時に電源コードをひっぱりかねない機器（掃除機など）は、コンセントユニットに負荷がかかる可能性があるため、使用しないでください。



お手入れのしかた

コンセントユニット（ひさしを除く）のお手入れ

通常のお手入れ

綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

コンセントユニット（差込口を除く）の汚れは、柔らかい布に薄めたせっけん水を含ませて、硬くしぼってから、拭き取ってください。その後乾いた布でもう一度乾拭きしてください。

注意

- コンセントユニットをお手入れする際は、必ず電源プラグを抜いてからお手入れをしてください。
- メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れをしないでください。変色やつや・光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。
- コンセント差込口は水拭きせず、必ず乾いた布で汚れやホコリを拭きとってください。

ひさしのお手入れ

通常のお手入れ

綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

注意

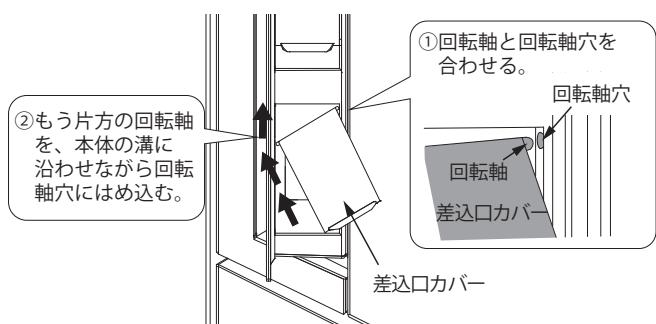
- メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れをしないでください。変色やつや・光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

こんなときは

差込口カバーの取り付け方

万一差込口カバーが外れた場合は、下記手順に沿って取り付けてください。

- 差込口カバーのどちらか一方の回軸をコンセントユニット本体側の回軸穴にはめ込む。
- もう片側の回軸をコンセントユニット本体側の溝に沿わせながら、回軸穴にはめ込む。



注意

- 差込口カバーが取り付かない場合は、差込口カバーの回軸もしくは回軸穴に不具合が生じている可能性があるため、使用を停止し、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

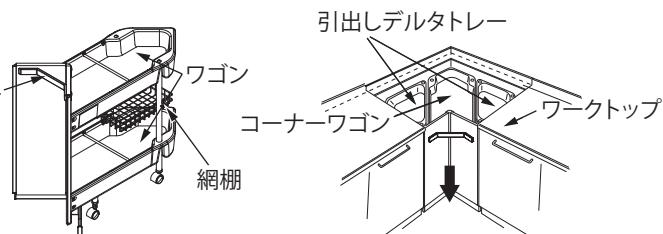
参考

アフターサービスのご用命 裏表紙

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.5. コーナーキャビネット (ワゴンタイプ)

サッと引き出せるコーナーワゴンには、普段使用するものを収納し、両サイドの引出しデルタトレーには、あまり使用しないものを収納することをお勧めします。



使用上の注意



必ず実行

引出しデルタトレー や コーナーウゴンをキャビネットに収納する際は、ゆっくりと押し入れる。

勢いよく入れると、隣の扉に当たって傷がついたり、扉やレール、樹脂部品が破損する恐れがあります。また、収納物が転倒する場合があります。



禁止

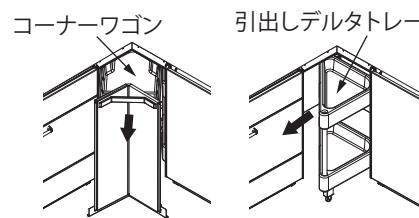
取っ手を握りながら下方向に過度に力を加えない。

コーナーウゴンの収納量が少ない場合、コーナーウゴン後方のキャスターが持ち上がることがあります。水平方向に力を加え、ゆっくり操作してください。

使い方

コーナーウゴンの使い方

- コーナーウゴンが完全に引き出された状態で、両サイドの引出しデルタトレーをそれぞれ引き出して使用してください。
- コーナーウゴンを手前に引き出して、お好きな場所までコーナーウゴンを運んで収納物の出し入れができます。

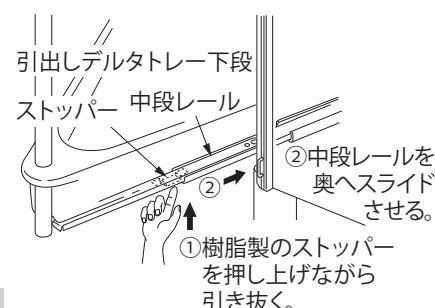


引出しデルタトレーの脱着

取り外し方

- レール下面にある樹脂製のストップバーを指で上に押し上げながら、引出しデルタトレーを最後まで引き出す。
- レールをキャビネットの奥方向へスライドさせる。

レールから取り外せるようになります。レールから外れた状態では、引出しデルタトレーは自立できませんので、倒れないように手で支えてください。



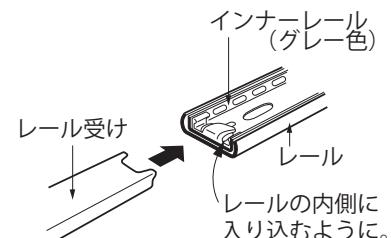
注意

レールがない状態では、引出しデルタトレーは自立できません。
必ず、収納物は取り除いてから取り外してください。

取り付け方

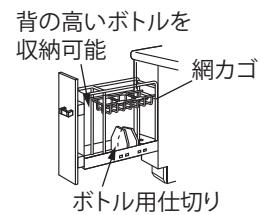
- 側板についているレールを奥まで入れる。
- インナーレール（グレー色）をレール手前に移動させる。
- 引出しデルタトレーについているレール受けを、レールの内側に入り込むように当てがって、奥まで押し込む。
レールの奥になるほど、少し強めに押してください。
- 引出しデルタトレーを引き出して、所定の位置でトレーが止まることを確認する。

外れる場合は、再度、引出しデルタトレーを取り付けて、前に取り付けたときよりも、さらに奥に押し込んでください。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット 5.6. ボトル収納スライドキャビネット

ボトル収納スライドキャビネットには一升ビンやペットボトルを収納することができます。また、上部の網カゴには、調味料の小ビンなどが収納できます。



使用上の注意



勢いよく引出しを閉めない。

故障や破損の原因になります。

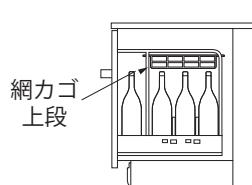


使い方

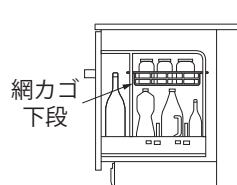
ボトル収納スライドキャビネットの使い方

上部の網カゴは、収納量に応じて、取付位置を上下に可動できます。一升ビンを2本以上収納する場合は、網カゴを上段に取り付けてください。

〈一升ビン4本収納の場合〉



〈一升ビン1本収納の場合〉



MEMO

ボトル収納スライドキャビネットは、収納ラックに何も入れない場合や、小物類のみを収納した場合は、引出しの開閉時にぶれが大きく感じることがありますが、故障ではありません。

ボトル用仕切りの脱着

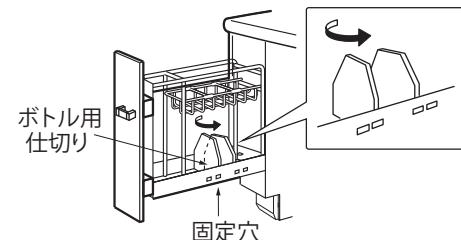
取り外し方

右図の矢印のように仕切りを斜めにして取り外す。

取り付け方

側面の固定穴に合わせて仕切りを差し込む。

“カチッ”と音がするまで、しっかりと差し込んでください。



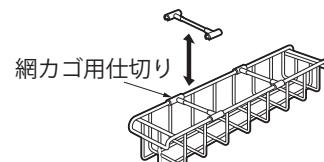
網カゴ用仕切りの脱着

取り外し方

網カゴをラック本体から外し、仕切りのT字の樹脂部分を強く引っ張って外す。

取り付け方

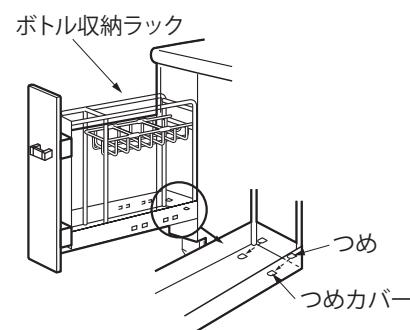
取り外したときと逆の手順で取り付ける。



ボトル収納ラックの脱着

取り外し方

1. ボトル収納ラックを引き出す。
2. ボトル収納ラック奥側についているつめカバーを取り外す。
3. ボトル収納ラック本体の下側の脱着バネの先端をつまみながら、ボトル収納ラック本体を手前に引いてレールから取り外す。

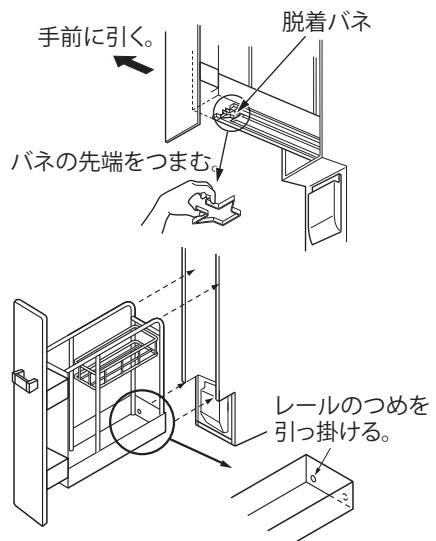


5.6. ボトル収納スライドキャビネット

ボトル収納ラックの脱着(つづき)

取り付け方

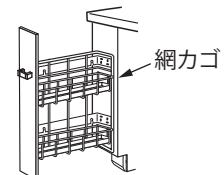
- レールをキャビネット内に収納する。
- ボトル収納ラック本体下側の脱着バネの先端をつまみながら、レールに合わせて脱着バネを取り付け、ボトル収納ラック本体を奥側までスライドさせる。
確認のため、ボトル収納ラックを手前にスライドさせ、奥側にレールのつめが掛かっているかどうか確認してください。つめが掛かっていない場合は、もう一度ボトル収納ラックをしっかりとキャビネット奥に収納してください。
- ラック奥側のつめのカバーを取り付ける。



注意 ボトル収納ラックを取り外す場合は、収納物を取り除いてから行ってください。

5.7. 網カゴスライドキャビネット

網カゴスライドキャビネットには、上下の網カゴに調味料の小ビンなどが収納できます。



使用上の注意



勢いよく引出しを閉めない。

故障や破損の原因になります。

使い方

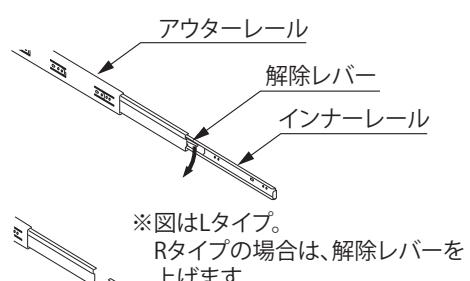
脱着・調整のしかた

取り外し方

インナーレールについている解除レバーを下げながら(Rタイプの場合は上げながら)、レールを引き出す。

取り付け方

アウターレールにインナーレールを合わせ、差し込む。解除レバーがアウターレールに完全に隠れるまで、確実に差し込む。



<上下調整のしかた>

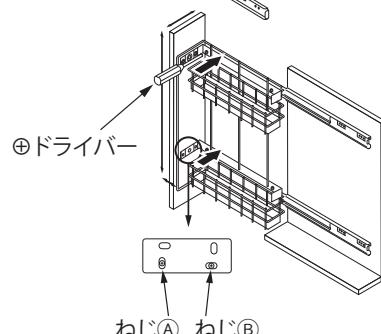
長穴を利用し、右図のねじⒶ 4本を使用します。

<左右調整のしかた>

右図のねじⒷ 2本を使用します。

<前後調整のしかた>

右図の矢印の箇所から⊕ドライバーを差し込み、奥にあるねじを使用します。ねじをゆるめ、前後調整した後、確実にねじを締め直してください。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.8. 開き扉・引出し・棚板・点検口

● 使用上の注意

● 開き扉、引出し



コンロキャビネットの引出しが、コンロと接触しないように調整する。

コンロと扉や取っ手がこすれて、傷の原因になります。



扉と引出しを過度な力で勢いよく閉めない。

サイレント効果が弱まる恐れや、サイレントダンパー、ブルモーション機構が破損する恐れがあります。



開き扉内の内引出しを引き出す場合は、開き扉をしっかり開く。

内引出しと開き扉がぶつかり、傷の原因になります。



引出しにものを入れすぎない。

収納物の重量や高さによっては、引出しの開閉がしにくくなったり、収納物が上の扉とぶつかったりする恐れがあります。

スライドボックス付の場合、引出しやツールポケットには、スライドボックスとぶつからないように収納物を入れてください。

参考 重量に関する規定 P.21 ~ 23



引出し内の左右のギャラリーパイプやスライドボックスよりも外側に収納物が出ないようにする。

キャビネットや扉を傷つけたりする恐れがあります。



ギャラリーパイプを持って引出しを脱着しない。

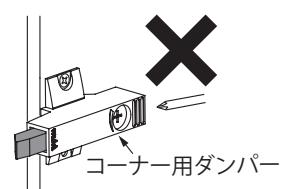
故障する恐れがあります。

● サイレントダンパー



サイレントダンパーは設置位置を変えない。

効果を発揮させるため、最適な位置に取り付けてあります。無理に固定ねじをゆるめて位置を動かすと、サイレントダンパーが外れたり、破損したりする恐れがあります。

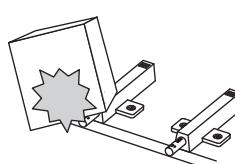


● プッシュラッチ



プッシュラッチを避けて収納する。収納物を取り出すときは、プッシュラッチに当たらないようにする。

収納物が当たって、プッシュラッチが破損する恐れがあります。

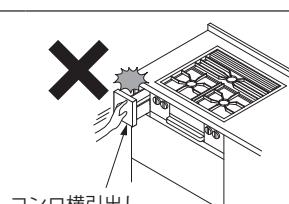


● コンロ横引出し



コンロ横引出しを勢いよく閉めない。

レールが破損する恐れがあります。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

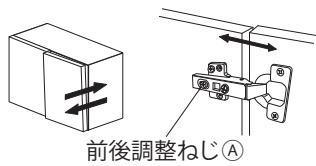
5.8. 開き扉・引出し・棚板・点検口

使い方

開き扉の調整のしかた

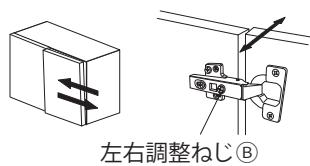
- 調整前に丁番、座のゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は、丁番と座を取り付けているねじをしっかりと締め付けてください。
- 扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が1mm以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き（観音開き）扉の場合は、扉と扉のすき間が3mm以上になるようにしてください。
- 扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。

●前後調整

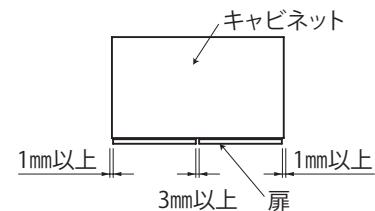


ねじⒶを左に回すと扉が前に、右に回すと扉が後に動きます。

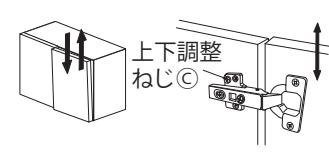
●左右調整



ねじⒷを右に回すと扉が外側に、左に回すと扉が内側に動きます。



●上下調整



ねじⒸをゆるめて扉を上下に調整した後、調整ねじⒸを締め直します。

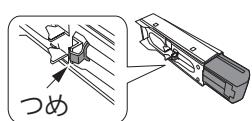
MEMO コーナー用扉の場合は、前後、左右の調整時に扉の動く向きが図と逆になります。

丁番のお手入れ

- 丁番はときどき汚れやほこりを取り除いてください。
- 潤滑油などをときどき注油していただくと、開閉がなめらかになります。

サイレントダンパーの脱着

〈サイレントダンパー〉



取り外し方

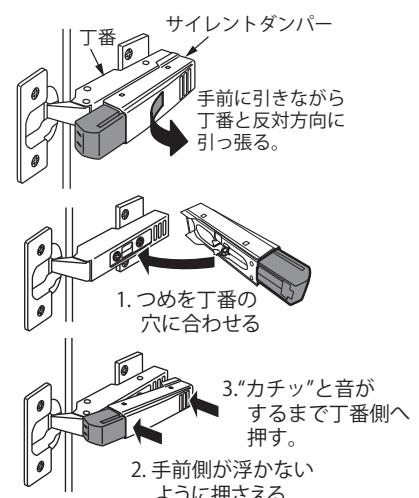
サイレントダンパーを手前に引きながら、手前側を丁番と反対方向に引く。

取り付け方

- サイレントダンパーの裏面のつめが、丁番の長方形の穴に入るように合わせる。
- 手前側が浮かないようにしっかりと押さえる。
- 奥側を“カチッ”と音がするまで丁番側に押し込む。

※サイレントダンパーは機構上、すべての丁番にはついていません。

扉の片側（上部または下部）、もしくは扉の大きさや扉の種類によっては両側（上部および下部）についている場合があります。
サイレントダンパーを外したときは、必ず元の丁番に取り付けてください。



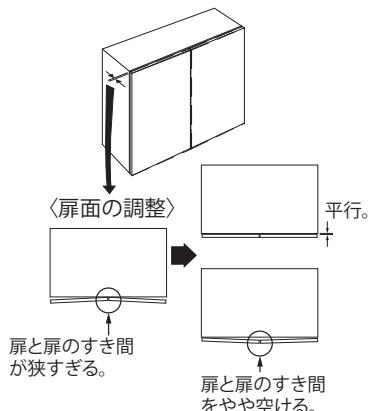
注意

サイレントダンパーを脱着する際は、必ずこの方法で行ってください。無理に脱着するとサイレントダンパーのつめが変形し、落ちて、ケガをする恐れがあります。

以下の場合は、サイレント効果が弱いと感じられます。

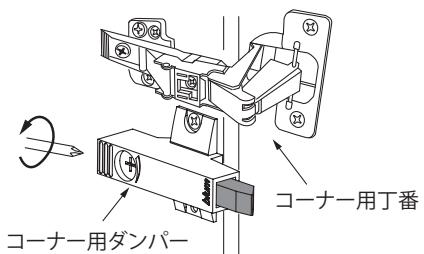
- ①扉を閉めた状態で、扉の丁番取り付け部よりも、扉の裏面がキャビネット本体に近すぎるとき。
- ②小さいサイズの扉のとき。
- ③左右両開き（観音開き）扉で、片方の扉を開けた状態で、もう片方を閉めたとき。

上記①、②の場合には、扉面がキャビネットと平行、もしくは扉の裏面をキャビネットからやや離すように扉を調整してください。



コーナー用サイレントダンパーの調整のしかた

コーナーキャビネット（棚板タイプ）、コーナー吊戸棚には右図のようなサイレントダンパーがついています。サイレントダンパーの押し代を伸ばしたり、縮めたりすることで、扉を閉めるときに、ダンパーが扉の裏面に接触してから閉まりきるまでの時間を調整することができます。



サイレントダンパーのねじを正面から向かって反時計回りに回すとサイレントダンパーの押し代が伸びて、扉が閉まりきるまでの時間が長く（強）なります。時計回りに回すと押し代が縮まり、時間が短く（弱）なります。

扉を閉めるとき、扉裏面とサイレントダンパーの先端がこする音があります。その場合には、サイレントダンパーの先端部がずれないことを確認しながらサイレントダンパーのねじを回し、調整すると音は消えます（サイレント効果は変わりません）。

注意

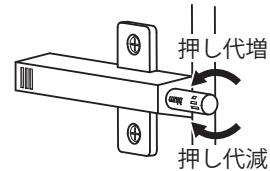
サイレントダンパーを脱着する際は、必ずこの方法で行ってください。無理に脱着するとサイレントダンパーのつめが変形し、落ちて、ケガをする恐れがあります。

サイレントダンパーのお手入れ

扉を開閉する頻度によっては、扉裏面のサイレントダンパーの接触する部分が汚れる場合があります。その場合は、中性洗剤を使って拭き取ってください。

プッシュラッチの調節のしかた

- ・プッシュラッチの先端を回転させることによって、扉の押し代を調整することができます。
- ・プッシュラッチの先端を正面から向かって反時計回りに回すと、扉の押し代が増えます。時計回りに回すと扉の押し代が減ります。



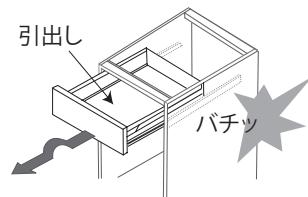
5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.8. 開き扉・引出し・棚板・点検口

引出しの脱着

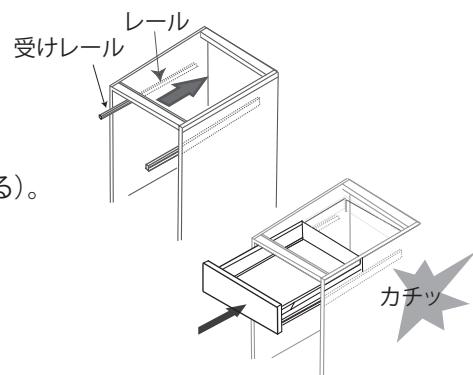
取り外し方

1. 引出しに入っている収納物を全て取り出す。
2. 引出しをストップするところまで引き出す。
3. 少し持ち上げて（“バチッ”と音がしてロックが外れる）、レールと平行に静かに引き出す。



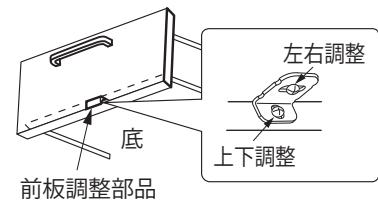
取り付け方

1. 受けレールを奥まで入れる。
2. 引出しの奥 1/3 くらいを受けレールに載せ、レールと平行に静かに奥まで押す（“カチッ”と音がしてロックが掛かる）。
3. 3～4回引出しを開閉させ、引出しのブルモーション機構がしっかりと作動することを確認する。



引出し前板の調整のしかた

引出しの裏面に前板調整部品がついている場合は、④ドライバーでねじをゆるめてから引出しを調整してください。調整後は、必ずねじを締め直してください。



1. 脇力バーを外す。



2. 調整する方向によって、下図のようにねじを回してください。

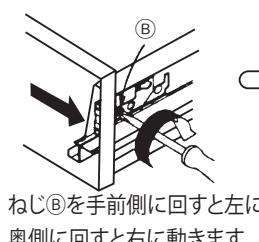
● 前板傾き調整 (ギャラリーパイプ付の場合)



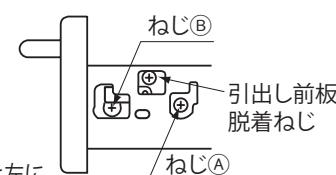
● 上下調整



● 左右調整



〈ねじ位置の拡大図〉



3. 調整後、脇力バーを戻す。

注意

コンロキャビネットの引出しあは、コンロと接触しないように調整してください。コンロと扉や取っ手がこすれて、傷の原因になります。

- ・ 引出し前板の左右両端とキャビネットの外側との間隔が 1mm以上になるよう左右調整してください。
- ・ 引出し前板とキャビネットが平行になるように調整してください。

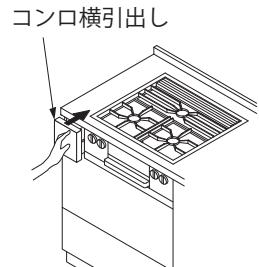
コンロ横引出し(樹脂タイプ)の脱着

取り外し方 引出しをストップするところまで引き出し、持ち上げながら引く。

取り付け方 上記手順と逆の手順で取り付ける。

コンロ横引出し(扉面材タイプ)の使い方

- ・コンロ横引出し(扉面材タイプ)はプッシュオーブンレールを使用しています。
- ・前板を押すと反動で引出しがやや開きます。全開にする場合は手で引き出してください。
- ・コンロ横引出し(扉面材タイプ)を閉める場合は、前板を最後まで押し込んでください。

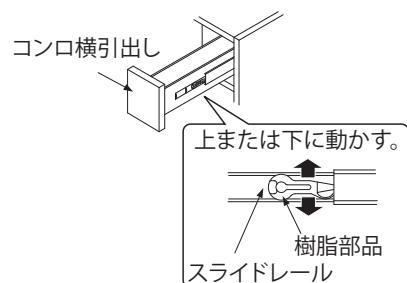


注意 プッシュオーブンレールは商品の特性上、引出しが出る量に若干のバラつきがあります。

コンロ横引出し(扉面材タイプ)の脱着

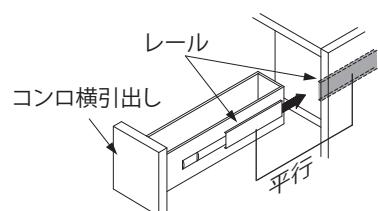
取り外し方

1. 引出しを引き出して、全開にする。
2. 右図のように、レールの樹脂部品を上または下へ動かして、さらにレールと平行に静かに引き出す。



取り付け方

右図のように、レールどうしを平行に合わせ、ゆっくりと静かに奥まで押す。

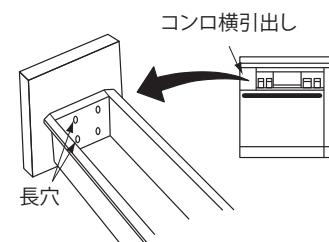


コンロ横引出し前板の調整のしかた

コンロキャビネットのコンロ横引出し前板を固定しているねじ穴は長穴になっていて、前板の上下調整をすることができます。

ねじをゆるめて調整してください。その後、必ずねじを締め直してください。

注意 扉を調整する場合は、ねじのゆるめすぎに気をつけてください。
ねじをゆるめすぎると扉が落下して、ケガをする恐れがあります。



※樹脂前板タイプの場合、長穴が2コ
扉面材タイプの場合、長穴が4コになります。

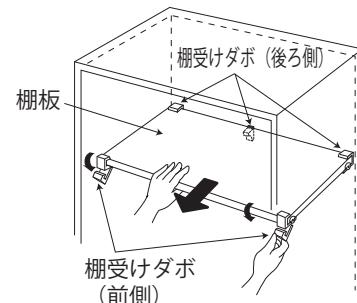
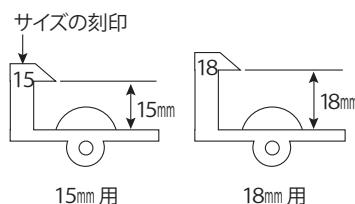
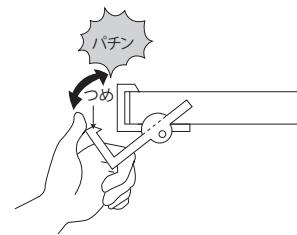
5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.8. 開き扉・引出し・棚板・点検口

棚板の脱着

取り外し方

- 前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで、手前へ強く引く。
- 棚板を前へ引いて取り外す。



注意

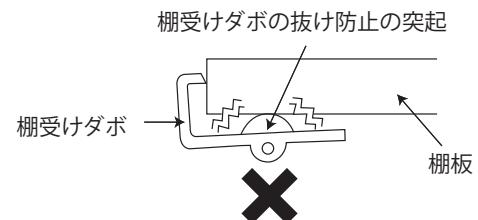
棚受けダボは、棚板の厚さ（15mm、18mm）によってサイズが異なります。必ず棚板と組み合わせて使用、保管してください。棚受けダボのサイズは、ダボ横に刻印されています。

取り付け方

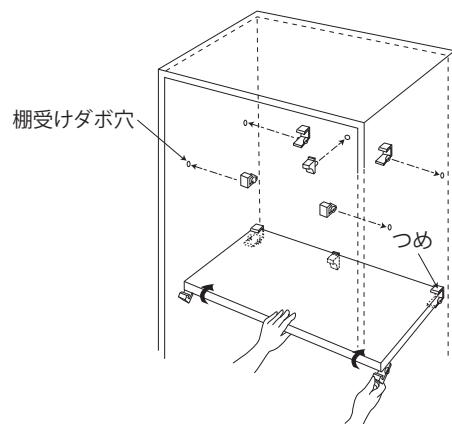
- 棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込む。
幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

注意

- 差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分に当たり、棚受けダボが破損する恐れがあります。
- 棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。棚板のガタつきの原因になります。



- 後ろ側の棚受けダボのつめに、棚板をしっかりとはめ込む。
- 棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げる。
つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。
- 棚板にガタつきがないか、確認する。
ガタつきがある場合は、取り付け直してください。



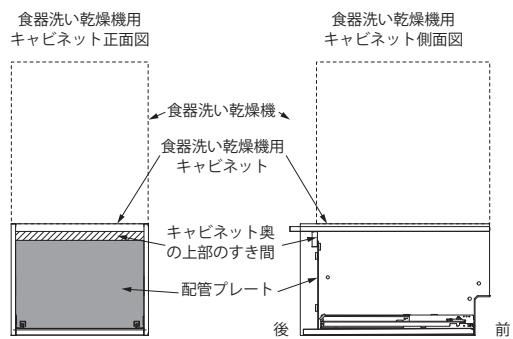
食器洗い乾燥機用キャビネット 配管プレートの脱着

配管プレートは食器洗い乾燥機用キャビネットの奥にあるため、はじめに引出しを取り出す必要があります。

参考 引出しの脱着 P.68

取り外し方

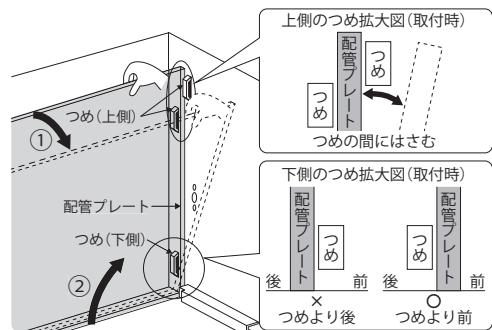
- キャビネット奥の上部のすき間から配管プレートの端をつまみ、手前に引き上側の左右のつめの間から外す。
- 配管プレートを手前に引き、キャビネットから取り出す。



取り付け方

取り外した時の逆の手順で取り付ける。

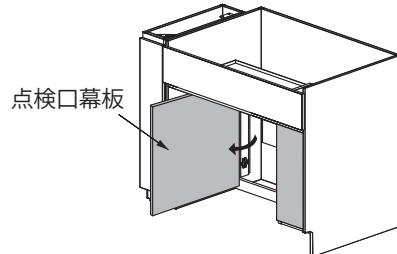
配管プレートが、下側の左右のつめの手前に位置していることを確認してから取り付けてください。



シンクキャビネット オープンタイプ用点検口幕板の開閉方法

シンクキャビネットオープンタイプをご使用の場合で、浄水器や整水器のカートリッジを交換する際には、点検口幕板の上部に手をかけて開閉してください。

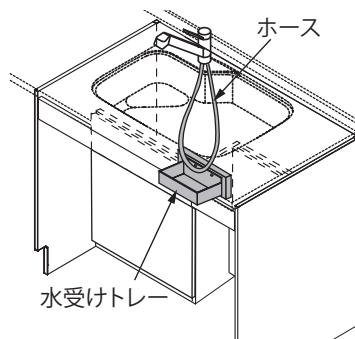
注意 点検口幕板内部は収納スペースではないので、浄水器や整水器のカートリッジ以外は置かないでください。



シンクキャビネットオープンタイプ 水栓用水受けトレーのお手入れ

水栓の機種により水受けトレーが設置されています。水受けトレーは、シャワーヘッドを引き出して使用される際にシャワーホースを伝って落ちる水を受けるためのものです。

トレー内に水が溜まっていないか確認し、溜まっている場合は水を拭き取ってください。



6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた

使用上の注意

昇降式の吊戸棚をご使用の際は、以下の点にご注意ください。



禁止

棚やラックが降りてくる範囲には、背の高いものを置かない。

収納ラックとぶつかり、破損する恐れがあります。



禁止

棚に衝撃を与えるように、勢いよくものを置かない。ものを引きずらない。

傷や破損の原因になります。



禁止

棚にぬれた包丁・缶詰などの金属製品、塩・しょうゆを長時間放置しない。

もらいサビを起こす恐れがあります。



必ず実行

昇降操作はハンドルの中央を持ってゆっくり行う。

端を持つと、レールが変形し、異音、破損の原因になります。また、勢いよく引き出すと、収納物の落下や、機構部の故障の原因になります。

お手入れのしかた

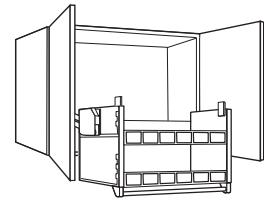
吊戸棚収納の各アイテムについて、特に記載がない場合は次の方法でお手入れをしてください。

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。

6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.2. ムーブダウン吊戸棚、ライドパントリー（ムーブダウンタイプ）

ムーブダウン吊戸棚は、昇降バネの強さを切り替えることができる、収納量が多くても軽い力で降ろせる可動式の吊戸棚です。



使用上の注意



落下防止バーを持って引き出さない。

禁止

落下防止バーが外れたり、曲がったりする恐れがあります。



落下防止バーを必ず掛けて使用する。

必ず実行

昇降時に収納物が動いて落下する恐れがあります。



ぬれたものを収納しない。

禁止

破損やサビの原因になります。

使い方

ムーブダウン吊戸棚の使い方

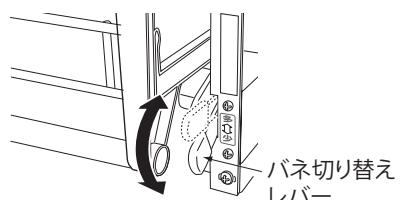
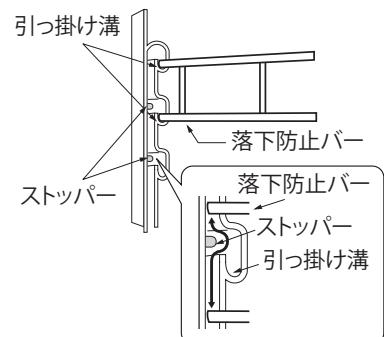
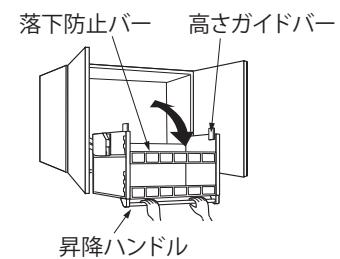
昇降ハンドルの中央部を両手で持ち、ゆっくり上げ下げしてください。

MEMO 操作感は収納物の量や間口、バネ切り替えレバーの設定により異なります。

落下防止バーの調整のしかた

収納物に合わせて、落下防止バーの位置を調節してください。

1. 落下防止バーを両手で持ち、引っ掛け溝から外して、右図のようにストッパーをよけながら上下に移動させる。
2. 位置が決まったら、落下防止バーの両端を確実に、引っ掛け溝に入れる。



バネ切り替えレバーの調整のしかた

収納物の重さに応じて、表を目安にバネ切り替えレバーを調節してください。収納物の出し入れの後には、必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。

MEMO • 使い始めの何も収納物が載っていないときは、バネ切り替えレバーを左右とも「少」の位置にしてから、引き下げてください。それ以外の位置では、操作が重く感じます。
• 収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。収納ラックを上げて、レバーを調整してください。

収納重量 (目安)	左レバー	右レバー
0 ~ 5 kg	少	少
5 ~ 10 kg	少	多
10 ~ 15 kg	多	少
	多	多

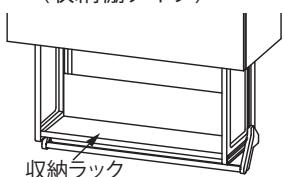
6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.3. ハンドムーブ

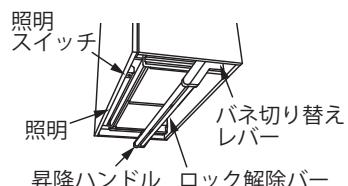
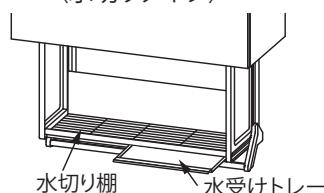
ハンドムーブは、調理道具や調味料、食器類などを収納できる上下可動式の収納ラック付吊戸棚です。

- ・収納棚タイプは、調味料やキッチンペーパーなどを収納できます。
- ・水切りタイプは、洗った食器や調理道具などを収納できます。

〈収納棚タイプ〉



〈水切りタイプ〉



● 使用上の注意



収納物や水受けトレーがはみ出したまま昇降させない。

禁止

収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットの破損の恐れがあります。

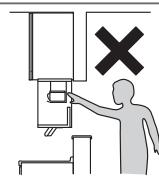
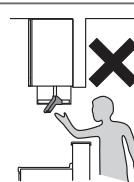


対面側からラックを上下操作しない。対面側から収納物を取り出さない。

禁止

ケガや破損の原因になります。

収納ラックの操作は、キッチン側から行ってください。



お手入れの際は、収納重量とバネ切り替えレバーを目安の設定に合わせ、降ろしきった状態で行う。

必ず実行

手をはさみ、ケガや破損の原因になります。



お手入れの際は、ロック解除バーを手前に引かない。

禁止

手をはさみ、ケガや破損の原因になります。



ラックの背板に収納物を強くぶつけない。

禁止

庫内が変形して、水が垂れる恐れがあります。



水切りタイプにぬれたものを収納する場合、食器や調理器具に水気がたまつたまま収納しない。

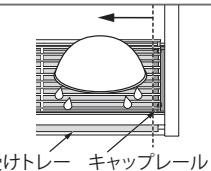
収納時に水が垂れ、庫内のすき間および下面から水が垂れる恐れがあります。



水切りタイプにぬれたものを収納する場合、水受けトレー内に納まるように置く。

必ず実行

水受けトレーおよび、キャップレールより外側に置くと、収納庫の端から水が垂れる恐れがあります。

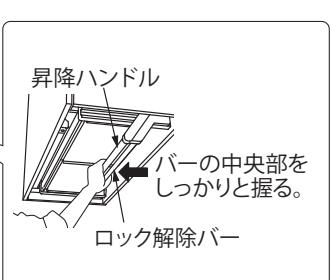
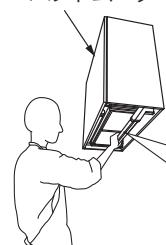


使い方

ハンドムーブの使い方

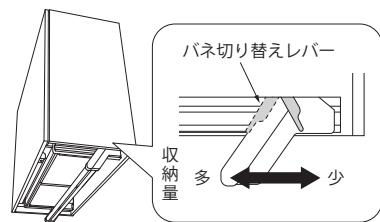
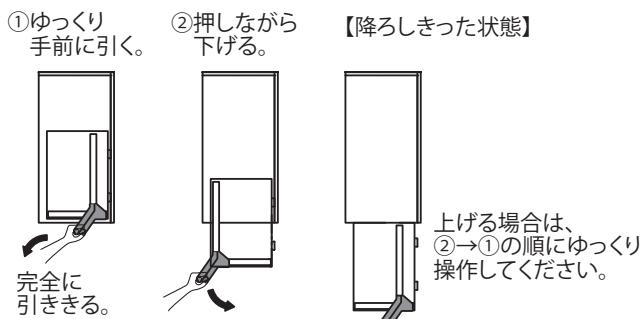
- ・操作感は収納物の量や間口、バネ切り替えレバーの設定により異なります。
- ・収納庫全体の最大収納量は約 8kg です。
- ・収納できる大きさは高さ 35cm、奥行き 23cm までです。
- ・収納物の重さがかたよらないように、均等に収納してください。

ハンドムーブ



注意

- ・食器や調理器具などにたまつた水気をあらかじめ捨ててからしまってください。
- ・ぬれたまな板や洗ったものを背板に密着させて収納した場合に、背板や側板を伝って庫外に水が垂れることがあります。

**バネ切り替えレバーの調節**

収納物の重さに応じて、表を目安にバネ切り替えレバーを調節してください。収納物の出し入れの後には、必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。

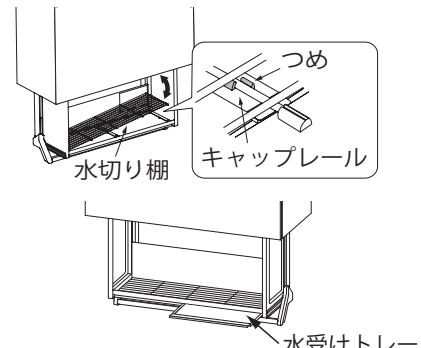
MEMO

- ・使い始めや、何も収納物が載っていないときは、バネ切り替えレバーを左右とも「小」の位置にしてから、引き下げてください。それ以外の位置では、操作が重く感じます。
- ・収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。収納ラックを上げきってから、レバーを調節してください。

収納重量 (目安)	左レバー	右レバー
0～4 kg	少	少
4～7 kg	少	多
	多	少
7～8 kg	多	多

水切り棚の脱着

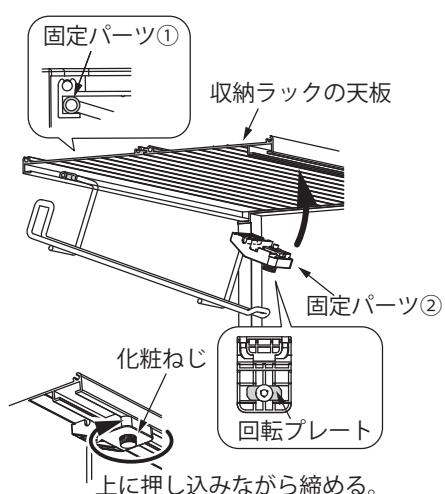
ゆっくりとキャップレールから外してください。
取り付ける場合は、キャップレールのつめにしっかりと押し込んでください。

**水受けトレーの脱着**

両手で持ち、ゆっくりと手前にスライドさせ、外してください。

ラックの脱着(皿立てラック・カトラリーラックを除く)**取り付け方**

- 上棚板裏面の奥側にあるラック取付溝に固定パーツ①を下方向からはめ込む。
固定パーツ①をはめ込む際は、右図を参照して向きに注意してください。
- 回転プレートが手前にあるラック取付溝に平行であることを確認し、固定パーツ②を下方向からはめ込む。
- 固定パーツ②の化粧ねじを上に押し込みながら締め、ラックを固定する。
ラックの化粧ねじは確実に締め、固定パーツ①②が外れないことを確認してください。

**取り外し方**

外すときは、化粧ねじを上に押し込みながら、取り付けのときと逆の手順で外す。

6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

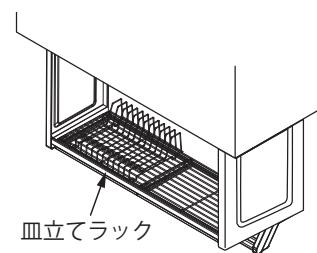
6.3. ハンドムーブ

皿立てラックの脱着

水切り棚の目に合わせて置いてください。

MEMO

収納庫のたわみを避けるため、皿立てラックをご使用の際は、収納庫の中央付近への設置は避け、左右どちらかに寄せてご使用ください。中皿、大皿（直径 23cm）11枚まで収納できます。



カトラリーラックの脱着

カトラリーラックは水切り棚に取り付けて、箸や、スプーン、フォークなどのカトラリー類を収納することができます。

カトラリーラックの脱着はハンドムーブ水切り棚の縦線材間の中央部で行ってください。

取り付け方

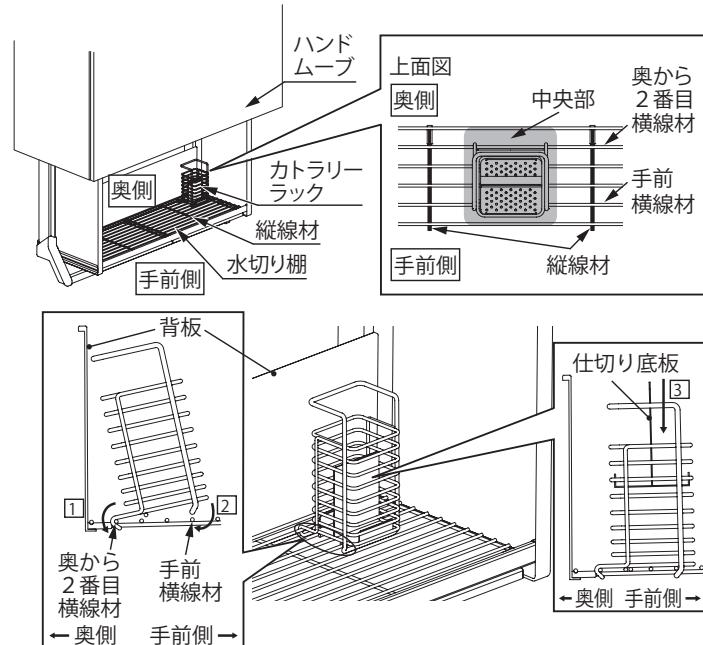
1. カトラリーラックのフック形状の脚を水切り棚の奥から2番目の横線材に引っ掛ける。
2. カトラリーラックの手前側の脚を本体を手前に引きながら水切り棚の手前の横線材にはめ込む。
3. 仕切り底板を上部から入れる。

取り外し方

取り付けのときと逆の手順で取り外す。

MEMO

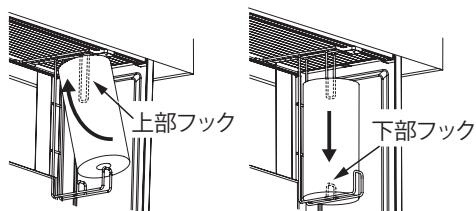
- ・構造上、固定が固くなり、取り外しにくい場合があります。必ず、水切り棚を押さえながら取り外してください。
- ・カトラリーラックの脱着はラック内および収納庫内の収納物を取り除いてから行ってください。
- ・収納する際は、ハンドムーブ本体から収納物が出ないように収納してください（収納物長さ制限：30cm）。



ペーパーホルダーの使い方

取り付け方

1. ペーパーホルダーの上部フックにキッチンペーパーを下方向からはめ込む。
2. キッチンペーパーを奥側の下部フックにはめ込む。



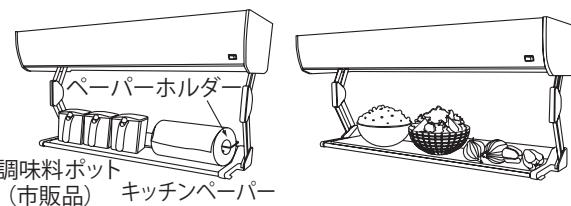
6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.4. アイエリアボックス

アイエリアボックスは収納や一時置きに便利な昇降棚です。

- ・水切りカウンタータイプは、食材などの仮置きや、洗い物をした後の皿やざる、ボウル、鍋などの一時置きに使用できます。
- ・調味料棚タイプは、キッチンペーパーや調味料を収納できます。

〈調味料棚タイプ〉 〈水切りカウンタータイプ〉



● 使用上の注意

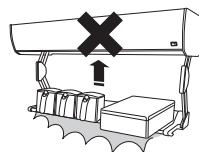
● 調味料棚タイプ



棚から収納物がはみ出したまま昇降させない。

必ず実行

収納物の破損・落下によるケガや、アイエリアボックスの破損の恐れがあります。

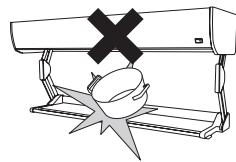


● 水切りカウンタータイプ



水切り棚に衝撃を与えるように、勢いよくものを置かない。ものを引きずらない。

傷や破損の原因になります。



ぬれた包丁・缶詰などの鉄製品を長時間放置しない。

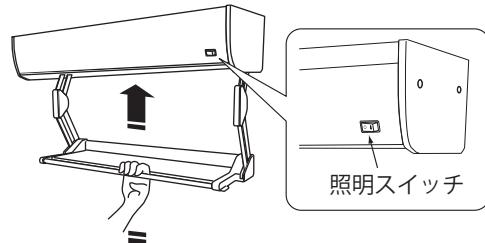
もらいサビを引き起こす恐れがあります。

アイエリアボックスの使い方

- ・下げる場合は、操作バーの中央部を持ち、逆手でゆっくり垂直に下げてください。上げる場合も同様にゆっくり垂直に上げてください。

MEMO 操作感は収納物の量や間口によって異なります。

- ・棚は降ろしきった状態で使用してください。
- ・照明は、棚が上がった状態でも使用できます。

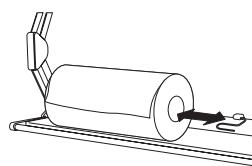


● 水切りカウンタータイプ

- ・一時置きとして使用できます。棚の上に物を置いたまま棚を上げないでください。
- ・水受けトレーにたまつた水は、こまめに捨ててください。

● 調味料棚タイプ

- ・収納できる大きさは高さ 12cm以内、奥行き 18cmまでです。
- ・収納物の重さがかたよらないように、均等に収納してください。
- ・収納物がない状態では、棚を下げるときに操作が重く感じます。
- ・キッチンペーパーを取り付けられるペーパーホルダーがついています。ペーパーホルダーをスライドさせて、キッチンペーパーの芯に差し込んで使用してください。



水受けトレーの脱着

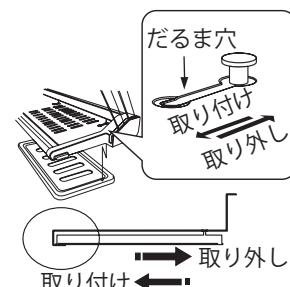
取り外し方

両手でトレーを後方にスライドさせ、トレーのピンがだるま穴（8の字型の穴）から外れる位置で下に降ろす。

取り付け方

取り外し方の逆の手順で行う。

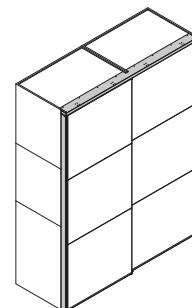
トレーは手前までしっかりとスライドさせてください。



7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

7.1. スライドパントリー

- スライドパントリーは、大型の扉面材で収納物を隠し、すっきりとしたキッチン空間を実現する引戸収納です。
- カウンタータイプでは、2口のコンセント付で、ミキサーヤブレンダーなどの調理器具を立てたまま収納でき、作業台としても使えます。
- 下台のオープンタイプは、市販のゴミ箱を引き出さずにゴミを捨てるすることができます。底板がないので、重たいBINや飲料水など、ストック品の出し入れも容易です。



● 使用上の注意



必ず実行

扉を開く際は、開く反対側の扉が閉まりきった状態であることを確認し、ゆっくりと開く。

異音や破損の原因となります。



必ず実行

内引出しを引き出す際は、扉が開ききった状態であることを確認し、引き出す。

内引出しと扉がぶつかって、破損する恐れがあります。



禁止

扉にもたれかかったり、扉を前後に強く押さない。

扉がたわんだり、部品が破損する恐れがあります。



禁止

勢いよく扉を開閉しない。

異音や破損の原因となります。

● 使い方

スライドパントリーの使い方

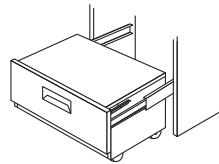
扉端の取っ手中央部を持ってゆっくり開閉してください。

カウンターの使い方

- 付属のコンセントは、合計 1500W までの機器が使用できます。
- 蒸気が出る家電は使用しないでください。

7.2. ステップコンテナ

- 高い位置のものを取るときの踏み台としても活用できる収納です。
- 完全に引き出すと動かないように、自動的にロックが掛けられます。



使用上の注意

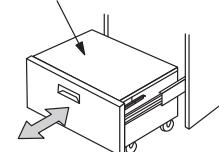


必ず実行

ステップコンテナを開閉する場合は、扉中央部の取っ手を持ってゆっくりと開閉する。

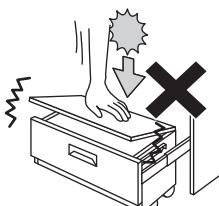
扉の端で開閉すると、レールへの負荷がかかり、故障や作動不良の原因となります。

ステップコンテナ



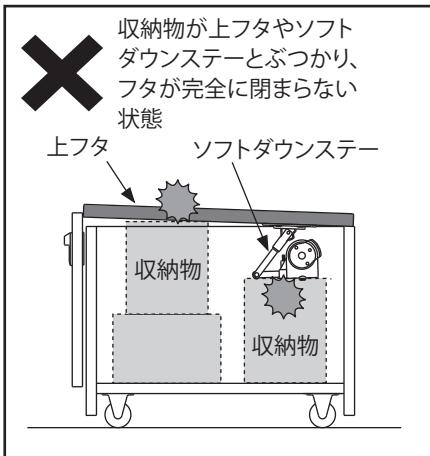
ステップコンテナのステップ部（上フタ部）を収納物がはみ出た状態で閉めたり、無理に力を入れて急に閉めない。

開閉時に手や指をはさまないようフタがゆっくり閉まる機構がついています。機構部への負荷は故障の原因になります。また、収納物がはみ出したり、機構部とぶつかった状態で無理に力を入れてフタを閉めると、フタや機構部の破損の原因となります。

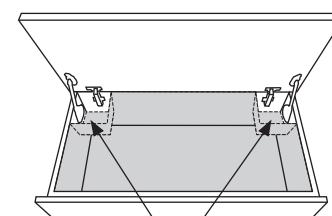
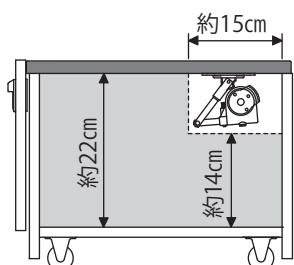


ステップコンテナの使い方

- 台の中央部に乗って、高いところにある収納物を出し入れできます。
- 取っ手を持ってステップコンテナを引き出してください。ロック機構が働くまで完全に引き出してください。収納する場合は、ステップコンテナ左右のロックレバーを上へ上げて、ロック機構を解除してください。
- 上フタを開けるとステップコンテナの中に食器や道具類を収納できます。
- ものが奥に落ちた場合や、掃除をする際には、ステップコンテナを引き抜くことができます。
- 収納物が上フタ部やソフトダウンステーとぶつかった状態で使用すると、フタや機構部の破損の原因となります。ステップコンテナに収納物を入れる際には必ず下記内容を確認してください。



※部が、ステップコンテナへの収納可能範囲です。
記載の寸法以上の収納物は収納しないでください。
無理に収納すると、機構部や丁番の破損の原因となります。



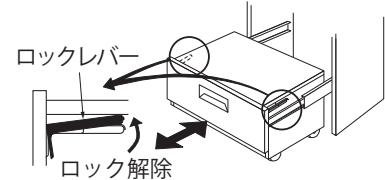
7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

7.2. ステップコンテナ

ステップコンテナの脱着

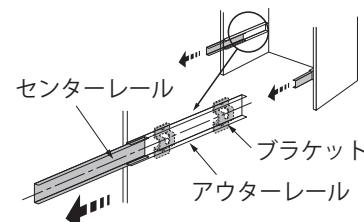
取り外し方

1. ステップコンテナ左右のロックレバーに手を添えて、解除位置までロックレバーを上へ上げて解除する。
2. 両手でゆっくりとまっすぐに引き抜く。

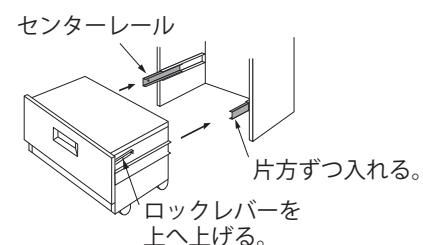


取り付け方

1. キャビネット側のセンターレールを手前に引き出す。キャビネット側のアウターレールがブラケットから外れないように、引き出してください。



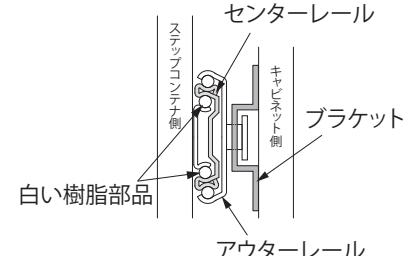
2. ステップコンテナのロックレバーに手を添えて、解除位置まで両側のレバーを上へ上げる。



3. ステップコンテナのレールと、キャビネット側のセンターレールの内側にある白い樹脂部品がはさまるように位置を合わせて、左右片方ずつゆっくりとまっすぐに差し込み、約20cm収納後、手を離して扉を前から強く押して収納する。

ステップコンテナを斜めに差し込むと、下部のキャスターが一方向にしか動かないため、必ずステップコンテナをまっすぐにして、差し込んでください。

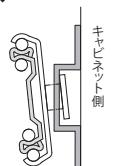
センターレールは、固定されず内倒れますので、手を添えながら差し込んでください。



4. ステップコンテナを完全に引き出して、ロックが掛かるか確認する。

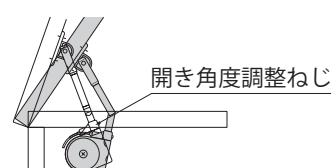
ロックがうまく掛からない場合は、もう一度引き抜いて最初からやり直してください。

× 内倒れに注意。



ソフトダウステーの開き角度の調整

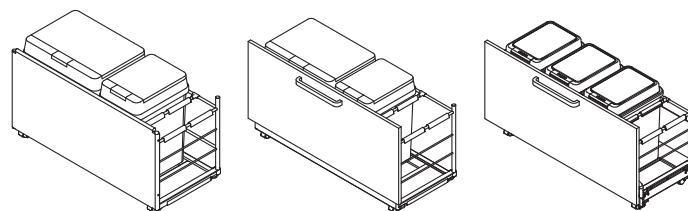
ステップコンテナのフタを開けたときに、ステーのアーム部がまっすぐでない場合は、図の開き角度調整ねじを⊕ドライバーで調整してください。アームが一直線に伸びた状態になるのが正しい状態です。



7.3. リサイクルゴミワゴン

リサイクルゴミワゴンは、家電収納庫や引出し下のスペースに複数のゴミ箱が置け、資源ゴミの分別に便利です。キャスターつきなので作業中のゴミ捨ても簡単です。

〈リサイクルゴミワゴン〉



使用上の注意



ポリ袋ストッパーと仕切りバーをワゴンの持ち手として使用しない。

ポリ袋ストッパーと仕切りバーが取れる恐れがあります。



ゴミを入れたまま長時間放置しない。臭いの気になるゴミは、新聞紙にくるんだり、ビニール袋に入れたりして、こまめに捨てる。

悪臭の原因になります。

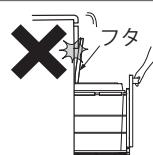


生ゴミは収納しない。

悪臭の原因になります。



ゴミ箱のフタが閉まっていることを確認してから、キャビネットに収納する。



フタが開いている状態で収納しようとすると、フタが破損します。



ワゴンの出し入れ時に、収納するキャビネットや隣接するキャビネットに強く当てない。

破損の原因になります。



キャスターにゴミや汚れがついた状態で使用しない。

床材に傷や汚れがつく恐れがあります。



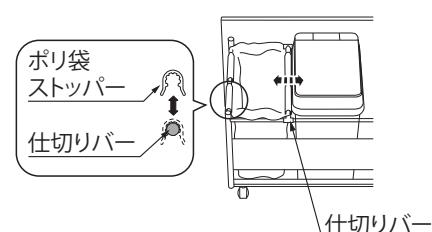
使い方

リサイクルゴミワゴンの使い方

- リサイクルゴミを収納する場合は、汚れたものや水分が付着しているものは、汚れを落として、乾燥させてから収納してください。
- ワゴンの開閉時は、両手で取っ手または、前板上部を持ちながら引き出してください。ワゴンが左右にぶれず、引き出しやすくなります。

ポリ袋の止め方

- ポリ袋ストッパーの脱着がしやすいように、仕切りバーを横にスライドさせる。
- ポリ袋ストッパーを上に引っ張って外す。
- 右図のようにポリ袋を広げて、袋の端をはさむようにポリ袋ストッパーで止める。



MEMO ポリ袋ストッパーがついていないタイプもあります。

7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

7.4. 家電収納庫

- 電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカーを置くことができます。

- 扉付家電収納庫は、家電をスッキリと隠すことができます。 **〈家電収納庫〉**

- 扉付家電収納庫



使用上の注意



家電の電源コードをスライド台のレールにはさまない。

断線、感電の原因になります。



スライド台を手前へ引き出した状態で、無理な力をかけない。

破損の原因になります。

●扉付家電収納庫



スイングダウン扉は、キャビネット下部の引出しやワゴンを収納した状態で操作する。

ワゴンや引出しとスイングダウン扉がぶつかり、破損する恐れがあります。

使い方

家電収納庫の使い方

- スライド台レールには、動き防止のためのストップバーがついています。スライド台を奥まで収納したときと、手前まで引き出したときに炊飯器などの家電の操作などで、スライド台を動かないようにするためのストップバーです。
- ご使用になるときは、奥まできちんと収納し、または手前まできちんと引き出し、ストップバーが働いていることを確認してください。
- 家電収納部の収納有効寸法は、下図をご参照ください。

〈家電収納部収納有効寸法（単位：cm）〉

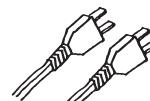
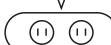
機種	キャビネット間口	蒸気排出ユニット	収納部		
			高さ	間口	奥行き
家電収納庫下台	60	あり	33	54	〔35〕 〔45〕
		なし	42		
	75	あり	33	69	
		なし	42		
	90	あり	33	84	
		なし	42		
扉付家電収納庫下台	60	あり	46	41	〔45〕
	75		61		
	90		76		
扉付家電収納庫中台	75	あり	52(開口)	61	56

※〈 〉内寸法は奥行き45cm、
〔 〕内寸法は奥行き55cmの場合。

●蒸気排出ユニット付タイプ

- スライド台をキャビネット内に収納したままで炊飯・沸騰ができます。
- 蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。
- 付属のコンセントで使用できる器具の容量・・・各口 1480W

表示容量を超える
器具を使わない。



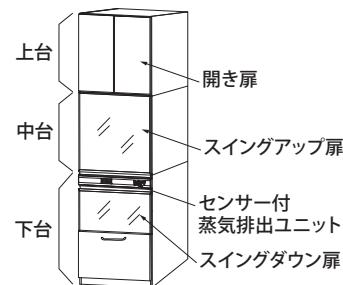
●蒸気排出ユニットなしタイプ

- 炊飯・沸騰などを行うときは、スライド台をキャビネットから引き出した状態で使用してください。
- 付属のコンセントで使用できる器具の容量・・・2口合計 1500W

注意 電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器、電子レンジは置かないでください。

7.5. 扉付トール家電収納庫

- ・家電を一力所にまとめながら、扉でスッキリと隠すことができます。
- ・中台には電子レンジを置くことができます。
- ・下台には、電気炊飯器、電気ポットを置くことができます。



使用上の注意

●中台（スイングアップ扉収納部）



必ず実行

オーブンレンジ・電子レンジの設置の際には、離隔距離を守って設置する。

レンジからの熱により、キャビネットが傷む恐れがあります。離隔距離については、ご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。



必ず実行

扉を全開にした状態で、オーブンレンジ・電子レンジを使用する。

熱のこもりやすい半開状態では通電せず、使用できません。



必ず実行

使用後のオーブンレンジが高温である場合は、十分冷ましてから扉を閉める。

冷却ファンが作動する機種の場合は、ファンが動いている間（最大30分程度。ご使用の機種の取扱説明書をご参考ください。）は扉を閉めないでください。高温のまま扉を閉めると、庫内に熱がこもり、キャビネットが傷んだり、収納機器が故障する恐れがあります。



必ず実行

キャビネット内部に水滴がついた場合は、すぐに拭き取る。

キャビネットの変色やふくれなどの恐れがあります。



禁止

上台の扉が開いた状態で、中台のスイングアップ扉を開けない。

ラップ扉とスイングアップ扉が接触して破損する恐れがあります。



禁止

スイングアップ扉を開けた状態で、無理な力をかけない。

電気が遮断される恐れがあります。

使い方

扉付トール家電収納庫の使い方

●中台（スイングアップ扉収納部）

- ・電子レンジを置くことができ、使用しないときは扉ですっきり隠せます。
- ・スイングアップ扉が半開きの状態では通電しないので、内部に熱がこもりにくい設計です。
- ・天板は、スチームオーブンなどからの蒸気に強いステンレス貼り仕様です。

●下台（スイングダウン扉収納部）

- ・扉付家電収納庫と同様の使い方をしてください。

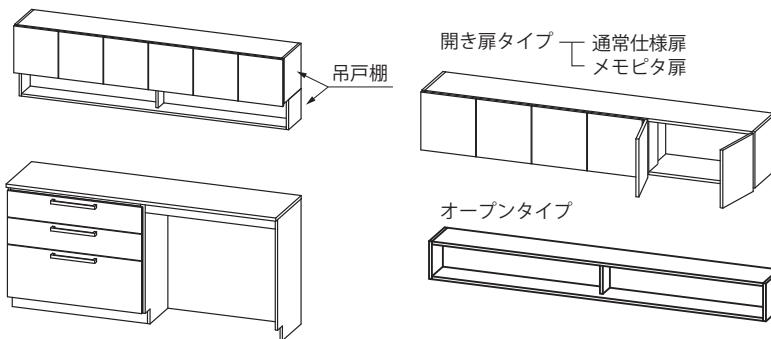
参照

7.4. 家電収納庫 P.82

7. 収納アイテムの使い方-キッチン周辺収納

7.6. カフェスタイル収納 吊戸棚

カフェスタイル収納の吊戸棚は、空間に圧迫感を与えないサイズ感で、奥まで手が届きやすい設計です。メモピタ扉の場合は、レシピのメモなどをマグネットで貼ることができます。



メモピタ扉はマグネットが取り付けられる扉です。

マグネット製品を使用する場合、ペースメーカーやその他医療用電子機器類、精密な電子機器類に悪影響をおよぼす恐れがあります。ペースメーカーをご使用の方は必ず30cm以上離してご使用ください。※メモピタ扉単体は磁気を発していません。

● 使用上の注意

● 吊戸棚 開き扉タイプ（メモピタ扉）



必ず実行

扉1枚に対して取り付けるマグネット製品の総重量は1kg以内にする。

扉戸先の垂れ、扉同士の干渉の原因となります。



必ず実行

市販のマグネットを使用する場合は、収納物の重さに耐えられる保持力があるか確認してから使用する。

扉の開閉時にマグネットがズリ落ちたり、落下しないか確認してから使用する。

マグネットが落下してケガをしたり、下台のカウンターが破損する場合があります。
また重量を守らないと扉の落下やケガ、家財が損傷する恐れがあります。



禁止

扉には鋭利なもの、落下した際に割れる可能性があるものを貼り付けない。

落下した際にケガをしたり、マグネット製品や床・キャビネットのキズ・破損につながる恐れがあります。



禁止

扉にはフックタイプのマグネットを使用しない。

フックタイプのマグネットに収納物を吊り下げるとき、扉の開閉時に振り子運動で落下したり、吊り下げた収納物が扉に当たり傷や破損につながる恐れがあります。



禁止

マグネットを扉に貼り付けたまま引きずらない。

扉表面に傷がつく恐れがあります。



必ず実行

扉の開閉時に、取り付けたマグネット製品が、扉に取り付けた他のマグネット製品や隣接するキャビネット、家電製品に当たらない位置であることを確認する。

ぶつかった際にマグネット製品、キャビネット、家電製品の傷や破損につながったり、収納物が落下する恐れがあります。



必ず実行

市販のマグネットを使用する場合は、扉表面に傷がつかないか十分に確認してから使用する。

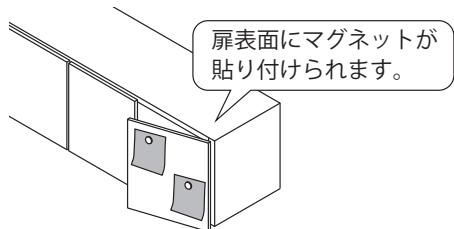
ラバー製のマグネットなど、取り付けた際に扉表面に傷がつきにくい製品の使用を推奨します。

吊戸棚 開き扉タイプの使い方

扉がゆっくりと閉まるサイレントダンパー付きです。扉を閉める際に途中で静止してしまう場合は、扉に軽く手を添えて閉めてください。

吊戸棚 開き扉タイプ メモピタ扉の使い方

扉にレシピのメモやスケジュール表などをマグネットで貼り付けておくことができます。



8. 収納アイテムの使い方-キッチン対面収納

8.1. デュアルトップ対面 ハイタイプ上台

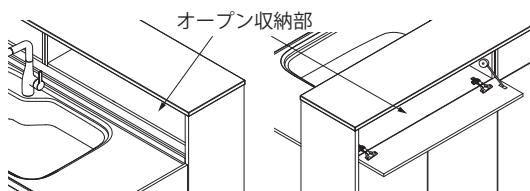
- ・デュアルトップ対面ハイタイプ用上台（奥行き 98cm）は両面収納になっており、扉を開閉し、キッチン側からでもダイニング側からでも取り出せます。※奥行き 80cm の場合はキッチン側のみから取り出せる収納です。
- ・両面引出しありのタイプは、調味料や食器、カトラリーなどの小物を両側から開閉・収納できます。
- ・収納できる大きさは以下のとおりです。

オープン収納部：高さ 14cm 以内、奥行き 30cm まで。

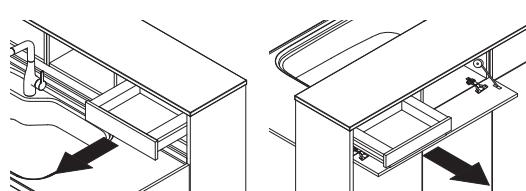
（奥行き 80cm は高さ 14cm 以内、奥行き 11cm まで。）

両面引出し部：高さ 11.5cm 以内、奥行き 25.5cm まで。

〈両面引出しなし〉



〈両面引出しあり〉



● 使用上の注意



扉を開けるときは手を添えて開ける。

必ず実行

扉が急に手前に飛び出る恐れがあります。



キャビネット内部やレール部に水滴・液だれがついた場合は、すぐに拭き取る。

必ず実行

キャビネットの変色やふくれ、錆びなどの恐れがあります。



ぬれたものを直接置かない。

禁止

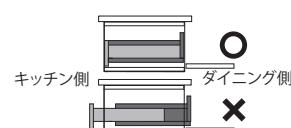
キャビネットの変色やふくれなどの恐れがあります。



両面引出しありは、キッチン側引出しどと、ダイニング側引出しどとが閉まりきっている状態になってから片側ずつ操作する。

必ず実行

動作不良や故障の原因となります。



引出しを開閉する際は、前板中央部を持ち、ゆっくりと操作する。

必ず実行

勢いよく閉めると反対側に引出しが飛び出し、故障や破損の原因となります。

● 使い方

両面引出しの脱着

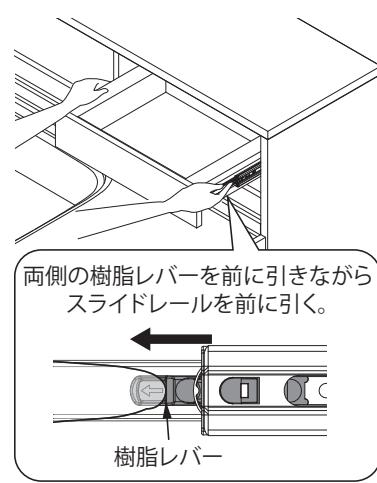
取り外し方

引出しを全開状態まで引き出し、両側のスライドレールの側面にある樹脂レバーを前に引きながら、レールと平行に静かに引き出す。

取り付け方

スライドレールどうしを平行に合わせ、ゆっくりと静かにグッと奥まで押す。

このとき、左右両方のスライドレールのガイド部分を収納庫内に移動しておくと、作業がやりやすくなります。

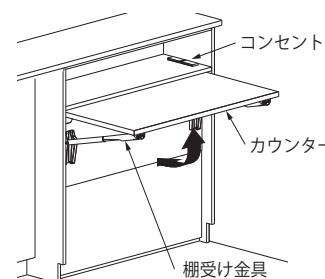


注意

お掃除をするために、引出しを脱着する際は、必ずキッチン側から行ってください。
ダイニング側は脱着しにくいため、故障の原因となる場合があります。

8.2. デュアルトップ対面 デスクタイプ

- ・デュアルトップ対面デスクタイプは在宅ワークなどの用途で、作業スペースとして活用できます。
- ・カウンターを使用しないときはカウンターを閉じることができます。
- ・カウンターの重量制限は 20kg までです。



使用上の注意



カウンター上で直接筆記作業を行わない。

注意

筆記のあとが残る場合があります。



カウンターを使用しない場合は、必ずカウンターを閉じた状態にする。

注意

体の一部がぶつかり、ケガをする恐れがあります。



金具にゴミやほこりが付着していたら乾いた布で拭き取る。

必ず実行

ゴミやほこりが付着している状態で、カウンターの開閉を行うと金具にキズがつく恐れがあります。



カウンターに過度な力や体重をかけない。

禁止

故障の原因になります。



カウンターに座らない。

禁止

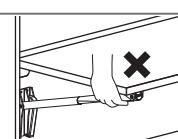
故障の原因になります。



横から操作をしない。

禁止

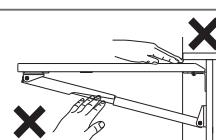
手や指をはさみ、ケガをする恐れがあります。



機構部や金具、本体のすき間に触れない。

禁止

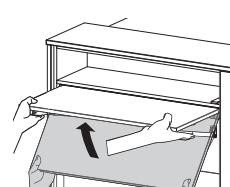
手や指をはさみ、ケガをする恐れがあります。



使い方

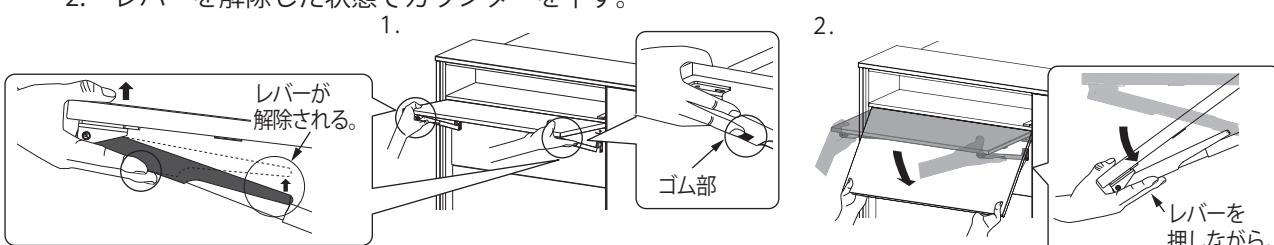
デスクタイプ用カウンターの開き方

1. カウンターを前から持つ。
2. カウンターを“カチッ”と音が鳴るまで持ち上げる。



デスクタイプ用カウンターの閉じ方

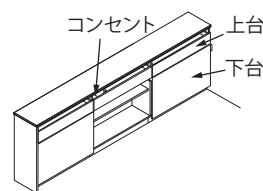
1. ゴム部に指を当てて、カウンターを持ち上げながら、左右のレバーを同時に上に押し上げる。
2. レバーを解除した状態でカウンターを下す。



8. 収納アイテムの使い方-キッチン対面収納

8.3. ディスプレイ引戸タイプ

- ディスプレイ引戸タイプは、見せる収納と隠す収納を賢く切り替えることができる対面収納です。
- 上台にはコンセントがついていて、携帯電話やパソコンを充電することやホットプレートなどの家電をダイニングで使用することができます。



使用上の注意



引戸の扉を2枚同時に引かない。

禁止

扉が破損する恐れがあります。



引出しを開閉する際は、前板中央部を持ち、ゆっくりと操作する。

必ず実行

異音の発生や破損の原因となります。

使い方

引戸の扉の使い方

扉端の取っ手中央部を持ってゆっくり開閉してください。

コンセントの使い方

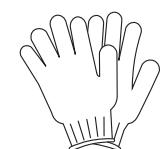
コンセントは2口合計1500Wの容量の製品が使用できます。

引出しの脱着

MEMO • ケガを防ぐために手袋の使用をおすすめします。



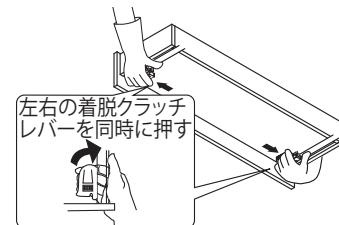
ゴム手袋



軍手

取り外し方

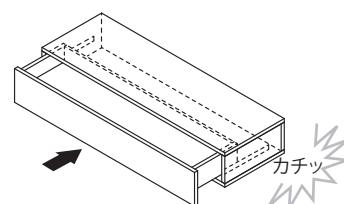
- 引出しに入っている収納物を全て取り出す。
- 引出しをストップするところまで引き出す。
- 引出し裏の左右の脱着クラッチレバーを押しながら、少し持ち上げて(“バチッ”と音がしてロックが外れる)、レールと平行に静かに引き出す。



MEMO • 引出しの間口が大きく手が届かない場合は、片方ずつの取り外し・取り付けを行ってください。ご無理な場合は、手助けをいただきながらの作業をおすすめします。

取り付け方

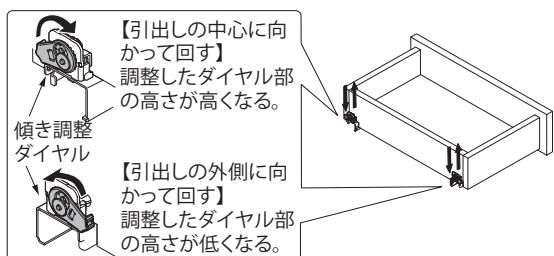
- 受けレールを奥まで入れる。
- 引出しの奥1/3くらいを受けレールに載せ、レールと平行に静かに奥まで押す(“カチッ”と音がしてロックが掛かる)。
- 3~4回引出しを開閉させ、引出しのブルモーション機構がしっかりと作動することを確認する。



引出しの調整の仕方

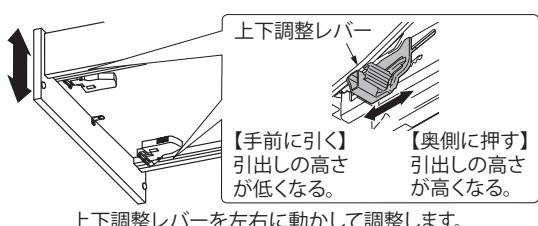
- 引出しに入っている収納物を全て取り出し、引出しを引き出します。
- 右記の寸法になつてない場合は、調整する方向によって下図のようにねじを回してください。

● 傾き調整

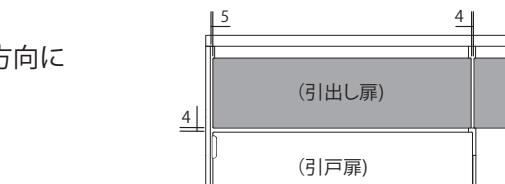


傾き調整ダイヤルを左右に回して調整します。

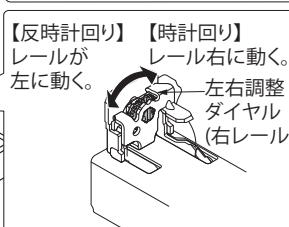
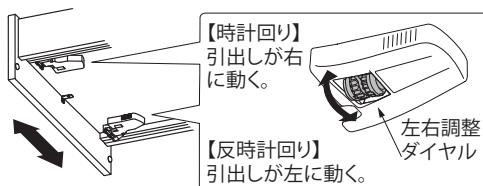
● 左右調整



上下調整レバーを左右に動かして調整します。



● 間口調整

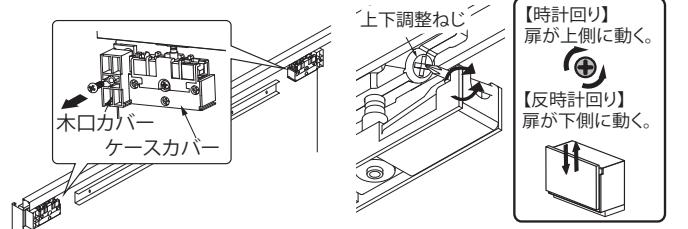


左右調整ダイヤルを左右に回して調整します。

引戸の扉の調整の仕方

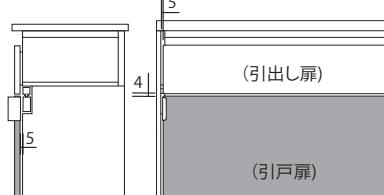
- 下台に入っている収納物を全て取り出し、右記の寸法になつてない場合は、下図のようにねじを回して調整ください。

● 上下調整

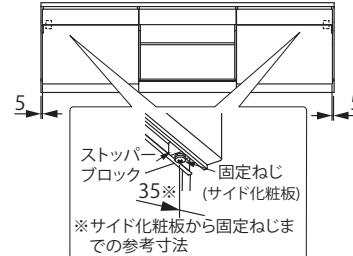


木口カバー固定ねじを緩めて木口カバーを取り外します。

〈横から見た図〉 〈正面から見た図〉

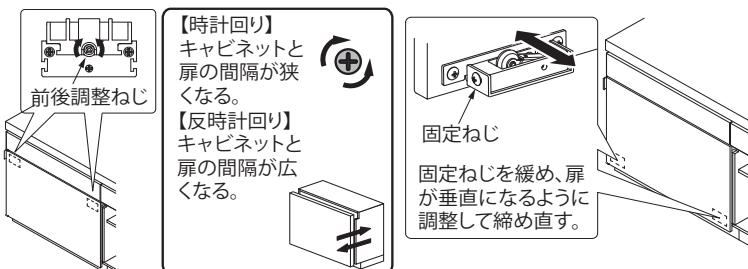


● 左右調整



扉端のすき間が上図になるように、ストッパー ブロックの位置を調整して、固定ねじを締め付けます。

● 前後調整

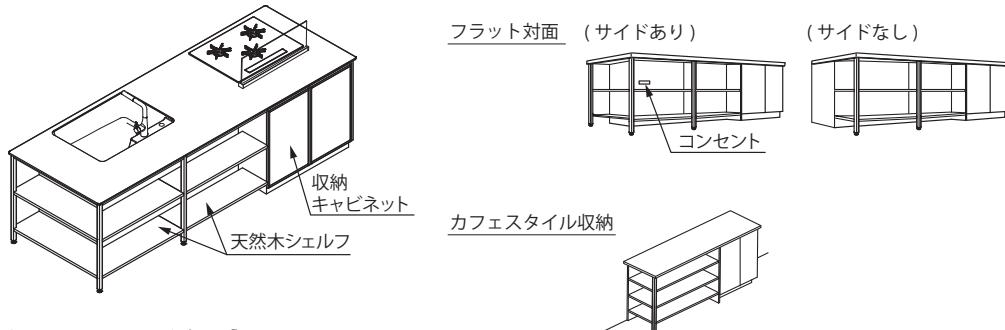


前後調整ねじを左右に回して調整します。下ガイドの固定ねじも緩めて調整します。

8. 収納アイテムの使い方-キッチン対面収納

8.4. 天然木シェルフ

- ・天然木の質感を存分に感じることができ、家具のように軽やかで抜けのあるデザインで、キッチンだけでなく、リビング、ダイニングを緩やかにつなぎます。お気に入りの食器や雑貨をディスプレイし、LDK空間全体を居心地の良い空間にコーディネートできる収納です。
- ・フラット対面の天然木シェルフには、コンセント付きの場合、デジタルフォトフレームを飾ったり、電話の子機を充電しながら置くことができます。(シンク側に設置されます。)



● 使用上の注意



強い衝撃を与えない。棚板に体重をかけたり、もたれ掛けたりしない。

禁止

棚板がたわんだり、部品が破損する恐れがあります。



蒸気の出る家電を収納したまま使用しない。

禁止

棚板や脚の変色やふくれ、反り、割れなどの恐れがあります。



ガス機器、IH調理器、電熱機器などの熱源が露出する機器は使用しない。

禁止

火災の原因となります。



食器や調理器具、その他物品を置く場合は置き方に注意し、擦りつけたり、鋭利な部位を当てない。また、熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かない。

凹みや傷がつく恐れがあります。表面の塗膜を貫通するような深い傷は水分がしみこみやすく、変色やふくれ、反りや割れなどが発生する原因になります。深い傷が付いた場合は修理をご依頼ください。また、熱いものを置く場合は鍋敷き(厚み1cm以上)をご使用ください。



水滴や汚れを残したままにしない。

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。

参考 お手入れのしかた P.32 ~ 33 ※天然木ワークトップと同様のお手入れになります。



必ず実行 色の濃い食品(キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど)や汚れや色の濃いふきん類の染料、または酸性、アルカリ性洗剤・洗浄剤が付着した場合は、すぐに洗う。

長時間放置すると落としにくくなります。



必ず実行 天板の水平が出ていない時や、ガタつきがある場合は脚部のアジャスターで高さが揃うように調整する。

使用中の不具合や転倒につながります。

● お手入れのしかた

棚板、脚のお手入れ

水または薄めた中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

9. その他部材

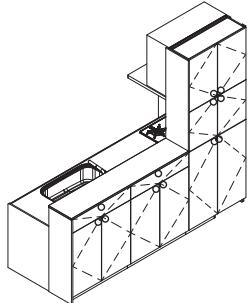
9.1. プッシュラッチ・扉開放防止部品・コーナーアングル

● プッシュラッチ

下図の○付近を押すと、扉が開きます。

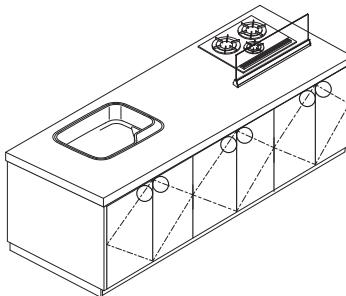
デュアルトップ対面用キャビネット

奥行き98cm
開き扉 / コンロ前収納庫



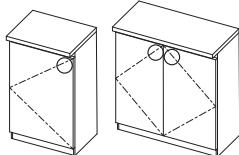
フラット対面用キャビネット

開き扉対面

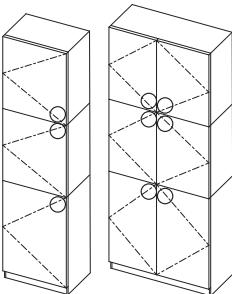


※耐力壁対応プラン、カウンター
対面プランはイラストと異なります。

片面フロア/片面ハイフロア
カフェスタイル収納



片面カップボード
カフェスタイル収納



MEMO

押す場所やプッシュラッチの出代によっては、開閉しにくい場合があります。○付近を押しても開閉しにくい場合は、P.67「プッシュラッチの調節のしかた」を参照し、プッシュラッチの出代を調節してください。

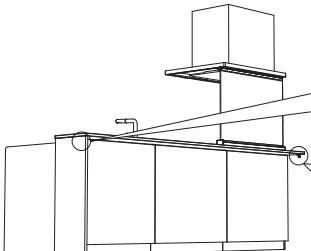
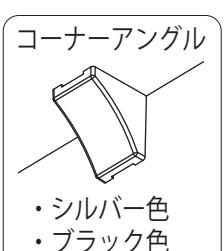
● 扉開放防止部品付キャビネットの使い方

- 扉開放防止部品は、地震などの揺れにより、ロック機構が働き、扉が開かなくなります。使用環境、または状況など（建物の構造・階数、吊戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合がありますので、ご注意ください。なお、収納物の破損など（損害）については補償の対象なりません。
- 地震が終わり、揺れが止まると、自動的にロックが解除されます。ただし、収納物が扉を押した状態でロックされたままになっている場合は、収納物が破損しないように扉を奥へ静かに閉めてください。
- 扉を開ける際は収納物が出てくることもありますので、ご注意ください。

● コーナーアングル

フラット対面およびデュアルトップ対面（ロータイプ）のオープンタイプ・セミ収納タイプの場合にはコーナーアングルが取り付けてあります。

壁やサイド化粧板と合わせてシルバー色またはブラック色を予め取り付けていますが、色を変えたい場合は、お手元にあるシルバー色またはブラック色のカバーを付け替えてください。



【コーナーアングル（カバー）を
付け替える場合】
マイナスドライバーなどで溝に引
っ掛けて取り外してください。

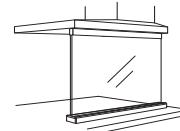


9. その他部材

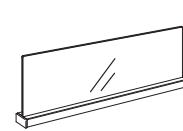
9.2. フロントスクリーン

フロントスクリーンは、コンロから発生した油や煙がダイニング側へ流入するのを軽減します。

〈ハイタイプ〉



〈ロータイプ〉



● 使用上の注意



金属タワシや粒子の粗いクレンザーでこすらない。

傷がつく恐れがあります。



ダイニング側のガラス面にはガラスクリーナーを使わない。

フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。変質・変色する恐れがあります。

● お手入れのしかた

- 汚れは、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて洗ってください。洗った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で十分に水気を拭き取ります。
- フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。キッチン側のガラス面に比べ傷がつきやすいため、清掃時は気を付けてください。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

9.3. 照明器具

● 使用上の注意



接触禁止

照明器具は、使用中、使用直後は照明の表面温度が高くなっているので、素手で触らない。

やけどする恐れがあります。



LED 照明を長時間直視しない。

LED 照明は輝度が高く、指向性が強いため、目を傷める恐れがあります。



LED 照明を取り外したり、分解したりしない。

器具の破損や火災の恐れがあります。

LED 照明について

- LED 照明は、約 4 万時間の点灯で、約 70% の照度になります。
- LED 照明には光のバラつきがあるため、発光性・明るさが異なる場合があります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用すると雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、向きを変えてください。

● お手入れのしかた

参考

照明器具に付属の説明書

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。仕上げに乾いた布でもう一度器具を拭いてください。
- 汚れは、柔らかい布に薄めたせっけん水を含ませて、硬くしぼってから、拭き取ってください。その後、乾いた布でもう一度乾拭きしてください。

9. その他部材

9.4. 壁パネル

マグネット対応壁パネルはマグネットが取り付けられるパネルです。

マグネット製品を使用する場合、ペースメーカーやその他医療用電子機器類、精密な電子機器類に悪影響をおよぼす恐れがあります。ペースメーカーをご使用の方は必ず30cm以上離してご使用ください。※マグネット壁パネル単体は磁気を発していません。

注意

- 市販のマグネット製品をお使いになる際は、表示されている耐荷重の25～35%程度になります。あらかじめ保持力の確認をお客様自身で行ってください。万一、磁石の落下によるケガおよび損害が発生した場合、また磁石の使用による化粧面の損傷は、当社およびその販売会社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- マグネット対応壁パネル表面の微細な凹凸、水気、汚れの状態、ご使用になるマグネットの仕様や面積によっては、同じパネル内でも部分的にマグネットが滑りやすくなる場合があります。

● 使用上の注意

● 壁パネル共通



禁止

パネル部にテープ類や吸盤を取り付けない。

はがすときに、表面シートがはがれる恐れがあります。



禁止

パネル部に強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

傷などの損傷が生じる恐れがあります。



禁止

パネル部は粒子の粗いクレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。

傷がつく恐れがあります。



禁止

家庭用ワックス、漂白剤・硫酸、塩酸などの強酸、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、強アルカリ、弱酸性洗剤を使用しない。

変色の原因や塗装がはがれる原因になる場合があります。



禁止

パネル部は油性ペン、ホワイトボード用マーカーなどを使用しない。

油性ペンの色が残る恐れがあります。

9.4. 壁パネル

●マグネット対応壁パネル



パネル部にマグネットを長期間貼り付けたままにしない。

マグネットの色がパネルに移る恐れがあります。



市販のマグネットを使用する場合は、マグネットがズリ落ちたり、吊り下げるものが落下しないか確認してから使用する。

マグネットが落下してケガをしたり、カウンターが破損する場合があります。



市販のマグネットを使用する場合は、パネル部に傷がつかないか十分に確認してから使用する。

市販のマグネットを使用する場合、パネルに傷がつく恐れがあります。



マグネットを取り付けるときは、加熱機器や電子レンジなどの離隔距離を守って設置する。

加熱調理機器から 15cm 離してください。(間口 75cm 相当のトッププレートの場合は 7.5cm 以上) 電子レンジなどその他の機器の離隔距離については、ご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。



マグネットを取り付けるときは、水栓や昇降吊戸棚が当たらない位置であることを確認する。

マグネットや水栓、昇降吊戸棚の傷や破損、収納物が落下する恐れがあります。



市販のマグネットを使用する場合、収納物の重さに耐えられる保持力のマグネットを使用する。

マグネットの保持力の目安が、耐荷重の約 25 ~ 35% 程度になります。



市販のマグネットを使用する場合、マグネットの接する面が平らなマグネットを使用する。

滑りやすいマグネット、接する面が平らでないマグネットは、固定できない場合があります。



マグネット製品を取り付ける際は、取り付ける面をよく拭いてから取り付ける。

マグネット対応壁パネルがぬれていたり、汚れがついたままマグネット製品を取り付けると、保持力が弱まり、落下の恐れがあります。

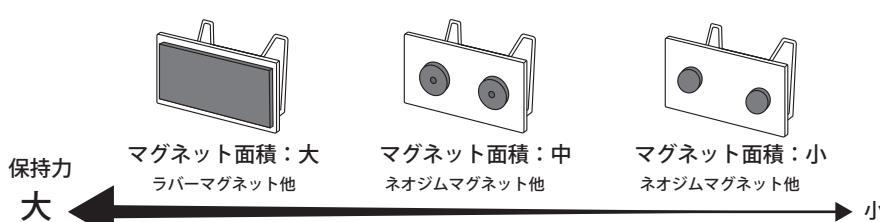


マグネット製品はパネル部に傷がつきにくい製品を使用する。

傷などの損傷、サビや破損の原因になります。

金属が直接当たるマグネット製品や硬質で強力なマグネット製品等はパネルに直接当たって傷がつきやすいためご注意ください。

MEMO 傷がつきにくく、保持力が高いため、下記のようなマグネットを推奨しています。



9. その他部材 9.4. 壁パネル

お手入れのしかた

クリン壁パネルの場合

- ・通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。
- ・パネル間の目地はゴミや油がつきやすいので、こまめに汚れを拭き取ってください

マグネット対応壁パネルの場合

定期的にパネル表面をお手入れしてください。マグネットの接触面に汚れや異物があると、保持力の低下につながります。

●通常のお手入れ

水を含んだ布又は中性洗剤を付けたやわらかい布又はスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使つた後は、水を含んだ布で洗剤を拭きとってください。最後に乾いた布で乾拭きしてください。

●月に一度

マグネット製品を取り付けている場合は、月に一度は取り外して接触面を清掃し、取り付け直してください。

注意

- ・お手入れの際は、必ずすべてのマグネット製品を取り外してからお手入れしてください。マグネット部に洗剤がかかると、マグネットの保持力の低下の原因になります。
- ・汚れを長時間放置するとこびりついで落としにくくなるため、気づいたらをお手入れしてください。
- ・長時間マグネットが接触していると、マグネットの色がパネルに移り、跡が残る場合があります。

10.1. シンクアクセサリーパーツ

シンク周りをより使い勝手よく使用できるアクセサリーパーツです。シンク形状により対応しているパーツが異なります。よくご確認の上、ご利用ください。



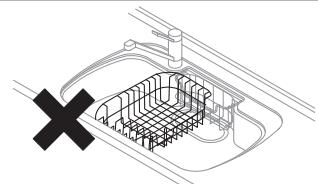
使用上の注意

●サポートプレート、水切りバスケット、まな板



シンクにしっかりと載せて使う。横にスライドさせない。

落下する恐れがあります。



シンク用アクセサリーパーツ

お使いの シンク	ステンレスシンク									
	SYシンク W60×D52×H18.5cm	SAシンク W75×D52×H18.5cm	RWシンク W90×D52×H18.5cm	SVシンク W67×D52×H20.4cm	SKシンク W82×D52×H21.5cm	SDシンク W65×D48.5×H18.3cm	SBシンク W82×D48.5×H18.3cm			
キッチン奥行き	65cm/98cm						60cm			
付属品	クリンラック ・ 洗剤バスケット KAP-CK6	KAP-CK5	KAP-CK8	KAP-SP7						
	スリムラック —	—	※クリンラックを外して、 スリムラック(RWシンク用) を付け替えること ができます(オプション)。 KAP-CK9	—						
	排水プレート KAP-HP11	KAP-HP9			—					
	浅型カゴ KAP-AG3	KAP-H2			—					
オプション品	止水キャップ/ 止水フタ ZKPLNN-K	F-3			—					
	サポートプレート —	ZKPMSN-K		—						
	サポートプレート メッシュタイプ ZKPPJN-K	MP-9	ZKPPKN-K	ZKPPVN-K						
	まな板 —	MHK-1		—		ZKPJGN-K				
	まな板ラック ZKPAHN-K ※フルテックス、天然木、 セラミックワークトップの場合は 取り付けられません。	ZKPAKN-K		ZKPATN-K		—				
	まな板スタンド ZKPBNN-K	—								
	水切りバスケット ZKPNNN-K	KAP-S5		ZKPNYN-K		—				
クリンコーナー ZKPKNN-K	※ステンレス製の三角コーナーです。 SY/SA/RW/AE/AKシンクでは、排水プレートの代わりに排水口上部に設置してお使いいただけます。									

- ※ 1 : AK シンク用の排水プレートの■マークには、カラー記号が入ります。W(ホワイト) / F(グレー) / A(チャコール) / J(ベージュ)
 ※ 2 : AE シンク用の排水プレートの★マークには、カラー記号が入ります。N(ホワイト) / G(ベージュ) / P(コーラル) / B(ブルーグレー)
 ※ 3 : PM シンク用の排水プレートの▲には、カラー記号が入ります。W(ホワイト) / B(ベージュ) グレーはクリナップカスタマーセンターに
 お問い合わせください。
 ※ 4 : ステンレストラップを選択した場合は、浅型カゴはステンレス製となります。

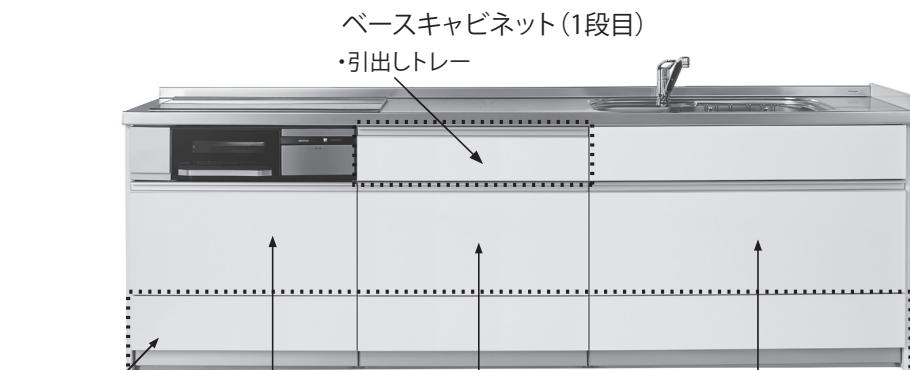
ステンレスシンク				人工大理石シンク		
TUシンク 	TGシンク 	EUシンク 	EGシンク 	AEシンク 	AKシンク 	PMシンク
W65×D48.5×H18.3cm	W82×D48.5×H18.3cm	W65×D48.5×H18.3cm	W82×D48.5×H18.3cm	W78×D55×H18.5cm	W78×D55×H18.5cm	W71.1×D44.9×H19.2cm
65cm／98cm						
 KAP-SP7	 KAP-CK7	 KAP-SP12	—	—	—	—
 KAP-HP2 樹脂製	 KAP-HP10 ヌメリにくい ステンレス製	 KAP-HP12■ ※1	 KAP-HP12★ ※2	 KAP-HP8▲ ※3	 KAP-H7 樹脂製	 KAP-H8 ヌメリにくい ステンレス製 ※緑は樹脂製
 F-2 ※4	 ZKPLNN-K	 KAP-AG3	 KAP-H7	—	—	—
 ZKPPVN-K	 ZKPPXN-K	 ZKKPWN-K	—	—	—	—
 ZKPATN-E	 ZKPBNN-K	—	—	—	—	—
 ZKPNYN-K	—	—	—	—	 ZPKKN-K	—

10.2. 引出しオプションパーツ

引出しオプションパーツを使用すれば、より効率的な収納ができます。各オプションパーツの取り付け可能な引出しについては、以下のイラストを参照してください。

〈引出しオプションパーツの使用可能場所〉

〈キッチンセット側〉



フロアコンテナ ・ライザー (ZKCFNN-K)	コンロキャビネット ・クロスギャラリー ・フライパン立て ・レードルポケット	ベースキャビネット ・引出しトレー ・クロスギャラリー ・ボトル立て ・レードルポケット	シンクキャビネット ・クロスギャラリー ・レードルポケット

〈キッチンセット以外の引出し〉

・引出しトレー

※スライドボックス付の場合、引出し
オプションパーツは取り付けられません。

クロスギャラリー

引出しのギャラリーパイプに取り付けることで、引出し内部を仕切ることができます。

キャビネットの種類	間口	品番
見切り材・インセットパネルなし キャビネット用	30cm	ZKH030CN-K
	45cm	ZKH045CN-K
	60cm	ZKH060CN-K
	75cm	ZKH075CN-K
	90cm	ZKH090CN-K
	105cm	ZKH105CN-K
見切り材・インセットパネル付 キャビネット用	75cm	ZKH075DN-K
	90cm	ZKH090DN-K
	105cm	ZKH105DN-K



クロスギャラリー 使用例

取り付け方、位置の調整のしかた

- ④ ドライバーで両端の樹脂部にあるねじをゆるめる。調整後、ねじを締め直す。

※アクセサリーパーツをご用命の方は、P.101 下部の【ご注文はこちらへ】をご確認ください。

10.2. 引出しオプションパーツ

ボトル立て

調味料などのボトルの大きさに合わせて調整できる仕切りです。

ボトルが倒れる心配がなくなり、使いやすくなります。

キャビネット間口	品番
30cm	ZKH030EN-K
45cm	ZKH045EN-K
60cm	ZKH060EN-K
75cm	ZKH075EN-K
90cm	ZKH090EN-K



ボトル立て



使用例

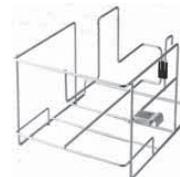
MEMO 取付位置の調整方法は、クロスギャラリー (P.98) と同様です。

フライパンラック（コンロキャビネット用）

コンロキャビネットの引出しに設置すれば、フライパンを立てて収納できます。

品番
ZKHGNN-K

※ツールポケット・スライドボックス付のコンロキャビネットには
対応不可です。



フライパンラック



使用例

レードルポケット

おたまやしゃもじなどを入れるのに便利です。クロスギャラリーに取り付けて使用します。

品番
ZKHXWN-K



レードルポケット



使用例

※アクセサリーパーツをご用命の方は、P.101 下部の【ご注文はこちらへ】をご確認ください。

10.3. 便利アイテム

タオル掛け

シンクキャビネット専用のタオル掛けです。取っ手よりも高い位置にタオルを掛けられるので、使いやすい高さで、引出しにはさまる心配なくタオルが使用できます。

対応している取っ手の種類	品番	色
ライン取っ手	ZKHTKN-K	バー部：シルバー 樹脂部：ライトグレー
	ZKHTKB-K	バー部：ブラック 樹脂部：ブラック
バー取っ手	ZKHCBN-K	バー部：シルバー 樹脂部：ライトグレー
	ZKHCBB-K	バー部：ブラック 樹脂部：ブラック



タオル掛け

使用例

※タオル掛けを取っ手代わりに引っ張らないでください。
※バー取っ手用のタオル掛けの取付金具はステンレス色になります。

フロアコンテナ用ライザー（米びつ）

高さ 85cm以上、間口 45cm以上、奥行き 65cmのキャビネットのフロアコンテナ内に収納できます。お米が約 11kg 入る容量があります。

品番	ZKCFNN-K
----	----------

※既設排水管対応シンクキャビネット、深型食器洗い乾燥機用ベースキャビネット、食器洗い乾燥機用1段引出しへースキャビネットには対応不可です。
※引出し奥行き35cm以下のフロアコンテナには収納できません。

フロアコンテナ用
ライザー

使用例

ハンドムーブ用オプション

ハンドムーブに設置すれば、調理道具や食器などを収納するのに便利です。

●収納タイプ用

サポートラック

調味料ポット（高さ 12cmまで）などを収納できます。
最大収納量は約 3kg です。

品番	ZKMKNN-K
----	----------



サポートラック

使用例

ペーパーラック

キッチンペーパー（直径 12cm × 長さ 27cmまで）を立てて収納しながらお使いいただけます。

品番	ZKMQJNN-K
----	-----------



ペーパーラック

使用例

※アクセサリーパーツをご用命の方は、P.101 下部の【ご注文はこちらへ】をご確認ください。

10.3. 便利アイテム

●水切りタイプ用

皿立てラック

中皿、大皿（直径 23cm、11枚まで）を収納できます。

品番

ZKMSNN-K



皿立てラック



使用例

レードルラック

レードル類（長さ 31cmまで）を掛けて収納できます。

品番

ZKMENN-K



レードルラック



使用例

まな板ラック

まな板（47cm×23cmまで）を収納できます。

品番

ZKMMNN-K



まな板ラック



使用例

カトラリーラック

箸やカトラリー類（長さ 30cmまで）を収納できます。

品番

ZKMCNN-K



カトラリーラック



使用例

ご注文はこちらへ。

クリナップオンラインショッピング

<https://style.cleanup.jp/store/>

クリナップオンライン



●商品仕様、価格および諸費用を予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●予告なく廃番・製造中止等により供給できない場合があります。

11.1. Q & A

Q. 排水の流れが悪いです。

A. 次の点をご確認ください。

- ・シンクの浅型カゴにゴミがたまっていますか？
- ・シンクの排水口周りが汚れていますか？お手入れについては以下のページを参照してください。
参照 部品ごとのお手入れ方法 P.42 ~ 43
- ・排水管が汚れていますか？集合住宅などで行う排水管洗浄については以下のページを参照してください。
参照 集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点 P.43

Q. 排水口が臭います。

A. 防臭器または防臭パイプが汚れていますか？お手入れについては以下のページを参照してください。

- 参照 部品ごとのお手入れ方法 P.42 ~ 43

Q. 排水口から "ゴボゴボ" 音がします。

A. 流れる水の量が多いと、空気を巻き込んで音がすることがあります。異常ではありません。

Q. 開き扉がガタつきます。

A. 取っ手、または丁番や座を取り付けているねじがゆるんでいませんか？
ねじがゆるんでいる場合は、⊕ドライバーで締めなおしてください。

Q. 引出しがきちんと閉まりません。

A. 隣接するキャビネットの引出し前板が当たっている場合は、引出し前板を調整してください。

- 参照 引出し前板の調整のしかた P.68

Q. 害虫（ゴキブリ）が入ってきます。

A. ゴキブリは小さなすき間でも侵入できます。虫が好む環境（暗部、湿気、食べ物）をなるべくなくしましょう。

- ・食器などは水滴を拭き取ってから収納する。
- ・開封した食品は樹脂容器などに入れる。
- ・ときどき、扉を開放して換気する。

Q. ステンレスに落ちにくい汚れ（水あかなど）がついてしまったらどうしたらいいですか？

A. お手入れについては以下のページを参照してください。

- 参照 お手入れ方法と洗浄具・洗剤 P.30 ~ 31

Q. ステンレスにもらいサビしてしまったらどうしたらいいですか？

A. ①さびた部分に小さく折りたたんだキッチンペーパーを載せて、その上からレモン汁を十分に含ませます。
②レモン汁が蒸発しないように、ラップフィルムを掛けて放置します。軽いサビなら1日程度で除去できます。

Q. シンクやカウンター裏面が結露をおこしてキャビネット内に水滴が落ちてしまいます。また、ステンレスキャビネットが結露をおこして、キャビネット内やカウンター裏面にカビが発生しています。何か対策はありますか？

A. シンクやカウンター裏面の結露は、室内が高温多湿の状態で、冷たい水によりシンク表面が冷やされ、空気中の水蒸気が付着する現象です。ステンレスキャビネットもステンレス表面の温度が低いと、同様に結露が発生する場合があります。ぬれた部分やカビは拭き取り、キャビネット内の換気、市販の除湿剤を用いて湿気の除去を行ってください。

保証書

◎ システムキッチン用

シリーズ・品番	STEDIA		出張修理
保証期間	取付・設置日から2年間	★取付・設置日	年月日
★お客様	ご住所		
	お名前	様 TEL ()	
★販売店	住所 店名	TEL ()	(印) またはサイン

ご販売店様へ 上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。

2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

(1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。

(2) 消耗部品(照明の管球、グローランプ、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。

(3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。

(4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。

(5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。

(6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。

(7) 畫疵によらない自然の消耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。

(8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。

例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。

(9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。

例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗浄剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。

ならびに、浄化槽や洗浄剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。

(10) タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸、強アルカリ性洗剤など)の使用により、発生した損傷。

(11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。

(12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。

(13) 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。

(14) 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧・周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。

(15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。

(16) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。

(17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。

(18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。

(19) 本保証書のご提示がない場合。

(20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。

(21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口 : クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

クリナップ[®]株式会社

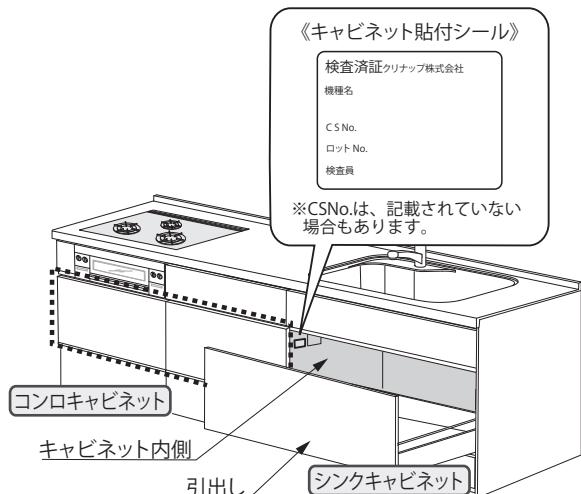
〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22



修理の依頼について

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検して異常のあるときは、工事店・販売店、または下記のクリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。

また連絡する際は、お名前、ご住所、お電話番号、ご購入年月日、症状およびシンクキャビネット引出しを開け、内部をご確認いただき、貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo.もあわせてお知らせください（シンクキャビネットで確認できない場合は、下図の「[]」のコンロキャビネットなど、ほかのキャビネットの内側でも確認できます）。



《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
☎	



廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。



アフターサービスのご用命

- ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

- お電話でのご用命

📞 0120-126-174

クリナップカスタマーセンター

通話料
無料

- インターネット窓口（クリナップホームページ内）
<https://cleanup.jp/support/>

右の2次元コードで【お客様サポートサイト】へ



受付時間 9:00～17:00

* 9:00～11:00および12:00～13:00は混みあいます。

* 年末年始はお休みさせていただきます。

* 諸般の事情により営業日、受付時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

* インターネット窓口では、Q&A（よくあるご質問）を紹介しております。
修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。

あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<https://cleanup.jp/>に公表しております。

レンジフードフィルターなどの
訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

クリナップ株式会社
〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22